

島 根 大 学

保健管理センター年報

[平成16年度～20年度]

島根大学保健管理センター

はじめに

島根大学保健管理センター所長

蘆田 耕一

久しぶりの年報をどうにか発刊することができました。

この間、国立大学は大きな変革を経験しました。競争方式を取り入れる必要があるというのが主な理由で、文部科学省は2004年4月1日に法人化を強行しました。

実は島根大学はそれ以前にも固有の変革があったのです。いくつかの大学がそうであったように医科大学との統合です。島根大学と島根医科大学とが統合し、2003年10月1日に、5学部、学生数6000人、教職員数1700人の新島根大学が誕生しました。統合と法人化という大きな荒波をうけ、特に、もろにかぶった事務系職員の健康状態はすこぶる悪かったようです。少しずつですが、その余波もおさまってきているように感じています。

旧島根大学の年報は2000年(平成12)度、旧島根医科大学は2003年度から発刊していません。つねづねその話はあったのですが、発刊にまでこぎつけることができなかったのは、諸般の事情があったとはいえ、ひとえに私の怠慢ゆえであると反省しています。しかも本年報は統合後の2004年度以降ですので、おのおの3年分、1年分が空白です。

いま一つ、お詫びしなければならないのは、松江キャンパスと出雲キャンパス(医学部)というように別立てにしていることです。これは従来の年報のやり方を踏襲しているためであります。次年報からはこれを解消していきたいと思っています。

それにしましても、本学もいろいろな問題をかかえています。以前にはあまり考えられなかったことが出てきております。最近では、カルトがあります。合格通知書に注意喚起文を入れ(保護者に対しても)、入学式で所長が詳しく説明し、さらに5月ごろにも同様の事を行なうなど徹底的に対策を講じてきました。小規模大学ですので効果はありましたが、まだまだ手を緩めることはできません。

飲酒も大きな社会問題になりました。未成年の飲酒、飲酒の強要などがサークルや大学寮で起こりましたので、啓発活動を行ったり、さらには寮に出かけて行って新入生の健康診断を実施するなど出来る限りのことは手を打ちました。

特にいま発達障がいがかローズアップされていますが、本学も同様です。教職員にその知識がなく、まずどのように接してよいのか戸惑うばかりです。GPの費用を使っての講演会を催すなどしておりますが、増えると予想される今後に向かってますます勉強しなければないと肝に銘じております。

その他、麻疹や新型インフルエンザ等と、次から次へといろいろなことが起こってきていますが、いずれにも本センターは敏速にかつ的確に対処することが要求されます。

今後、充実した活動ができますよう、ご鞭撻やご叱責のほどをよろしくお願いします。

松江キャンパス



加藤、長廻、寺脇、石倉、浅村
早瀬、河野、蘆田、荒川、柏

出雲キャンパス



長妻、稲岡、須山
和田、野原、米原

目次

| | |
|------------|------|
| はじめに 寄稿 | 1～12 |
|------------|------|

松江キャンパス

| | |
|-----------------------|-------|
| I：事業・業務 | 13～15 |
| II：保健管理業務 | 16～28 |
| 1. 健康診断・事後措置 | |
| ①定期健康診断 | |
| ②特別健康診断 | |
| ③臨時健康診断 | |
| 2. 保健管理センター利用状況 | 29～37 |
| ①学生・職員などの健康相談等 | |
| ②栄養相談 | |
| ③母性相談 | |
| ④寮の健康診断 | |
| 3. 精神保健相談・カウンセリング利用状況 | 38～42 |
| 4. その他の活動 | 43～50 |
| ①エンカウンター・グループ | |
| ②ワークショップ | |
| ③サロン | |
| ④学生支援GP：「気になる学生」調査 | |
| III：教職員の健康管理 | 51 |
| IV：広報・啓発活動 | 52～58 |

出雲キャンパス

| | |
|------------------------|-------|
| I：事業・業務報告 | 59～63 |
| II：保健管理業務 | |
| 1. 健康診断および事後措置 | 64～78 |
| ①医学部学生定期健康診断 | |
| ②大学院生定期健康診断 | |
| 2. 医学部学生の感染症対策 | 79～89 |
| ①ツベルクリン反応検査（2段階法） | |
| ②感染症抗体検査 | |
| ③B型肝炎ワクチン接種 | |
| ④季節性インフルエンザワクチン接種 | |
| 3. 外国人研究留学生・外国人研究者健康診断 | 90～92 |

| | |
|---------------------|---------|
| 4. 保健管理センター利用状況 | 93～97 |
| ①年度別・区分別利用件数 | |
| ②年度別・月別利用件数 | |
| ③健康診断書の発行件数 | |
| ④医療機関（専門医）紹介件数 | |
| 5. メンタルヘルス対策 | 98～99 |
| ①新入生に対する心理テストの実施 | |
| ②精神衛生相談・カウンセリング利用状況 | |
| Ⅲ：教職員の健康管理 | 100 |
| 1. 教職員のセンター利用件数 | |
| 2. 産業医としての業務 | |
| Ⅳ：広報・啓発活動 | 100 |
| <hr/> | |
| Ⅰ：学術研究活動 | 101～106 |
| 1. 研究会主催 | |
| 2. 研究会参加 | |
| 3. 学会・研究会発表 | |
| 4. 学術論文 | |
| 5. 報告書 | |
| Ⅱ：教育活動 | 107 |
| Ⅲ：社会貢献・講演 | 108 |
| Ⅳ：保健管理センター体制 | 109～116 |
| 1. 組織 | |
| 2. 構成 | |
| 3. 保健管理センター管理運営委員会 | |
| 4. 保健管理センター規則 | |
| Ⅴ：沿革 | 117 |
| 編集後記 | 120 |

保健管理センターに勤めて

保健管理センター副所長

野原 隆彦

平成4年3月に島根医科大学第I外科から新設の保健管理センターに移って、18年の歳月が流れた今、定年を迎えようとしているが、この歳月は長かったようでもあり、短かったようでもある。特に初期の頃は、全国的にも漫然と運営しているところが多く、確たる理念を持ってセンターの業務を遂行している所も少なかった。言ってみれば、保健管理業務が何たるかを模索している時期だったのかも知れない。一方、身の回りを見やると、医科大学には偉いさんが大勢いて、年に4回の保健管理専門部会の議を経てからでないと、何事も先に進まない状況であったから、理想と現実のギャップに翻弄され、長く感じたのかも知れない。そのうちに、“自分のやるべきことをやって居れば良い”と言い聞かせて、組織運営のことには触れずに、学生の対応だけに力を注ぐようになった。そして、学生や職員の対応に追われるようになってからは、あっという間に過ぎたような気がする。しかし、本来、学生支援は大学全体で取り組むべき課題であり、その中心に保健管理センターがあるべきである。ただ単に“保健管理センターに任せて居れば良い”と言う考え方では課題の解決には至らない。さらに、学生支援はメンタルだけの問題と捉えがちだが、フィジカルの問題も含めた、あらゆる角度から捉えられなければならないのも当然である。

その中で、センター開設当初には、あくまで学校保健法の規定に則り、「健康診断、健康相談、救急処置」などの「保健室業務」を中心に行っていたが、“健康相談”は身体面での健康相談と精神面での健康相談を包括していると言う解釈から、“学生相談”業務を位置づけてきた。ところが、学生の不登校が目立つようになってきて、スクールカウンセラーや学生相談の充実が要求されるようになると、それは保健管理センターでの学生相談の充実とは別に、新たな学生相談室の設置と言う形で表れて来た。したがって、文科省の考える学生相談の位置づけと、私の位置づけとは少し異なっていたと思える。つまり、本学での学生相談は学校保健法に準拠した業務として行ってきたのであり、大規模な大学は別としても、我々のような中・小規模の大学にとっては、学生相談業務は保健管理センターにとって必須の業務だと思っていた。さらに、統合時の中期計画の策定に際して、これからの保健管理センターの業務を巡って、「学生相談業務を主とするか、健康診断業務を主とするか」と言う議論となった。確かにセンターの人員が限られていることが問題なのであろうが、どちらも必須の業務だと思う。そもそも心身は一体であり、メンタルもフィジカルも、どちらも蔑ろには出来ない訳だから、どちらを優先するかと言った議論にはならない筈なの

である。そのような葛藤は、「センターだより」に足跡が残されているので、ここに、1992年の「センターだより1号」、1999年の「センターだより22号」、2000年の「センターだより25号」の中での抜粋した部分を再掲して置く。

…… さて、当保健管理センターの運営については、すでに学園だより(第30号)のセンター紹介で恒松所長が述べられていますが、学生の健康管理に関しては、教育基本法による教育の目的が「…心身共に健康な国民の育成を期して…」とあり、また「健全なる精神は健全なる肉体に宿る」との言を待つまでもなく、学生の健康管理を考える上で、心と体のどちらか一方を、ないがしろにする事は出来ません。そこで、当保健管理センターも、こうした見地から運営されなければならないと思われます。しかも同時に、大学の一機関としての教育・研究機能も、当然ながら受け持たなければならないと思われます。

具体的な取り組みとしては、通常健康診断に基づいた健康管理のほか、体育会系サークルによるスポーツ活動を媒介として、学生諸君への健康教育ならびに指導をして行きたいと考えています。またカウンセリングでは、指導教官を補佐して学業などの悩みにも対応していきたいと思っております。その他、食事や保健指導については、保健婦の米原さんが担当します。さらに健康教室として、色々な講習会や、地域の方々を対象にした公開講座も予定しております。…… (1992年の「センターだより1号」より)

…… 次に掲げた"学生支援サービス"とは、保健管理業務の中の「健康相談」を前向きに解釈したとも取れるが、教育基本法第1条に「教育の目的は、人格の完成を目指すこと」とあるように、教育の理念である「人格形成」の場としての大学機能の一端を担う目的と理解すべきだろう(理念的根拠)。最高学府としての大学を人格完成の場として考えた場合、大学教育は本来ならば専門的知識を習得させるだけでなく、学生期にある人々の最終的な発達を目指すことも期待されているのである(大学院や卒後教育については、ここでは触れない)。

しかし今や、「人格的な向上は大学では無理である」と言った一般社会通念が存在することも事実である。大学の殆どの教室が教育にかかる時間が限られているために、学問(研究)を主とした教育にならざるを得ない現実がある以上、保健管理センターだけでも"学生中心"あるいは"人間中心"の論理を持つ必要があるものであり、さらに学生相談を充実させる事は、延いては大学教育の質を高める一助になると確信できる。

ところで、近年、「健康」の概念が変化して来たことによって、「保健＝健康を保つ」と言った従来の「保健」に対する捉え方は、より積極的な「健康増進」あるいは「健康づくり」へと変化している。したがって、大学保健管理センターにおける健康診断業務も従来の「疾病の早期発見」と言った観点とは異なり、例えば今日の学生に多く見られるようになって来た肥満、高血圧(＝生活習慣病)を如何に予防するかと言った観点から捉えて遂行する必要があり、運動習慣の確立などの生活習慣の改善に向けた教育や啓蒙活動を、より重要視しなければならないのである。言い換えれば、大

学の保健管理機能は一般の民間診療所の機能とは異なり、(診療機能に加えて)健康教育を主とした、教育・研究的機能を併せ持たなければならないのである。…… (1999 年の「センターだより 22 号」より)

…… ここでは学生相談について述べてみたいが、その前に、保健管理センターが整備されていない私学で何故、学生相談室が整備されているかと言うことを考えてみたい。それは、大学が教育サービス機関であることに規定されている。つまり、学生相談は教育サービスの一端を担っており、教育サービスを向上させるためには、学生相談を充実させることを無視しては考えられないからである。大学における教育サービスとは何かと言う事を今ここで述べるつもりはないが、少なくとも私学では、教育サービスの内容や質と大学運営とは密接に関わりを持つことが期待されるのである。一方、入学してくる学生達は様々な教育サービスを求めているが、大学が学生に求めるものもある。そして、大学が学生に求めるものはある程度、選抜によって達成されることが予想されるが、全てを選抜で達成することは不可能かもしれない。従って、大学は学生を入学させた後は、学生が卒業するまでに目的を達成させなければならないと考えるだろうし、そのためには、様々な努力が払われていると思われる。実はその中に、学生相談が含まれる筈なのである。

ただし、学生相談は学生の個々を対象としており、教育は全ての学生を一律に対象とすべきであると言った考えでは成り立たない。なぜならば、学生の大学に対する要求は、学生の全てが同一の要求をすることも考えられなくはないが、一般には個別的であるからである。教育を飽くまでも一律に考えていては、昨今の多様化した学生の要求に応えることはできない。では、学生相談が大学教育を補完し得るかと問われるならば、それは残念ながらできないと答えざるを得ない。しかし、少なくとも学生の(大学の教育に対する)要求の一部に答えることは可能である。学生相談は学生のメンテナンスをしているのではない。大学の他の部局と同様に、学生の教育に対する多様化した要求に応えようと、努力しているのである。だからこそ、学生相談は教育サービスの一端を担っていると言えるのである。…… (2000 年の「センターだより 25 号」より)

と、まあ、振り返ってみると、掲げた理想は間違いなかったと自負しているが、思うところの十分の一も具現化できなかつたと思う。特に教育については、医学部の中にあつて、「保健管理センターの出来る幕」はないかも知れない。ただ、「健康スポーツ科学概論」の他に、この2年間で、医学概論の講義を2コマ頂いたのがせめてもの慰めだった。その様な訳で、やり残したことも多い。しかし、自分にとっては、充実したセンターでの教員生活であったことには間違いはない。私を支えてくれた多くの方々に、ただただ感謝する次第である。

独立法人化後の5年間

保健管理センター松江 荒川 長 巳

国立島根大学は、平成16年4月をもって国立大学法人島根大学となった。その後の5年間は島根大学全体にとって激動の期間であり、保健管理センター業務に大きな影響を与えた。この5年間の変化の底流には、独立法人化の流れともっと大きな少子化の流れが複雑に絡んでおり、場当たりの解決策はないが、報告書を発行するに当たり簡単に総括したいと考えた。

まず、法人化直後事務系職員に著しい健康状態の悪化が認められ、欠勤する職員が続発した。このことは、半年前の平成15年の10月には予想されたことで、当時健康管理医として事務系職員の会議で注意を喚起したことが全く生かされなかったことは非常に残念なことであった。そのため独立行政法人化後の混乱の中で、リハビリ出勤のシステムを構築し、復職支援を行わざるを得なかった。以来、職員のメンタルヘルスクエアが非常に大きな仕事となった。病休する職員の多くは、うつ病でありひとつ間違うと自殺という最悪の事態を含んでおり支援者として大きな負担である。また、教員のメンタルヘルスが少子化の進展とともに最近悪化し続けている。教員の場合、事務系職員のような時間管理や仕事の内容の管理がしにくく、世話見の良い教員のところに学生が集まるため燃え尽き症候群予備軍は枚挙にいとまがない。またいったん燃え尽きると、教員は専門性が強く復職支援も難しい。

カルト対策は、保健管理センター業務としてメインとならないように考えられるが、脱会した学生は精神病様状態を示すことがあり、自殺の危険がある（先日も他大学で自殺未遂が発生した）。そういう意味で、カルト対策は事後的な対策をするのではなく予防的に積極的な啓発活動が必要なものである。背景に社会の病理性が存在するため決定的な対策がなくズルズルと続けざるを得ない活動となっている。

多様な学生が入学するようになったが、発達障がいをはじめ支援の必要な学生が増え続けている。これらの、学生への支援をまず持って大学が想定しておらず、手探りでひとつひとつのケース毎に対応せざるを得ない。

また、ハラスメントの相談業務が少なからず重荷になっている。特殊な相談業務で多方面に目を配らなければならず、たとえ1件でも手がかかり精神的負担は大きい。また、被害者側からも加害者側からも責められることが多く後味の悪い仕事となっている。

健康診断と自発来談する学生のカウンセリングと言った活動はずいぶん過去のことになったような気がする。

安易な成果主義の導入で数値ばかりを評価する向きがある。たとえば、自殺後の緊急支援もハラスメントの相談も感冒の診察と同様に数えようとすれば、最近の傾向として相談業務の数字は大きくなっていないが、ひとつひとつが複雑で手間がかかり達成感がなくなってきており、今後センター職員の燃え尽き症候群発生が危惧される状況である。

既視感 déjà-vu

保健管理センター松江 河野美江

私は平成20年1月より保健管理センター松江に勤務しています。私は産婦人科医師ですので、「どうして保健管理センターに？」とよく聞かれます。そこで、産婦人科医師の私と保健管理センターについて考えてみます。

記憶を遡ってみると、私が高校生の頃、松江に思春期外来というものはなかったのも、悩み多き女子高生の私は「どこかに相談に行きたいのに・・・」と悶々としていたように思います。今から思うと大した悩みではないのですが、自意識過剰で反抗期の高校生は親や同級生には話せず、ただ誰かに話を聞いてもらいたかったのでしょうか。

さて進路選択の際に「私は思春期をやるのだった！」と思い出しました。世界では1970年代に10代の人工妊娠中絶が増加したため、WHOは思春期における予防的保健サービスの必要性を強調し、カイロ会議で「思春期リプロダクティブ・ヘルス・ライツ」が採択されました。そして北欧諸国を中心に、性の健康に対する若者へのサービスと教育の促進と共に、多数の思春期クリニックが設置されました。日本でもこの流れを汲み思春期学会が設立され、婦人科を主体とした思春期外来が各地に出来ました。私は当時、自分なりに思春期外来をイメージし、①白い2階建の建物で、1階には避妊等のパンフレットがあり学生が談話していて、2階で学生の相談にのっている私、②年をとり、酸いも甘いも噛み分けて若い人と笑っているおばあさん先生の私、が目には浮かびました。そして周りの「激務である」「夜、呼び出される」「結婚生活との両立が難しい」等の意見に全く耳を貸さず、産婦人科を選択したのです。産婦人科入局後は、「思春期は人から教えてもらうものではない、自分で学ぶもの」と言われ、ひたすら外来、分娩、手術、婦人科癌の研究・・・と、目の前のごとを必死でやり、その間に結婚し子どもを産み、仕事と家庭との両立に悪戦苦闘しました。

この頃に生協病院で念願の思春期外来を始めました。摂食障害の患者さんも来られるようになり、心理的アプローチの重要性に迫られ臨床心理士になりました。病院や上司の理解のおかげで、病院勤務の傍らスクールカウンセラーとして学校に出かけ、思春期外来での幅も広がり「こういう風に心も身体もみていけたらいいな。」と思うようになりました。

さて *déjà-vu* ですが、秋晴れの大学を歩いていると白い2階建の建物がありました。1階では学生が・・・あれ、どこかで見たことが・・・。今、ここでこうして働いていることが奇跡のようです。いつまでもこの新鮮な気持ちを失わずに、保健管理センターで産婦人科医師・カウンセラーとして学生さんに接していきたいです。あと10年もたてば、おばあさん先生に限りなく近づいて行くでしょう。これから年をとっていくのが楽しみです。

今から思うと、たくさんの妊婦さん、お母さん、更年期のおばさん、そして荒れ狂う思春期の子どもたち・・・私はどれだけ多くの人と出会い、多くのことを学ばせてもらったことでしょう。今までの出会いに感謝しています。

これからも、どうかよろしく願い申し上げます。

雑 感

保健管理センター松江（学校医） 坂之上 一 史

私は平成 17 年 4 月より池田博先生の後任として保健管理センターに嘱託で勤務しています。最初に保健管理センターにお世話になったのは昭和 62 年でした。その頃春の学生、職員の皆様の健康診断のお手伝いには赤十字病院から参っておりました。毎年春に医者と看護師数人ずつが、4, 5 回お邪魔していたように記憶しています。当時学校医であった池田先生と若手の内科系医師が検診業務にあたっておりました。池田先生が女子学生を診察されることはそれ以前から不文律になっていたようで、時に「いやいや私は男子学生を診ます」と言われたことを真に受けて男子学生の担当になっていただくと、とたんに機嫌が悪くなったと聞いていました。古手の看護師が「背びれ尾びれ」をつけて面白い話しにしていたようですが、一緒に検診にあたる看護師から「必ず女子学生は池田先生に診てもらってくださいよ、自分たちが後でとぼっちりをうけますから」と前もって注意をうけていたのは事実です。女子学生を担当するのは皆正直閉口していましたので、これ幸いと「池田先生、是非女子学生をお願いします」といって看護師の言うことに素直に従いあとで看護師からいやみを言われること無く毎年無事検診を終了しておりました。池田先生は平成 3 年に赤十字病院を退職され血液センターに移動されましたが、送別会の席で「健康の秘訣は？」とお聞きしたところ一言「酒です」と言われたことは鮮明に覚えています。このころには私も若手でなくなってしまい、さらに現在とは制度こそ違いますが赤十字病院の研修医も増えたため、島根大学の検診業務からお役ごめんとになりました。平成 17 年春に赤十字病院を退職しましたが、それまで生馬にある高等専門学校の産業医を兼務していた関係と思っておりますが、大学の内科検診に声を掛けていただき現在に至っています。

平成 17 年にお邪魔したころは持病のある新入生や春の検診で要精査となった学生さんに近隣の専門医を紹介するのが主な仕事でした。紹介した先生にばったり会った際に「島根大学の学生さんが受診したでしょう」と話しても怪訝な顔されることもありましたが、概ねきちんと受診していただいていたようです。ただ気になる学生さんほど受診しない傾向があり、保健管理センターから受診するように連絡していただいたこともありました。最近では学生さんでもメタボの心配が必要な方が増えてきたようです。とはいえ昔からそういう学生はいたわけで、ちなみに私も学生時代からそうなのですが、こういう体型の学校医が「痩せましょう、間食をやめましょう、運動しましょう」というのは説得力が無いなど思っていた矢先でした。赤十字病院時代から診ている患者さんの一人（立派なメタボ）に、私がいろいろ言いましたところ「先生が痩せたら僕も頑張る」とやられてしまいました。学生さんは初対面が多いのでそこまでは言ってくれません。それから一念発起はしていますが、なかなか効果があがってきません。以上、取り止めの無い話になりました。又保健管理センターに気軽に話に来てください。

教育ってなんだ？

保健管理センター松江 早瀬 眞知子

最近、大流行(?)の「発達障がい」というのを皆さん、ご存知だろうか。教育現場において、知らない、というのはあまりにも世の中に無関心、我が研究しか眼中にない、とも思えるが、「そんなもの、ない」と否認される方々は結構多いかもしれない。世の中の的にはあれよあれよという間に認知され、発達障害者支援法【注】という法律までできている。

10年前くらいにスクールカウンセラーとして小学校に行っていた私は学級崩壊などの言葉と共に、「落ち着きのない子」という枠で、ADHD(注意欠陥多動症候群)といわれる子どもたちとの出会いがあり、「のびたジャイアン症候群」(司馬理恵子著)という本を知り合いのドクターから教えてもらい、『こういう障がいがあるのか!』と思ったのが勉強のきっかけになった。こころや精神の領域というのはまだまだ解明されていないことが多く、病名や病態もその人の個性なのか、養育環境などで身につけざるを得ない処世術なのか、線引きしにくいものもあったりして、『発達障がい』をどう受け止めたらいいか、と考えてきた。

大学で勤務するようになると、知的には問題がない、しかし、コミュニケーション能力の弱い学生や、『発達障がい』の特徴を備えた学生が、相談に来る、来ないは別としてけっこうたくさんいることに気づかされている。

Developmental Disorders とか Developmental Disabilities を発達障がいと訳したことによる、障がいというレッテルの弊害も指摘されているところではあるが、なにやら不器用で、でも一生懸命な彼らがもう少し楽に生きられる術はないものか、と思う。

原因はいまだ解明されていないが、環境物質のせいだ、とか、アルミのなべは良くないとか、ゲームが悪い、等々いろいろな邪推も生んでいる。主たる対応が薬物治療の対象ではなく、困ったことに対するソーシャルスキルの取得ということなので、誰に診てもらってどうしたらいいの?という感じにもなる。診断は医者だといわれているが、青年期大学生の発達障がいの診断をしてくれる医者も少ない。

そのあたりをうめていくときに、学生にこんな場合はこうしたらいいんだよ、と教えてあげられるといいような気もするが、教わるのが苦手という人もいたりする。そもそも「空気よめない」といわれたりもする彼らは、自覚的に困るようになるのも時間がかかっていたりする。『なんか、うまくいかないなあ』という漠たる思いはあるようだが、それが悩みとしてかたちにならず、周りばかりが辟易していることもあるのか、あったのか、話を聴いていると「いじめられてました」というのもしばしば出てくる。そのあたりになると、二次被害といわれるもので、鬱や不眠、解離といった症状を呈したり、フラッシュバックに襲われたり、本態を覆い隠していろいろな精神症状にも悩まされ、ということになっている。

知的に問題がなく、ある枠の中では高い能力を示すために未診断のまま大学に入ってきて、自由な環境で破綻をきたす、創造的な能力を発揮する必要性に迫られて、お手上げになる、

家族もそれまでは勉強ができる、と思っているがそれは、記憶や反復力に能力があるということ、自発性や独自性を求められる研究分野ではかなりの苦戦を強いられる場合も多い。

勉強ができる、というより、記憶や反復力、ある種の集中力などの面が仕事に生きるような選択肢を考えてやっていたら、この学生はここまで苦しまなくてもよかったのでは、と考える。その人の資質が生きる進路指導を考えてくれる人はいないのだろうか。

そんな学生にこれからどう対応していくのか、大学の中でも支援の方策を整備していかななくては行けない。

【注】

第八条 国及び地方公共団体は、発達障害児(十八歳以上の発達障害者であって高等学校、中等教育学校及び特別支援学校に在学する者を含む。)がその障害の状態に応じ、十分な教育を受けられるようにするため、適切な教育的支援、支援体制の整備その他必要な措置を講じるものとする。

2 大学及び高等専門学校は、発達障害者の障害の状態に応じ、適切な教育上の配慮をするものとする。」と定められている。

保健管理センターで仕事をして

保健管理センター松江 柏 紀子

おはよう 行ってらっしゃい。

つらかったね。もう、大丈夫だからネ。

お大事にしてください。また、明日ネ。 など

学生さん、教職員の皆さんに声掛けをして長くなりました。でも最初からこういう声掛けをするセンターではありませんでした。

医学部の無いキャンパスでは学生さんや職員の皆さんが医学的知識・情報を求めて保健管理センターを訪れてきます。看護師でない私にとってこれらのニーズに応えることは難しいことも多く、先生や同僚の皆さんの指導を受けながら、その都度自分にできる最善の対応を心掛けてきました。これで良かったのだろうかと思ひながら日々は続いています。

勤務当初、印象深かったのは健康診断時、津波のように集まって来る大勢の学生さん。囲まれた時の汗臭さ（特に男子の時）。そして昔の病気と思っていた肺結核という疾患名を既往歴や休学理由として目にすることもあり、びっくりしたことでした。時代の変化と共に保健管理センターで対応する疾患も変わって、身体面では高血圧や肥満等の生活習慣病に関するもの、貧血、甲状腺疾患が多くなってきています。

さらに人間関係などの悩みや心に関する心理相談が加わってきました。相談業務開始当初は閑古鳥が鳴いている状況でポスター掲示して、宣伝する時代もありました。カウンセリングも認知されて、年々増加傾向となり、現在の松江キャンパスは医師・カウンセラー3人態勢で教員や保護者との連携なども増え、閑とは縁遠い状態となっています。

相談学生さんとの関わりの中から精神疾患を抱えている、研究室は居心地良くない、友人もいないといった学生さん達も増え、居場所として保健管理センターを提供するようになりました。島根大学保健管理センター松江は開設以来、常勤医が精神科医という数少ない保健管理センターで、相談業務の勉強には恵まれた環境です。学生さんがカウンセリング申し込みに来た時の声の掛け方から、精神的に不安定な人との接し方など毎日が勉強かつ実践の機会です。そしてセンターを利用、来訪する皆さんとの一期一会の心も先生方や学生さんから学びました。最近是不登校傾向やなかなか単位取得出来ない学生、「アスペルガー症候群」などの発達障がいの学生さんにも保健管理センターを休憩や食事、勉強が出来る居場所として利用できるよう支援しています。

心身両面の援助を求めて来る皆さんに対して、個人での支援には限界がありますが、これからも自分にできる最善の対応を心掛け、保健管理センターの先生や指導教員と学生さんのパイプ役として皆さんが充実した大学生活を送れるようお手伝いしていきたいと思ひます。

保健管理センターでの出会いを大切に

保健管理センター出雲 米原満子

行政と民間での保健師勤務を経て、平成3年7月島根医科大学保健管理センターに採用となり、早くも19年の歳月が流れました。昭和50年10月に島根医科大学が開学しました。保健管理センターが大学に設置され、業務を開始したのは、平成4年4月からです。専任の野原先生が着任され、まずは「よろず相談所」をモットーに日常の応急処置や健康相談を中心として、とにかく学生に足を運んでもらうことを念頭に置きました。新入生は4月に全員がセンターを訪れます。利用延べ件数の推移をみると、初年度2,628件から現在は約6,000件までに増えていき、学内でも保健管理センターの役割が認知されていきました。フィジカル面の利用が進むにつれて、学生の自己探求、対人関係など学生相談の必要性が高まりました。当初から、学校医(精神科神経科)の協力体制はありましたが、平成7年度からは、学生相談の体制充実のため非常勤カウンセラーの採用が決まり、さらに心身両面のサポート体制が整いました。当時、医学科の新入生は95名であり、比較的早く、顔と氏名が一致することが単科大学ならではの利点でした。平成11年には看護学科が設置され、キャンパス内の風景も変わっていきました。女子学生が増え、健康診断など様々な場面での配慮もさらに大切な事項となりました。医学科・看護学科の学生達が、医師、看護師、保健師への道を目指しながら、学業はもとより、課外活動や友人関係をとおして、それぞれに自分探しをして巣立っていく姿を見届けることができるのは、大学という教育機関ならではの喜びではないでしょうか。

センターの業務全般を振り返れば、平成11年、全国的に“結核の再燃”が話題となり、医科大学においては感染症予防対策が必須業務となりました。学生のB型肝炎ワクチン・インフルエンザワクチンの接種に加えてツベルクリン反応検査も始まり、限られたスタッフで、優先度も考えながら業務を進めていく毎日でした。その後、平成15年10月に大学の統合、半年後の平成16年4月には国立大学法人となり、現在に至っています。

世の中では、労働の高密度化、急速な情報化などが加速し、変革のスピードについていくのはなかなか大変です。業務のあり方も“保健管理から健康支援への転換を”と言われています。学生および職員のサポートを担う私たち自身が生き生きと働くことができるように、ワーク・ライフ・バランスを考えながら、多忙感に埋もれることなく癒し癒されることも大切ではないでしょうか。中国四国地区大学の保健管理スタッフの方々をはじめ、私自身これまでに得た地域や産業分野の方々とのつながりを支えとして働いています。そして何より、多くの学生、教職員の方々と出会うことによって新たな自分を見出すこともできました。19年が永いのか短いのか分かりませんが、誰かを支え、誰かに支えられ・・・自分育てができた時間です。

19歳と言えば成人式の一步手前ですが、今や30歳までは青年期と言われていますので、私の場合もまだまだ成長段階かも知れません。これからも、課題を抱えながら一步一步前へ進む気持ちを忘れないでいたいと思うこの頃です。

学生相談における‘繋がり’

保健管理センター出雲（嘱託講師） 和田 葉子

保健管理センター出雲の相談室には、座り心地のよい、少し厳めしいソファとテーブルがありますが、生憎、窓のない部屋で、センターの野原先生が気にしてくださって、いつの頃からか、海の中の優しいジュゴン親子の姿が描かれた絵を飾ってくださいました。また、ある先生がこの部屋を使われた際、何故かぬいぐるみを飾って行かれたので、そのまま置かせていただいています。保健師の米原さんが、時計やカレンダーやティッシュ（涙を拭く、鼻をかむ！）他、カウンセリングに必要と思われるものを、いつもきれいに整えてくださっています。私は、今、そのようなことを思い出しながら、ここに書くだけでも、センターでは、学生さんのためのカウンセリングの有り方が共有できているということに気付くとともに、私自身、安心して学生さんたちと合わせていただいているなあ実感できます。

カウンセリングでは、その人の「心の安全空間」が保たれることが、まず大切な条件で、カウンセラーも、その人の空間を構成する一つの事象でしょうから、「私も安心」ということは、案外に、重要な自覚と言えそうです。私は、基本的には、カウンセリングというものは、定期的・継続的に続けることで、そこでの受容的、支持的な関わりを通して、悩んでいる人自身が、自己治癒力を高め、自分なりの解決や安心感を得たり、自己実現や人間性の成熟に向かうことを目標としていると考えていますし、大学生という時期は、場合によっては、心理社会的教育の視点から、現実的、指導的にかかわる場合も必要であると思っています。

保健管理センター出雲には、平成7年度から、週半日ではありますが、カウンセラー（臨床心理士）が配置されており、主にメンタルヘルスに関連して、学生さんからの相談を受けています。常駐の野原先生と米原さんが、相談のある学生さんを迎え入れていただく（インテーク面接）、必要に応じて、医師や臨床心理士に紹介されますので、そこから、私と学生さんとの出会いが始まります。また、最近では、カウンセリングという言葉も、学生さんの方から聞かれるようになり、本人からの希望でカウンセリングが始まることも増えたように思います。このように、カウンセリングは、そこまでの「繋がり」が上手く行かないと、いくら本人や周囲の必要性が高まっても始めることができません。この「繋がり」を作ることについても、センターは、役割を担っており、機能していると思います。また、実際に、学生さんとのカウンセリングや心理的援助が始まると、この「繋がり」は、「連携」に発展していく準備状態のようなものと、私は考えています。

別の側面から、この「繋がり」に影響するものと考えてみると、センターの「日常性」と、啓蒙というか「緩やかな介入」があります。当センターは、心身両面のバックアップができるというメリットがあるからか、日頃から、学生さんの出入りが、比較的多いように感じています。センター全体が、とてもにぎやかな雰囲気にも包まれる日もあります。そんな雰囲気の中で、学生さんたちは、センターの様々な役割を知り、さらに、自分が悩み

や困難に遭遇したときに、センターが一つの資源になりうることを、こうした日常性から自然に実感しているのではないかということです。例えば、センターでは、例年、新入生のメンタル面の健康チェックとして全員に心理検査を行っていますが（別項参照）、希望者と自分の結果を知っていただいた方がよいとこちらが判断した学生さんには、センターに直接来てもらい、その結果を一緒に見て、自分の長所とか課題を考えるようにしています。このような介入や繋がりを入学時に行っておくと、長いキャンパスライフの途中で何かあったときに、センターが、「まあまあ行きやすい」場所になっていることが、これまでも少なからずありました。つまり、「繋がり」は、メンタル面の問題の早期発見や予防としても役に立つと考えられます。

大学という場のカウンセリングで、私は、どれだけたくさんの青年たちに出会ってきたのでしょうか。具体的に思い浮ぶ顔・顔……。その人達のストーリーをここで紹介することは、残念ながらできませんが、青年期という、何とも魅力的で可能性に満ちた、しかし、非情な困難が待ち受けていることも多いこの時期に、カウンセリングという形で出会ってきた学生さんたちは、いつも真面目で、真剣で、自己探求に熱心で、それゆえの、生きることへの疲弊感も、感じやすくなっていました。そして、そのような難局を乗り越えていった人たちも、また大勢います。今は立派な社会人となったり、親となっている人たちからの、たまにある連絡に、一人密かに喜びを感じ、私の日々の心理臨床への活力を頂いているのも事実であり、学生さんたちとの「繋がり」によって、私もまた、支えられていると感じることもあります。

また一方では、先ほど述べたような葛藤や不安が、一見しただけでは、全く伝わってこない青年や、むしろ無頓着とも言える青年も、最近では増えてきているように思います。こうしたタイプの学生さんを支援すること（繋がること）に、支援者サイドのエネルギーと工夫が、かなり必要となってきたということも感じています。

若者の心の有り様の普遍性と時代的変遷という二律の中で、迷い、戸惑いながら、カウンセリングや心理的援助の有り様を常に模索するという意味で、未だ青年期心性を残したカウンセラーとして、今後も学生相談に向き合っていくのだろうな、という思いで、自分自身を見つめながら、この文章を書き終えたいと思います。

松江キャンパス

I : 事業・業務

| 平成 16 年度 | | 平成 17 年度 | |
|--|---|----------|--|
| 4 月 | 入学時定期健康診断（新入生） 入学式救護 新入生オリエンテーション 定期健康診断（在学生・留学生） 定期健康診断事後指導、措置 （新入生・在学生） | 4 月 | 入学時定期健康診断（新入生） 入学式救護 新入生オリエンテーション 定期健康診断（在学生・留学生） 定期健康診断事後指導、措置 （新入生・在学生） |
| 5 月 | 「新入生入学 1 カ月後の健康調査」実施 定期健康診断事後指導（在校生・留学生） 特別健康診断（RI 取扱者 学生・職員） 新入生栄養・食生活指導 | 5 月 | 「新入生入学 1 カ月後の健康調査」実施 定期健康診断事後指導（在校生・留学生） 特別健康診断（RI 取扱者 学生・職員） 新入生栄養・食生活指導 |
| 6 月 | 保健管理センター第 1 回管理運営委員会 | 6 月 | 保健管理センター第 1 回管理運営委員会 |
| 7 月 | | 7 月 | |
| 8 月 | 中国四国大学保健管理研究集会（高松市） 中国五大学競技大会事前健康診断 | 8 月 | 中国・四国大学保健管理研究集会 当番校 中国五大学競技大会事前健康診断 |
| 9 月 | 非構成型エンカウンターグループ 第 13 回島根学生相談研究会参加 | 9 月 | 第 15 回島根学生相談研究会参加 |
| 10 月 | 全国大学保健管理研究集会参加（大阪市） | 10 月 | 全国大学保健管理研究集会参加（山形市） 中国五大学競技大会事前健康診断 |
| 11 月 | 中国五大学競技大会事前健康診断 特別健康診断（RI 取扱者 学生・職員） | 11 月 | 中国五大学競技大会事前健康診断 特別健康診断（RI 取扱者 学生・職員） |
| 12 月 | 保健管理センター第 2 回管理運営委員会 推薦入学試験救護 | 12 月 | 保健管理センター第 2 回管理運営委員会 推薦入学試験救護 |
| 1 月 | 大学入試センター試験救護（松江・浜田） 水泳部寒中水泳大会救護 | 1 月 | 大学入試センター試験救護 水泳部寒中水泳大会救護 |
| 2 月 | 保健管理センター第 3 回管理運営委員会 個別学力検査（前期日程）救護 | 2 月 | 保健管理センター第 3 回管理運営委員会 個別学力検査（前期日程）救護 |
| 3 月 | 全国大学保健管理協会中国四国地方部会 幹事会出席 個別学力検査（後期日程）救護 卒業式救護 「一人暮らしの食生活ハンドブック」発行 「保健管理センター」パンフレット発行 | 3 月 | 全国大学保健管理協会中国四国地方部会 幹事会出席 第 15 回島根学生相談研究会開催 個別学力検査（後期日程）救護 卒業式救護 「一人暮らしの食生活ハンドブック」発行 「保健管理センター」パンフレット発行 |
| 内科健康相談 4 月～7 月 : 2 回/月, 10 月～2 月 : 1 回/月 | | | |
| 栄養・食生活相談 2 回/月 | | | |

| 平成 18 年度 | | 平成 19 年度 | |
|--|--|----------|---|
| 4 月 | 入学時定期健康診断（新入生） 入学式救護 新入生オリエンテーション 定期健康診断（在学生・留学生） 定期健康診断事後指導、措置 （新入生・在学生） 学生寮生の健康調査 | 4 月 | 入学時定期健康診断（新入生） 入学式救護 新入生オリエンテーション 定期健康診断（在学生・留学生） 定期健康診断事後指導、措置 （新入生・在学生） |
| 5 月 | 「新入生入学 1 カ月後の健康調査」実施 定期健康診断事後指導（在校生・留学生） 特別健康診断（RI 取扱者 学生・職員） 新入生栄養・食生活指導 | 5 月 | 「新入生入学 1 カ月後の健康調査」実施 定期健康診断事後指導（在校生・留学生） 特別健康診断（RI 取扱者 学生・職員） 新入生栄養・食生活指導 |
| 6 月 | 保健管理センター第 1 回管理運営委員会 | 6 月 | 保健管理センター第 1 回管理運営委員会 |
| 7 月 | 島根学生相談研究会参加 | 7 月 | |
| 8 月 | 中国・四国大学保健管理研究集会（徳島市） 中国五大学競技大会事前健康診断 | 8 月 | 中国四国大学保健管理研究集会（広島市） 中国五大学競技大会事前健康診断 |
| 9 月 | 非構成型エンカウンターグループ | 9 月 | 第 17 回島根学生相談研究会参加 |
| 10 月 | 全国大学保健管理研究集会参加（大阪市） | 10 月 | 全国大学保健管理研究集会参加（山形市） 中国五大学競技大会事前健康診断 |
| 11 月 | 中国五大学競技大会事前健康診断 特別健康診断（RI 取扱者 学生・職員） | 11 月 | 中国五大学競技大会事前健康診断 特別健康診断（RI 取扱者 学生・職員） |
| 12 月 | 保健管理センター第 2 回管理運営委員会 推薦入学試験救護 | 12 月 | 保健管理センター第 2 回管理運営委員会 推薦入学試験救護 |
| 1 月 | 大学入試センター試験救護（松江・浜田） 水泳部寒中水泳大会救護 | 1 月 | 大学入試センター試験救護 水泳部寒中水泳大会救護 |
| 2 月 | 保健管理センター第 3 回管理運営委員会 個別学力検査（前期日程）救護 | 2 月 | 保健管理センター第 3 回管理運営委員会 個別学力検査（前期日程）救護 |
| 3 月 | 全国大学保健管理協会中国四国地方部会 幹事会出席 第 16 回島根学生相談研究会開催 個別学力検査（後期日程）救護 卒業式救護 「一人暮らしの食生活ハンドブック」発行 「保健管理センター」パンフレット発行 | 3 月 | 全国大学保健管理協会中国四国地方部会 幹事会出席 個別学力検査（後期日程）救護 卒業式救護 「一人暮らしの食生活ハンドブック」発行 「保健管理センター」パンフレット発行 |
| 内科健康相談 4 月～7 月 : 2 回/月, 10 月～2 月 : 1 回/月 | | | |
| 栄養・食生活相談 2～3 回/月 | | | |

| 平成 20 年度 | |
|---|---|
| 4 月 | 入学時定期健康診断（新入生） 入学式救護 新入生オリエンテーション 学生寮生の健康調査 定期健康診断（在学生・留学生） 定期健康診断事後指導、措置 （新入生・在学生） |
| 5 月 | 「新入生入学 1 カ月後の健康調査」実施 定期健康診断事後指導（在校生・留学生） 特別健康診断（RI 取扱者 学生・職員） |
| 6 月 | 保健管理センター第 1 回管理運営委員会 |
| 7 月 | |
| 8 月 | 中国四国地方保健管理研究集会（高知市） 中国五大学競技大会事前健康診断 |
| 10 月 | 全国大学保健管理研究集会参加（京都市） 中国五大学競技大会事前健康診断 |
| 11 月 | 中国五大学競技大会事前健康診断 特別健康診断（RI 取扱者 学生・職員） |
| 12 月 | 保健管理センター第 2 回管理運営委員会 島根学生相談研究会参加 推薦入学試験救護 |
| 1 月 | 大学入試センター試験救護 水泳部寒中水泳大会救護 |
| 2 月 | 保健管理センター第 3 回管理運営委員会 個別学力検査（前期日程）救護 |
| 3 月 | 全国大学保健管理協会中国四国地方部会 幹事会出席 個別学力検査（後期日程）救護 卒業式救護 「一人暮らしの食生活ハンドブック」発行 「保健管理センター」パンフレット発行 |
| 内科健康相談 4 月～7 月 : 2 回/月, 10 月～2 月 : 1 回/月 栄養・食生活相談 2～3 回/月 | |

Ⅱ：保健管理業務

1. 健康診断・事後措置

① 定期健康診断

i. 健康診断項目

平成 16, 17, 18, 19, 20 年度

| 学年等 項目 | 1年 | 2年・3年・4年 | 大学院 | 留学生 |
|-----------|-----------|----------|---------|-------|
| 計測 | ○（視力検査除く） | ○ | ○ | ○ |
| 血圧 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 内科診察 | 該当者のみ | ○ | ○ | ○ |
| 胸部X線 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 問診 | ○ | — | M1・D1のみ | — |
| 尿検査 | ○ | 該当者のみ | 該当者のみ | 該当者のみ |
| 心電図 | 該当者のみ | 該当者のみ | 該当者のみ | 該当者のみ |

1年生は入学式前に健康診断を実施し、問診結果や既往歴、本人の希望等により、内科診察及び心電図検査を実施する。

2年生以上・大学院生・留学生の尿検査・心電図検査は経過観察該当者、医師の指示、希望者に対して実施する。

ii. 学生定期健康診断受診率

○平成 16 年度

学部

| | | 1 年生 | | 2 年生 | | 3 年生 | | 4 年生 | | 5 年生以上 | |
|----------|--------|-------|-------|------|------|------|-------|-------|------|--------|------|
| | | 男子 | 女子 | 男子 | 女子 | 男子 | 女子 | 男子 | 女子 | 男子 | 女子 |
| 法文 | 対象者数 | 115 | 116 | 150 | 170 | 161 | 176 | 151 | 176 | 62 | 23 |
| | 受診者数 | 113 | 115 | 97 | 111 | 87 | 149 | 87 | 135 | 10 | 4 |
| | 受診率(%) | 98.3 | 99.1 | 64.7 | 65.3 | 54.0 | 84.7 | 57.6 | 76.7 | 16.1 | 17.4 |
| 教育 | 対象者数 | 68 | 128 | 72 | 141 | 83 | 138 | 68 | 145 | 23 | 10 |
| | 受診者数 | 68 | 128 | 59 | 126 | 75 | 131 | 68 | 131 | 2 | 3 |
| | 受診率(%) | 100.0 | 100.0 | 81.9 | 89.4 | 90.4 | 94.9 | 100.0 | 90.3 | 8.7 | 30.0 |
| 総合 理工 | 対象者数 | 343 | 67 | 340 | 69 | 348 | 70 | 348 | 76 | 137 | 9 |
| | 受診者数 | 332 | 65 | 164 | 16 | 168 | 70 | 228 | 72 | 55 | 4 |
| | 受診率(%) | 96.8 | 97.0 | 48.2 | 23.2 | 48.3 | 100.0 | 65.5 | 94.7 | 40.1 | 44.4 |
| 生物 資源 | 対象者数 | 118 | 99 | 136 | 78 | 144 | 89 | 129 | 98 | 43 | 8 |
| | 受診者数 | 118 | 99 | 57 | 17 | 43 | 71 | 92 | 86 | 13 | 3 |
| | 受診率(%) | 100.0 | 100.0 | 41.9 | 21.8 | 29.9 | 79.8 | 71.3 | 87.8 | 30.2 | 37.5 |
| 計 | 対象者数 | 644 | 410 | 698 | 458 | 736 | 473 | 696 | 495 | 265 | 50 |
| | 受診者数 | 631 | 407 | 377 | 270 | 373 | 421 | 475 | 424 | 80 | 14 |
| | 受診率(%) | 98.0 | 99.3 | 54.0 | 59.0 | 50.7 | 89.0 | 68.2 | 85.7 | 30.2 | 28.0 |

大学院

| | | 1 年生 | | 2 年生 | | 3 年生以上 | |
|-------------|------|-------|-------|------|-------|--------|-------|
| | | 男子 | 女子 | 男子 | 女子 | 男子 | 女子 |
| 人文社会科学 | 対象者数 | 3 | 4 | 11 | 7 | 1 | 1 |
| | 受診者数 | 2 | 3 | 7 | 2 | 0 | 0 |
| | 受診率 | 66.7 | 75.0 | 58.3 | 25.0 | 0.0 | 0.0 |
| 法務研究科 | 対象者 | 26 | 7 | | | | |
| | 受診者数 | 23 | 7 | | | | |
| | 受診率 | 88.5 | 100.0 | | | | |
| 教育学 | 対象者数 | 15 | 18 | 9 | 22 | - | 1 |
| | 受診者数 | 15 | 17 | 6 | 16 | - | 0 |
| | 受診率 | 100.0 | 94.4 | 66.7 | 69.6 | - | 0.0 |
| 総合理工学 前期 | 対象者数 | 94 | 11 | 89 | 15 | - | - |
| | 受診者数 | 90 | 11 | 83 | 15 | - | - |
| | 受診率 | 95.7 | 100.0 | 88.8 | 100.0 | - | - |
| 総合理工学 後期 | 対象者数 | 10 | - | 8 | 2 | 17 | 1 |
| | 受診者数 | 6 | - | 4 | 0 | 7 | 1 |
| | 受診率 | 60.0 | - | 50.0 | 0.0 | 41.2 | 100.0 |
| 生物資源科学 | 対象者数 | 42 | 9 | 39 | 17 | 1 | 2 |
| | 受診者数 | 33 | 9 | 31 | 16 | 0 | 0 |
| | 受診率 | 78.6 | 100.0 | 77.5 | 84.2 | 0.0 | 0.0 |
| 計 | 対象者数 | 190 | 49 | 156 | 63 | 19 | 5 |
| | 受診者数 | 169 | 47 | 131 | 49 | 7 | 1 |
| | 受診率 | 88.9 | 95.9 | 84.0 | 77.8 | 36.8 | 20.0 |

外国人留学生（学部）

| | | 1年生 | | 2年生 | | 3年生 | | 4年生 | | 5年生以上 | |
|------|--------|-------|-------|-------|------|-----|------|------|-------|-------|----|
| | | 男子 | 女子 | 男子 | 女子 | 男子 | 女子 | 男子 | 女子 | 男子 | 女子 |
| 法文 | 対象者数 | - | - | 2 | 2 | 1 | 2 | 3 | - | - | - |
| | 受診者数 | - | - | 1 | 1 | 0 | 0 | 2 | - | - | - |
| | 受診率(%) | - | - | 50.0 | 50.0 | 0.0 | 0.0 | 66.7 | - | - | - |
| 教育 | 対象者数 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | 受診者数 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | 受診率(%) | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 総合理工 | 対象者数 | 1 | - | 1 | - | 1 | 1 | 2 | 1 | - | - |
| | 受診者数 | 1 | - | 1 | - | 0 | 0 | 1 | 1 | - | - |
| | 受診率(%) | 100.0 | - | 100.0 | - | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 100.0 | - | - |
| 生物資源 | 対象者数 | - | 4 | - | 2 | - | 2 | 1 | - | - | - |
| | 受診者数 | - | 4 | - | 1 | - | 1 | 0 | - | - | - |
| | 受診率(%) | - | 100.0 | - | 50.0 | - | 50.0 | 0.0 | - | - | - |
| 計 | 対象者数 | 1 | 4 | 3 | 4 | 2 | 5 | 6 | 1 | - | - |
| | 受診者数 | 1 | 4 | 2 | 2 | 0 | 1 | 3 | 1 | - | - |
| | 受診率(%) | 100.0 | 100.0 | 66.7 | 50.0 | 0.0 | 20.0 | 50.0 | 100.0 | - | - |

外国人留学生（大学院）

| | | 1年生 | | 2年生 | | 3年生以上 | |
|---------|--------|-------|-------|------|-------|-------|----|
| | | 男子 | 女子 | 男子 | 女子 | 男子 | 女子 |
| 人文社会科学 | 対象者数 | 2 | 3 | 1 | 1 | - | - |
| | 受診者数 | 2 | 2 | 0 | 0 | - | - |
| | 受診率(%) | 100.0 | 66.7 | 0.0 | 0.0 | - | - |
| 法務研究科 | 対象者数 | - | - | | | | |
| | 受診者数 | - | - | | | | |
| | 受診率(%) | - | - | | | | |
| 教育学 | 対象者数 | 1 | 5 | 1 | 1 | - | - |
| | 受診者数 | 1 | 2 | 0 | 1 | - | - |
| | 受診率(%) | 100.0 | 40.0 | 0.0 | 100.0 | - | - |
| 総合理工学前期 | 対象者数 | 9 | 3 | 7 | 4 | - | - |
| | 受診者数 | 4 | 1 | 0 | 0 | - | - |
| | 受診率(%) | 44.4 | 33.3 | 0.0 | 0.0 | - | - |
| 総合理工学後期 | 対象者数 | 2 | 1 | 3 | 2 | 2 | - |
| | 受診者数 | 2 | 1 | 2 | 2 | 1 | - |
| | 受診率(%) | 100.0 | 100.0 | 66.7 | 100.0 | 50.0 | - |
| 生物資源科学 | 対象者数 | 3 | 3 | 4 | 4 | - | - |
| | 受診者数 | 2 | 2 | 0 | 1 | - | - |
| | 受診率(%) | 66.7 | 66.7 | 0.0 | 25.0 | - | - |
| 計 | 対象者数 | 17 | 15 | 16 | 12 | 2 | - |
| | 受診者数 | 11 | 8 | 2 | 4 | 1 | - |
| | 受診率(%) | 64.7 | 53.3 | 12.5 | 33.3 | 50.0 | - |

○平成 17 年度

学部

| | | 1 年生 | | 2 年生 | | 3 年生 | | 4 年生 | | 5 年生以上 | |
|----------|--------|-------|-------|------|------|------|------|------|------|--------|------|
| | | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 |
| 法文 | 対象者数 | 96 | 138 | 112 | 116 | 146 | 179 | 157 | 176 | 62 | 42 |
| | 受診者数 | 96 | 134 | 60 | 30 | 87 | 117 | 135 | 157 | 14 | 12 |
| | 受診率(%) | 100.0 | 97.1 | 53.6 | 25.9 | 59.6 | 65.4 | 61.6 | 72.0 | 22.6 | 28.6 |
| 教育 | 対象者数 | 69 | 102 | 68 | 128 | 72 | 141 | 82 | 137 | 17 | 19 |
| | 受診者数 | 69 | 102 | 66 | 124 | 62 | 124 | 68 | 128 | 1 | 3 |
| | 受診率(%) | 100.0 | 100.0 | 97.1 | 96.9 | 86.1 | 87.9 | 68.7 | 82.1 | 5.9 | 15.8 |
| 総合 理工 | 対象者数 | 357 | 61 | 337 | 64 | 353 | 71 | 336 | 69 | 148 | 9 |
| | 受診者数 | 356 | 61 | 124 | 25 | 199 | 46 | 294 | 61 | 42 | 3 |
| | 受診率(%) | 99.7 | 100.0 | 36.8 | 39.1 | 56.4 | 64.8 | 60.7 | 78.2 | 28.4 | 33.3 |
| 生物 資源 | 対象者数 | 131 | 81 | 117 | 97 | 145 | 89 | 142 | 89 | 34 | 9 |
| | 受診者数 | 131 | 81 | 39 | 27 | 62 | 33 | 89 | 76 | 7 | 2 |
| | 受診率(%) | 100.0 | 100.0 | 33.3 | 27.8 | 42.8 | 37.1 | 67.9 | 93.8 | 20.6 | 22.2 |
| 計 | 対象者数 | 653 | 382 | 634 | 405 | 716 | 480 | 717 | 471 | 261 | 79 |
| | 受診者数 | 652 | 378 | 289 | 206 | 410 | 320 | 586 | 422 | 64 | 20 |
| | 受診率(%) | 99.8 | 99.0 | 45.6 | 50.9 | 57.3 | 66.7 | 81.7 | 89.6 | 24.5 | 25.3 |

大学院

| | | 1 年生 | | 2 年生 | | 3 年生 | | 4 年生以上 | |
|-------------|--------|------|-------|------|------|------|-----|--------|---|
| | | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 |
| 人文社会科学 | 対象者数 | 9 | 2 | 3 | 4 | 5 | 3 | | |
| | 受診者数 | 6 | 2 | 1 | 2 | 0 | 0 | | |
| | 受診率(%) | 66.7 | 100.0 | 12.5 | 28.6 | 0.0 | 0.0 | | |
| 法務研究科 | 対象者数 | 26 | 4 | 22 | 7 | 3 | - | | |
| | 受診者数 | 17 | 4 | 5 | 3 | 0 | - | | |
| | 受診率(%) | 65.4 | 100.0 | 22.7 | 42.9 | 0.0 | - | | |
| 教育学 | 対象者数 | 14 | 13 | 15 | 16 | 1 | - | | |
| | 受診者数 | 11 | 13 | 5 | 8 | 0 | - | | |
| | 受診率(%) | 78.6 | 100.0 | 31.3 | 50.0 | 0.0 | - | | |
| 総合理工学 前期 | 対象者数 | 87 | 17 | 95 | 9 | - | - | | |
| | 受診者数 | 75 | 16 | 84 | 7 | - | - | | |
| | 受診率(%) | 86.2 | 94.1 | 88.4 | 77.8 | - | - | | |
| 総合理工学 後期 | 対象者数 | 7 | 1 | 10 | - | 7 | 2 | 4 | - |
| | 受診者数 | 3 | 1 | 3 | - | 4 | 0 | 1 | - |
| | 受診率(%) | 42.9 | 100.0 | 30.0 | - | 36.4 | 0.0 | 25.0 | - |
| 生物資源科学 | 対象者数 | 37 | 18 | 39 | 9 | 4 | - | | |
| | 受診者数 | 29 | 16 | 29 | 8 | 3 | - | | |
| | 受診率(%) | 78.4 | 88.9 | 74.4 | 88.9 | 75.0 | - | | |
| 計 | 対象者数 | 180 | 55 | 184 | 45 | 20 | 5 | 4 | - |
| | 受診者数 | 141 | 52 | 127 | 28 | 7 | 0 | 1 | - |
| | 受診率(%) | 78.3 | 94.5 | 69.0 | 62.2 | 35.0 | 0.0 | 25.0 | - |

外国人留学生（学部）

| | | 1年次 | | 2年次 | | 3年次 | | 4年次 | | 5年生以上 | |
|----------|--------|-------|-------|-------|-----|-----|------|-------|-------|-------|---|
| | | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 |
| 法文 | 対象者数 | 1 | 2 | - | - | 2 | 2 | 1 | 2 | 1 | - |
| | 受診者数 | 1 | 2 | - | - | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | - |
| | 受診率(%) | 100.0 | 100.0 | - | - | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 | 0.0 | - |
| 教育 | 対象者数 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | 受診者数 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | 受診率(%) | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 総合 理工 | 対象者数 | - | - | 1 | - | 1 | - | 1 | 1 | 1 | - |
| | 受診者数 | - | - | 1 | - | 0 | - | 1 | 1 | 0 | - |
| | 受診率(%) | - | - | 100.0 | - | 0.0 | - | 100.0 | 100.0 | 0.0 | - |
| 生物 資源 | 対象者数 | - | 1 | - | 4 | - | 3 | - | 2 | - | - |
| | 受診者数 | - | 1 | - | 0 | - | 1 | - | 1 | - | - |
| | 受診率(%) | - | 100.0 | - | 0.0 | - | 33.3 | - | 50.0 | - | - |
| 計 | 対象者数 | 1 | 3 | 1 | 4 | 3 | 5 | 2 | 5 | 2 | - |
| | 受診者数 | 1 | 3 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 4 | 0 | - |
| | 受診率(%) | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 20.0 | 50.0 | 80.0 | 0.0 | - |

外国人留学生（大学院）

| | | 1年次 | | 2年次 | | 3年次 | | 4年生以上 | |
|-------------|--------|-------|------|------|------|------|------|-------|---|
| | | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 |
| 人文社会科学 | 対象者数 | 1 | - | 2 | 3 | - | - | | |
| | 受診者数 | 1 | - | 0 | 0 | - | - | | |
| | 受診率(%) | 100.0 | - | 0.0 | 0.0 | - | - | | |
| 法務研究科 | 対象者数 | - | - | - | - | - | - | | |
| | 受診者数 | - | - | - | - | - | - | | |
| | 受診率(%) | - | - | - | - | - | - | | |
| 教育学 | 対象者数 | - | 2 | 1 | 5 | - | - | | |
| | 受診者数 | - | 1 | 0 | 1 | - | - | | |
| | 受診率(%) | - | 50.0 | 0.0 | 20.0 | - | - | | |
| 総合理工学 前期 | 対象者数 | 8 | 2 | 9 | 3 | - | - | | |
| | 受診者数 | 1 | 0 | 1 | 2 | - | - | | |
| | 受診率(%) | 12.5 | 0.0 | 11.1 | 66.7 | - | - | | |
| 総合理工学 後期 | 対象者数 | 3 | 1 | 2 | 1 | 3 | 2 | - | - |
| | 受診者数 | 2 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | - | - |
| | 受診率(%) | 66.7 | 0.0 | 50.0 | 0.0 | 33.3 | 50.0 | - | - |
| 生物資源科学 | 対象者数 | 3 | 3 | 3 | 3 | - | - | | |
| | 受診者数 | 1 | 0 | 0 | 2 | - | - | | |
| | 受診率(%) | 33.3 | 0.0 | 0.0 | 66.7 | - | - | | |
| 計 | 対象者数 | 15 | 8 | 17 | 15 | 3 | 2 | - | - |
| | 受診者数 | 5 | 1 | 2 | 5 | 1 | 1 | - | - |
| | 受診率(%) | 33.3 | 12.5 | 11.8 | 33.3 | 33.3 | 50.0 | - | - |

○平成 18 年度

学部

| | | 1 年生 | | 2 年生 | | 3 年生 | | 4 年生 | | 5 年生以上 | |
|------|--------|------|-------|------|------|------|------|------|------|--------|------|
| | | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 |
| 法文 | 対象者数 | 116 | 123 | 111 | 123 | 97 | 138 | 145 | 178 | 67 | 27 |
| | 受診者数 | 115 | 123 | 65 | 74 | 52 | 68 | 94 | 142 | 15 | 6 |
| | 受診率(%) | 99.1 | 100.0 | 58.6 | 60.2 | 53.6 | 49.3 | 64.8 | 79.8 | 22.4 | 22.2 |
| 教育 | 対象者数 | 71 | 106 | 68 | 125 | 69 | 100 | 71 | 141 | 16 | 14 |
| | 受診者数 | 71 | 106 | 63 | 121 | 64 | 99 | 61 | 128 | 3 | 3 |
| | 受診率(%) | 100. | 100.0 | 92.6 | 96.8 | 92.8 | 99.9 | 85.9 | 90.8 | 18.8 | 21.4 |
| 総合理工 | 対象者数 | 350 | 60 | 341 | 74 | 351 | 60 | 343 | 70 | 141 | 8 |
| | 受診者数 | 342 | 60 | 161 | 52 | 123 | 37 | 248 | 47 | 46 | 5 |
| | 受診率(%) | 97.7 | 100.0 | 47.2 | 70.3 | 35.0 | 61.7 | 72.3 | 67.1 | 32.6 | 62.5 |
| 生物資源 | 対象者数 | 128 | 89 | 138 | 99 | 130 | 80 | 141 | 88 | 39 | 18 |
| | 受診者数 | 128 | 89 | 73 | 62 | 55 | 36 | 90 | 71 | 8 | 3 |
| | 受診率(%) | 100. | 100.0 | 52.9 | 62.6 | 42.3 | 45.0 | 63.8 | 80.7 | 20.5 | 16.7 |
| 計 | 対象者数 | 665 | 378 | 658 | 421 | 647 | 378 | 700 | 477 | 263 | 67 |
| | 受診者数 | 656 | 378 | 362 | 309 | 294 | 240 | 493 | 388 | 72 | 17 |
| | 受診率(%) | 98.6 | 100.0 | 55.0 | 73.4 | 45.4 | 63.5 | 70.4 | 81.3 | 27.4 | 25.4 |

大学院

| | | 1 年生 | | 2 年生 | | 3 年生 | | 4 年生以上 | |
|---------|--------|-------|-------|------|------|-------|------|--------|---|
| | | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 |
| 人文社会科学 | 対象者数 | 6 | 4 | 9 | 2 | 3 | 2 | | |
| | 受診者数 | 5 | 4 | 7 | 1 | 0 | 0 | | |
| | 受診率(%) | 83.3 | 100.0 | 77.8 | 50.0 | 0.0 | 0.0 | | |
| 法務研究科 | 対象者数 | 32 | 3 | 21 | 4 | 21 | 6 | 2 | - |
| | 受診者数 | 20 | 3 | 9 | 2 | 10 | 4 | 0 | - |
| | 受診率(%) | 62.5 | 100.0 | 42.9 | 50.0 | 43.5 | 66.7 | 0.0 | - |
| 教育学 | 対象者数 | 12 | 17 | 12 | 13 | 1 | - | | |
| | 受診者数 | 10 | 13 | 6 | 10 | 0 | - | | |
| | 受診率(%) | 83.3 | 76.5 | 50.0 | 76.9 | 0.0 | - | | |
| 総合理工学前期 | 対象者数 | 106 | 21 | 84 | 17 | 2 | 1 | | |
| | 受診者数 | 95 | 21 | 72 | 14 | 2 | 0 | | |
| | 受診率(%) | 89.6 | 100.0 | 85.7 | 82.4 | 100.0 | 0.0 | | |
| 総合理工学後期 | 対象者数 | 8 | 1 | 7 | - | 9 | - | 4 | - |
| | 受診者数 | 8 | 1 | 3 | - | 5 | - | 3 | - |
| | 受診率(%) | 100.0 | 100.0 | 42.9 | - | 55.6 | - | 75.0 | - |
| 生物資源科学 | 対象者数 | 28 | 19 | 33 | 18 | 4 | - | | |
| | 受診者数 | 25 | 19 | 27 | 15 | 1 | - | | |
| | 受診率(%) | 89.3 | 100.0 | 81.8 | 83.3 | 25.0 | - | | |
| 計 | 対象者数 | 192 | 65 | 166 | 54 | 40 | 9 | 6 | - |
| | 受診者数 | 163 | 61 | 124 | 42 | 18 | 4 | 3 | - |
| | 受診率(%) | 84.9 | 93.8 | 74.7 | 77.8 | 42.9 | 44.4 | 50.0 | - |

外国人留学生（学部）

| | | 1年生 | | 2年生 | | 3年生 | | 4年生 | | 5年生以上 | |
|------|--------|-------|-------|-------|------|-------|------|-----|------|-------|---|
| | | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 |
| 法文 | 対象者数 | - | - | 1 | 2 | - | - | 2 | 2 | - | - |
| | 受診者数 | - | - | 1 | 1 | - | - | 0 | 0 | - | - |
| | 受診率(%) | - | - | 100.0 | 50.0 | - | - | 0.0 | 0.0 | - | - |
| 教育 | 対象者数 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | 受診者数 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | 受診率(%) | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 総合理工 | 対象者数 | 1 | 2 | - | - | 1 | - | 1 | - | - | - |
| | 受診者数 | 1 | 2 | - | - | 1 | - | 0 | - | - | - |
| | 受診率(%) | 100.0 | 100.0 | - | - | 100.0 | - | 0.0 | - | - | - |
| 生物資源 | 対象者数 | 1 | 3 | - | 1 | - | 5 | - | 3 | - | - |
| | 受診者数 | 1 | 3 | - | 0 | - | 2 | - | 1 | - | - |
| | 受診率(%) | 100.0 | 100.0 | - | 0.0 | - | 40.0 | - | 33.3 | - | - |
| 計 | 対象者数 | 2 | 5 | 1 | 3 | 1 | 5 | 3 | 5 | - | - |
| | 受診者数 | 2 | 5 | 1 | 1 | 1 | 2 | 0 | 1 | - | - |
| | 受診率(%) | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 33.3 | 100.0 | 40.0 | 0.0 | 20.0 | - | - |

外国人留学生（大学院）

| | | 1年生 | | 2年生 | | 3年生 | | 4年生以上 | |
|---------|--------|-------|-------|------|------|------|-----|-------|-------|
| | | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 |
| 人文社会科学 | 対象者数 | - | 3 | 1 | - | - | - | | |
| | 受診者数 | - | 3 | 0 | - | - | - | | |
| | 受診率(%) | - | 100.0 | 0.0 | - | - | - | | |
| 法務研究科 | 対象者数 | 1 | - | - | - | - | - | | |
| | 受診者数 | 0 | - | - | - | - | - | | |
| | 受診率(%) | 0.0 | - | - | - | - | - | | |
| 教育学 | 対象者数 | 1 | 1 | - | 2 | - | - | | |
| | 受診者数 | 0 | 1 | - | 1 | - | - | | |
| | 受診率(%) | 0.0 | 100.0 | - | 50.0 | - | - | | |
| 総合理工学前期 | 対象者数 | 6 | 3 | 6 | 1 | 2 | 1 | | |
| | 受診者数 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | | |
| | 受診率(%) | 0.0 | 0.0 | 16.7 | 0.0 | 50.0 | 0.0 | | |
| 総合理工学後期 | 対象者数 | 4 | - | 3 | 1 | 2 | 1 | - | 1 |
| | 受診者数 | 1 | - | 1 | 0 | 1 | 0 | - | 1 |
| | 受診率(%) | 25.0 | - | 33.3 | 0.0 | 50.0 | 0.0 | - | 100.0 |
| 生物資源科学 | 対象者数 | 2 | 1 | 6 | 3 | 2 | 2 | | |
| | 受診者数 | 2 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | | |
| | 受診率(%) | 100.0 | 100.0 | 16.7 | 33.3 | 0.0 | 0.0 | | |
| 計 | 対象者数 | 14 | 8 | 16 | 7 | 6 | 4 | - | 1 |
| | 受診者数 | 3 | 5 | 3 | 2 | 2 | 0 | - | 1 |
| | 受診率(%) | 21.4 | 62.5 | 18.8 | 28.6 | 33.3 | 0.0 | - | 100.0 |

○平成 19 年度

学部

| | | 1 年生 | | 2 年生 | | 3 年生 | | 4 年生 | | 5 年生以上 | |
|----------|--------|-------|-------|------|------|------|------|------|------|--------|------|
| | | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 |
| 法文 | 対象者数 | 112 | 127 | 111 | 122 | 100 | 148 | 108 | 122 | 70 | 26 |
| | 受診者数 | 112 | 126 | 9 | 52 | 38 | 99 | 73 | 86 | 14 | 8 |
| | 受診率(%) | 100.0 | 99.2 | 8.1 | 42.6 | 38.0 | 66.9 | 67.6 | 70.5 | 20.0 | 30.8 |
| 教育 | 対象者数 | 74 | 100 | 71 | 106 | 69 | 148 | 68 | 124 | 20 | 9 |
| | 受診者数 | 73 | 100 | 68 | 105 | 68 | 94 | 61 | 121 | 3 | 2 |
| | 受診率(%) | 98.6 | 100.0 | 95.8 | 99.1 | 98.6 | 63.5 | 89.7 | 97.6 | 15.0 | 22.2 |
| 総合 理工 | 対象者数 | 356 | 62 | 344 | 60 | 362 | 63 | 330 | 74 | 143 | 11 |
| | 受診者数 | 348 | 62 | 92 | 21 | 125 | 37 | 207 | 62 | 40 | 7 |
| | 受診率(%) | 97.8 | 100.0 | 26.7 | 35.0 | 34.5 | 58.7 | 62.7 | 83.8 | 28.0 | 63.6 |
| 生物 資源 | 対象者数 | 122 | 85 | 127 | 88 | 138 | 90 | 136 | 97 | 31 | 14 |
| | 受診者数 | 122 | 85 | 30 | 30 | 49 | 51 | 78 | 69 | 5 | 5 |
| | 受診率(%) | 100.0 | 100.0 | 23.6 | 34.1 | 35.5 | 56.7 | 57.4 | 71.1 | 16.1 | 35.7 |
| 計 | 対象者数 | 664 | 374 | 653 | 376 | 669 | 449 | 642 | 417 | 264 | 60 |
| | 受診者数 | 655 | 373 | 199 | 208 | 280 | 281 | 419 | 338 | 62 | 22 |
| | 受診率(%) | 98.6 | 99.7 | 30.5 | 55.3 | 41.9 | 62.6 | 65.3 | 81.1 | 23.5 | 36.7 |

大学院

| | | 1 年生 | | 2 年生 | | 3 年生 | | 4 年生以上 | |
|-------------|--------|-------|-------|------|-------|------|------|--------|---|
| | | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 |
| 人文社会科学 | 対象者数 | 5 | 6 | 6 | 4 | 4 | - | | |
| | 受診者数 | 5 | 6 | 3 | 2 | 0 | - | | |
| | 受診率(%) | 100.0 | 100.0 | 50.0 | 50.0 | 0.0 | - | | |
| 法務研究科 | 対象者数 | 28 | 9 | 22 | 3 | 17 | 3 | 2 | - |
| | 受診者数 | 13 | 8 | 7 | 1 | 8 | 1 | 0 | - |
| | 受診率(%) | 46.4 | 88.9 | 31.8 | 33.3 | 47.1 | 33.3 | 0.0 | - |
| 教育学 | 対象者数 | 17 | 21 | 12 | 17 | 2 | 2 | | |
| | 受診者数 | 14 | 21 | 8 | 11 | 1 | 1 | | |
| | 受診率(%) | 82.4 | 100.0 | 66.7 | 64.7 | 50.0 | 50.0 | | |
| 総合理工学 前期 | 対象者数 | 104 | 18 | 106 | 19 | 2 | - | | |
| | 受診者数 | 88 | 16 | 81 | 18 | 1 | - | | |
| | 受診率(%) | 84.6 | 88.9 | 75.0 | 81.8 | 50.0 | - | | |
| 総合理工学 後期 | 対象者数 | 2 | 1 | 8 | 1 | 6 | - | 7 | - |
| | 受診者数 | 1 | 0 | 4 | 1 | 2 | - | 2 | - |
| | 受診率(%) | 50.0 | 0.0 | 50.0 | 100.0 | 28.6 | - | 28.6 | - |
| 生物資源科学 | 対象者数 | 43 | 24 | 25 | 17 | 1 | - | | |
| | 受診者数 | 36 | 21 | 18 | 14 | 0 | - | | |
| | 受診率(%) | 83.7 | 87.5 | 72.0 | 82.4 | 0.0 | - | | |
| 計 | 対象者数 | 199 | 79 | 179 | 61 | 32 | 5 | 9 | - |
| | 受診者数 | 157 | 72 | 121 | 47 | 12 | 2 | 2 | - |
| | 受診率(%) | 78.9 | 91.1 | 67.6 | 77.0 | 37.5 | 40.0 | 22.2 | - |

外国人留学生（学部）

| | | 1年生 | | 2年生 | | 3年生 | | 4年生 | | 5年生以上 | |
|------|--------|-------|---|-----|------|-----|------|-------|------|-------|---|
| | | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 |
| 法文 | 対象者数 | - | - | - | - | 1 | 2 | - | - | 1 | - |
| | 受診者数 | - | - | - | - | 0 | 1 | - | - | 0 | - |
| | 受診率(%) | - | - | - | - | 0.0 | 50.0 | - | - | 0.0 | - |
| 教育 | 対象者数 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | 受診者数 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | 受診率(%) | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 総合理工 | 対象者数 | 4 | - | 1 | 2 | - | - | 1 | - | - | - |
| | 受診者数 | 4 | - | 0 | 1 | - | - | 1 | - | - | - |
| | 受診率(%) | 100.0 | - | 0.0 | 50.0 | - | - | 100.0 | - | - | - |
| 生物資源 | 対象者数 | 3 | - | 1 | 3 | - | 1 | - | 5 | - | - |
| | 受診者数 | 3 | - | 0 | 1 | - | 0 | - | 3 | - | - |
| | 受診率(%) | 100.0 | - | 0.0 | 33.3 | - | 0.0 | - | 60.0 | - | - |
| 計 | 対象者数 | 7 | - | 2 | 5 | 1 | 3 | 1 | 5 | 1 | - |
| | 受診者数 | 7 | - | 0 | 2 | 0 | 1 | 1 | 3 | 0 | - |
| | 受診率(%) | 100.0 | - | 0.0 | 40.0 | 0.0 | 33.3 | 100.0 | 60.0 | 0.0 | - |

外国人留学生（大学院）

| | | 1年生 | | 2年生 | | 3年生 | | 4年生以上 | |
|-------------|--------|------|------|------|------|-----|------|-------|-----|
| | | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 |
| 人文社会科学 | 対象者数 | 1 | 2 | - | 3 | - | - | | |
| | 受診者数 | 0 | 2 | - | 2 | - | - | | |
| | 受診率(%) | 0.0 | 100. | - | 66.7 | - | - | | |
| 法務研究科 | 対象者数 | - | - | 1 | - | - | - | - | - |
| | 受診者数 | - | - | 0 | - | - | - | - | - |
| | 受診率(%) | - | - | 0.0 | - | - | - | - | - |
| 教育学 | 対象者数 | 1 | 3 | 1 | 1 | - | - | | |
| | 受診者数 | 1 | 3 | 0 | 0 | - | - | | |
| | 受診率(%) | 100. | 100. | 0.0 | 0.0 | - | - | | |
| 総合理工学 前期 | 対象者数 | 8 | - | 1 | 1 | 5 | 2 | | |
| | 受診者数 | 2 | - | 1 | 1 | 0 | 0 | | |
| | 受診率(%) | 25.0 | - | 16.7 | 33.3 | 0.0 | 0.0 | | |
| 総合理工学 後期 | 対象者数 | 6 | - | 3 | - | 2 | - | 2 | 2 |
| | 受診者数 | 1 | - | 0 | - | 0 | - | 0 | 0 |
| | 受診率(%) | 16.7 | - | 0.0 | - | 0.0 | - | 0.0 | 0.0 |
| 生物資源科学 | 対象者数 | 6 | 4 | 3 | 2 | 5 | 1 | | |
| | 受診者数 | 1 | 2 | 0 | 1 | 0 | 1 | | |
| | 受診率(%) | 16.7 | 50.0 | 0.0 | 50.0 | 0.0 | 100. | | |
| 計 | 対象者数 | 22 | 9 | 9 | 7 | 12 | 3 | 2 | 2 |
| | 受診者数 | 5 | 7 | 1 | 4 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| | 受診率(%) | 22.7 | 77.8 | 11.1 | 57.1 | 0.0 | 33.3 | 0.0 | 0.0 |

○平成 20 年度

学部

| | | 1 年生 | | 2 年生 | | 3 年生 | | 4 年生 | | 5 年生以上 | |
|------|--------|-------|-------|------|------|------|------|------|------|--------|------|
| | | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 |
| 法文 | 対象者数 | 100 | 136 | 113 | 126 | 112 | 134 | 107 | 148 | 59 | 20 |
| | 受診者数 | 98 | 136 | 59 | 66 | 52 | 111 | 52 | 111 | 13 | 7 |
| | 受診率(%) | 98.0 | 100.0 | 52.2 | 52.8 | 46.4 | 82.8 | 48.6 | 75.0 | 22.0 | 35.0 |
| 教育 | 対象者数 | 78 | 97 | 74 | 100 | 71 | 106 | 69 | 97 | 23 | 5 |
| | 受診者数 | 78 | 97 | 73 | 97 | 68 | 101 | 65 | 89 | 4 | 1 |
| | 受診率(%) | 100.0 | 100.0 | 98.7 | 97.0 | 95.8 | 95.3 | 94.2 | 91.7 | 17.4 | 20.0 |
| 総合理工 | 対象者数 | 376 | 55 | 351 | 62 | 354 | 64 | 357 | 62 | 138 | 10 |
| | 受診者数 | 372 | 55 | 120 | 34 | 108 | 39 | 220 | 49 | 48 | 4 |
| | 受診率(%) | 98.9 | 100.0 | 34.2 | 54.8 | 30.5 | 60.9 | 61.6 | 79.0 | 34.8 | 40.0 |
| 生物資源 | 対象者数 | 148 | 59 | 118 | 83 | 133 | 99 | 134 | 88 | 39 | 11 |
| | 受診者数 | 148 | 59 | 54 | 44 | 44 | 52 | 83 | 73 | 11 | 10 |
| | 受診率(%) | 100.0 | 100.0 | 45.8 | 53.0 | 33.1 | 52.5 | 61.9 | 83.0 | 28.2 | 90.9 |
| 計 | 対象者数 | 702 | 347 | 656 | 371 | 670 | 403 | 667 | 395 | 259 | 46 |
| | 受診者数 | 696 | 347 | 306 | 241 | 272 | 303 | 420 | 322 | 76 | 22 |
| | 受診率(%) | 99.2 | 100.0 | 46.7 | 65.0 | 40.6 | 75.2 | 63.0 | 81.5 | 29.3 | 47.8 |

大学院

| | | 1 年生 | | 2 年生 | | 3 年生 | | 4 年生以上 | |
|-------------|--------|------|-------|------|-------|-------|-------|--------|-----|
| | | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 |
| 人文社会科学 | 対象者数 | 2 | 2 | 5 | 6 | 1 | - | | |
| | 受診者数 | 0 | 1 | 1 | 5 | 0 | - | | |
| | 受診率(%) | 0.0 | 50.0 | 20.0 | 83.3 | 0.0 | - | | |
| 法務研究科 | 対象者数 | 35 | 8 | 20 | 7 | 14 | 2 | 3 | 1 |
| | 受診者数 | 20 | 5 | 9 | 4 | 1 | 1 | 0 | 0 |
| | 受診率(%) | 57.1 | 62.5 | 45.0 | 57.1 | 7.1 | 50.0 | 0.0 | 0.0 |
| 教育学 | 対象者数 | 21 | 12 | 16 | 21 | 1 | 1 | | |
| | 受診者数 | 18 | 12 | 13 | 19 | 1 | 0 | | |
| | 受診率(%) | 85.7 | 100.0 | 81.3 | 90.5 | 100.0 | 0.0 | | |
| 総合理工学 前期 | 対象者数 | 100 | 16 | 102 | 16 | 5 | - | | |
| | 受診者数 | 95 | 16 | 77 | 16 | 1 | - | | |
| | 受診率(%) | 95.0 | 100.0 | 75.5 | 100.0 | 20.0 | - | | |
| 総合理工学 後期 | 対象者数 | 5 | - | 2 | 1 | 6 | 1 | 7 | - |
| | 受診者数 | 1 | - | 0 | 0 | 3 | 1 | 2 | - |
| | 受診率(%) | 20.0 | - | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 100.0 | 28.6 | - |
| 生物資源科学 | 対象者数 | 38 | 19 | 40 | 23 | 5 | - | | |
| | 受診者数 | 31 | 15 | 20 | 16 | 1 | - | | |
| | 受診率(%) | 81.6 | 78.9 | 50.0 | 69.6 | 20.0 | - | | |
| 計 | 対象者数 | 201 | 57 | 185 | 74 | 32 | 4 | 10 | 1 |
| | 受診者数 | 165 | 50 | 120 | 62 | 7 | 2 | 2 | 0 |
| | 受診率(%) | 82.9 | 87.7 | 64.9 | 83.8 | 21.9 | 50.0 | 20.0 | 0.0 |

外国人留学生（学部）

| | | 1年生 | | 2年生 | | 3年生 | | 4年生 | | 5年生以上 | |
|------|--------|-------|-------|------|-----|------|------|-----|-------|-------|-----|
| | | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 |
| 法文 | 対象者数 | 3 | 5 | - | - | - | - | 1 | 2 | - | - |
| | 受診者数 | 3 | 5 | - | - | - | - | 0 | 1 | - | - |
| | 受診率(%) | 100.0 | 100.0 | - | - | - | - | 0.0 | 50.0 | - | - |
| 教育 | 対象者数 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | 受診者数 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | 受診率(%) | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 総合理工 | 対象者数 | 3 | - | 4 | - | 2 | 2 | - | - | - | - |
| | 受診者数 | 3 | - | 0 | - | 1 | 0 | - | - | - | - |
| | 受診率(%) | 100.0 | - | 0.0 | - | 50.0 | 0.0 | - | - | - | - |
| 生物資源 | 対象者数 | 2 | 2 | 3 | - | 2 | 3 | - | 1 | - | - |
| | 受診者数 | 2 | 2 | 2 | - | 1 | 2 | - | 1 | - | - |
| | 受診率(%) | 100.0 | 100.0 | 66.7 | - | 50.0 | 66.7 | - | 100.0 | - | - |
| 計 | 対象者数 | 8 | 7 | 7 | 0 | 4 | 5 | 1 | 3 | 0 | 0 |
| | 受診者数 | 8 | 7 | 2 | 0 | 2 | 2 | 0 | 2 | 0 | 0 |
| | 受診率(%) | 100.0 | 100.0 | 28.6 | 0.0 | 50.0 | 40.0 | 0.0 | 66.7 | 0.0 | 0.0 |

外国人留学生（大学院）

| | | 1年生 | | 2年生 | | 3年生 | | 4年生以上 | |
|-------------|--------|------|------|-------|------|------|-----|-------|-----|
| | | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 |
| 人文社会科学 | 対象者数 | - | 4 | 1 | 2 | - | - | | |
| | 受診者数 | - | 3 | 0 | 1 | - | - | | |
| | 受診率(%) | - | 75.0 | 0.0 | 50.0 | - | - | | |
| 法務研究科 | 対象者数 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | 受診者数 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | 受診率(%) | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 教育学 | 対象者数 | - | - | 1 | 3 | - | - | | |
| | 受診者数 | - | - | 0 | 2 | - | - | | |
| | 受診率(%) | - | - | 0.0 | 66.7 | - | - | | |
| 総合理工学 前期 | 対象者数 | 3 | 5 | 3 | - | 5 | - | | |
| | 受診者数 | 1 | 2 | 1 | - | 1 | - | | |
| | 受診率(%) | 33.3 | 40.0 | 33.3 | - | 20.0 | - | | |
| 総合理工学 後期 | 対象者数 | 2 | 4 | 1 | - | 4 | - | 2 | - |
| | 受診者数 | 0 | 3 | 1 | - | 0 | - | 0 | - |
| | 受診率(%) | 0.0 | 75.0 | 100.0 | - | 0.0 | - | 0.0 | - |
| 生物資源科学 | 対象者数 | 3 | 5 | 2 | 1 | 5 | 3 | | |
| | 受診者数 | 2 | 3 | 1 | 0 | 1 | 0 | | |
| | 受診率(%) | 66.7 | 60.0 | 50.0 | 0.0 | 20.0 | 0.0 | | |
| 計 | 対象者数 | 8 | 14 | 8 | 6 | 14 | 3 | 2 | 0 |
| | 受診者数 | 3 | 11 | 3 | 3 | 2 | 0 | 0 | 0 |
| | 受診率(%) | 37.5 | 78.6 | 37.5 | 50.0 | 14.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |

iii. 事後措置

○血圧

自動血圧計で自己測定した結果、高値（収縮期血圧 140mmHg and/or 拡張期血圧 90mmHg）を示した学生に対し、手動で測定をする。手動測定でも高値だった学生には、後日呼び出し二次検診を行う。その際には、個別に緊張をやわらげる配慮のうえ再測定をする。二次検診で 140/90mmHg 以上の数値を示した学生の多くは収縮期血圧の上昇が主な特徴で、家族に高血圧を有する学生の比率が高い。性別でみると、例年男子学生の割合が、圧倒的に高い。

二次検診の血圧高値者

| | 16年度 | | 17年度 | | 18年度 | | 19年度 | | 20年度 | |
|----------|------|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|
| | 男子 | 女子 | 男子 | 女子 | 男子 | 女子 | 男子 | 女子 | 男子 | 女子 |
| 対象者 | 117 | 2 | 92 | 7 | 128 | 10 | 87 | 13 | 60 | 8 |
| 受検者 | 58 | 1 | 70 | 2 | 49 | 4 | 59 | 5 | 22 | 8 |
| 血圧高値者 | 24 | 0 | 24 | 1 | 19 | 2 | 13 | 1 | 10 | 2 |
| % (対受検者) | 41.4 | 0.0 | 34.3 | 50.0 | 38.8 | 50.0 | 22.0 | 20.0 | 45.5 | 25.0 |

○結核検診(胸部X線撮影)

学校保健法に基づき定期健康診断受診者に胸部の X 線撮影を実施している。異常所見があれば専門の医療機関を紹介し、精密検査の結果を把握する。要観察・要医療となった場合も、その後の経過を確認し把握している。

| | | 16年度 | 17年度 | 18年度 | 19年度 | 20年度 |
|-------|------|------|------|------|------|------|
| 受験者 | | 3934 | 3655 | 3676 | 3341 | 3473 |
| 要精検者 | | 29 | 59 | 29 | 12 | 18 |
| 精検受検者 | | 9 | 57 | 29 | 12 | 18 |
| 精検結果 | 異常なし | 5 | 56 | 27 | 12 | 18 |
| | 要観察 | 1 | 0 | 2 | 0 | 0 |
| | 要治療 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 |

*平成 16 年度までは、内科校医が前年度 X 線所見と比較し、異常があれば医療機関に紹介していた。

② 特別健康診断（放射性同位元素 RI 等取扱者）

本学においては、特別健康診断の一環として年2回 RI 検診を実施している。平成10年度より定期健診以外の新規登録者検診を実施している。

1. 対象者：放射線・RI 取扱学生（学部・大学院）

放射線・RI 取扱職員

2. 検査項目：①全身の自覚症状に関する問診

②皮膚・眼球・爪の性状などの視診

③一般血液検査（松江赤十字病院）

赤血球数、白血球数、Hb 値、Ht 値、白血球分類、血液比重、MCV など

| | | 16年度 | | 17年度 | | 18年度 | | 19年度 | | 20年度 | |
|---------|----|------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|
| | | 6月 | 11月 | 5月 | 12月 | 4月 | 11月 | 5月 | 11月 | 5月 | 11月 |
| 新規登録者 | 学生 | 50 | 25 | 33 | 31 | 31 | 34 | 17 | 30 | 25 | 33 |
| | 職員 | 4 | 2 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 既登録者 | 学生 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 60 | 0 |
| | 職員 | 118 | 38 | 42 | 42 | 42 | 35 | 42 | 35 | 31 | 30 |
| 計 | | 172 | 65 | 75 | 73 | 74 | 69 | 59 | 65 | 116 | 63 |
| 要精査（治療） | | 3(1) | 0 | 1(0) | 0 | 5(0) | 0 | 0 | 0 | 1(0) | 0 |

③ 臨時健康診断（体育系部活・サークル健康診断）

大学を代表して対外試合に出場するスポーツ選手や、強化合宿、体育実技、各クラブ活動の合宿などに対応して臨時健康診断を実施している。各団体が要望を学生支援センターに申し出、日程等を打ち合わせ次の事項について、随時、健康診断を行っている。なお、必要に応じて健康診断証明書の発行も行っている。

○内科診察（聴打診）

○血圧測定

○身長・体重測定

○検尿

臨時健康診断人数

| | 16年度 | 17年度 | 18年度 | 19年度 | 20年度 |
|-------------------|------|------|------|------|------|
| 中国五大学学生競技 夏季大会 | 250 | 214 | 250 | 233 | 260 |
| 中国五大学学生競技 冬季大会 | 104 | 117 | 114 | 120 | 127 |
| その他の大会 | 124 | 95 | 83 | 55 | 102 |
| 計 | 478 | 426 | 447 | 408 | 489 |

2. 保健管理センター利用状況

① 学生・職員などの健康相談等

学生は学部生・大学院生・留学生・研究生等，その他は家族・卒業生等をしめす。

定期健康診断受診者数は含まず，身体・血圧測定は自動測定機器使用の自由測定数を含まない。

○平成16年度

延件数

| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | |
|-------|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-----|
| 測定・検査 | 身体測定 | 学生 | 2 | 7 | 23 | 8 | 7 | 1 | 4 | 1 | 2 | | 5 | 1 | 61 |
| | | 職員 | | | | | | | 1 | | | | | | 1 |
| | | その他 | | | | | | | | | | | | | |
| | 血圧測定 | 学生 | 36 | 44 | 4 | 4 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | | 5 | | 103 |
| | | 職員 | | | | | | 1 | 2 | | | 1 | 3 | | 7 |
| | | その他 | | | | | | | | | | | | | |
| | 体温測定 | 学生 | 20 | 40 | 49 | 27 | 5 | 10 | 47 | 39 | 22 | 26 | 27 | 5 | 317 |
| | | 職員 | | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 3 | 1 | 3 | 3 | 4 | 21 |
| | | その他 | | | | | | 1 | 1 | | | 5 | | | 7 |
| | その他 | 学生 | 1 | 1 | 5 | 9 | 1 | | 1 | 3 | 2 | | | 1 | 24 |
| | | 職員 | | | | | | | 2 | | | | | | 2 |
| | | その他 | | | | | | | | | | | | | |
| 健康相談 | 内科系 | 学生 | 21 | 38 | 19 | 22 | 2 | 4 | 31 | 34 | 10 | 7 | 16 | 3 | 207 |
| | | 職員 | 2 | 4 | 3 | 1 | 3 | 8 | 5 | 11 | 3 | 11 | 9 | 11 | 71 |
| | | その他 | | | | | | | 1 | | | 5 | | | 6 |
| | 外科系 | 学生 | 5 | 2 | 2 | 3 | | | 2 | 4 | 3 | 5 | 1 | 1 | 28 |
| | | 職員 | | 1 | | | 1 | | 1 | 1 | | | | | 4 |
| | | その他 | | | | | | | | | | | | | |
| | 母性保健 | 学生 | 10 | 7 | 13 | 17 | 3 | 5 | 7 | 13 | 4 | 6 | 2 | 2 | 89 |
| | | 職員 | | | | | | | | | | | | | |
| | | その他 | | | | | | | | | | | | | |
| | 保健・生活指導 他 | 学生 | 68 | 96 | 105 | 58 | 20 | 24 | 71 | 58 | 41 | 50 | 39 | 18 | 648 |
| | | 職員 | 2 | 2 | 2 | 3 | 5 | 4 | 10 | 5 | 3 | 8 | 10 | 1 | 55 |
| | | その他 | | | 2 | | 1 | | 2 | 1 | | 5 | 2 | | 13 |
| 処置 | 投薬 | 学生 | 34 | 62 | 60 | 57 | 8 | 22 | 49 | 50 | 31 | 25 | 29 | 7 | 434 |
| | | 職員 | 22 | 20 | 47 | 19 | 13 | 36 | 44 | 35 | 26 | 17 | 13 | 27 | 319 |
| | | その他 | | | | | | 1 | 1 | | 1 | 5 | | 1 | 9 |
| | 外科系 | 学生 | 28 | 36 | 50 | 54 | 11 | 19 | 48 | 42 | 22 | 27 | 19 | 4 | 360 |
| | | 職員 | 3 | 2 | 1 | 2 | 4 | | 1 | 5 | 1 | 1 | 1 | 1 | 22 |
| | | その他 | 1 | | 1 | | 1 | | | 1 | | | 2 | | 6 |
| | 休養室利用 | 学生 | 28 | 22 | 36 | 55 | 14 | 24 | 42 | 43 | 35 | 67 | 73 | 32 | 471 |
| | | 職員 | 3 | 1 | | 1 | | 5 | 4 | 2 | 1 | 2 | 1 | 2 | 22 |
| | | その他 | | | | | | 1 | | | | 3 | 1 | | 5 |
| | その他 | 学生 | 4 | 2 | 8 | 6 | | | | | | 1 | 1 | | 22 |
| | | 職員 | | 1 | | | 1 | | | | | | | 1 | 3 |
| | | その他 | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 専門医紹介 | 内科系 | 学生 | 25 | 54 | 45 | 25 | 8 | 11 | 27 | 40 | 18 | 17 | 25 | 9 | 304 |
| | | 職員 | | 1 | 1 | | | | | 5 | | 1 | 1 | 2 | 11 |
| | | その他 | | | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| | 外科系 | 学生 | 21 | 19 | 38 | 26 | 12 | 13 | 23 | 31 | 23 | 11 | 12 | 10 | 239 |
| | | 職員 | | 1 | | | 1 | | | 3 | | 1 | | | 6 |
| | | その他 | 1 | | | | | | | | | | 1 | | 2 |
| | 精神科 | 学生 | | 3 | | 3 | | 1 | | 1 | | 5 | 1 | | 14 |
| | | 職員 | | | | | | | | | | | | | |
| | | その他 | | | | 1 | | | | | | | | | 1 |
| | 婦人科 | 学生 | 9 | 8 | 8 | 13 | 3 | 3 | 8 | 10 | 2 | 5 | 6 | 3 | 78 |
| | | 職員 | | | | | | | | | | | | | |
| | | その他 | | | | | | | | | | | | | |
| その他 | 学生 | 50 | 49 | 75 | 56 | 13 | 30 | 38 | 43 | 25 | 18 | 19 | 11 | 427 | |
| | 職員 | 2 | 4 | 1 | 3 | 2 | 3 | 3 | | | 2 | | | 20 | |
| | その他 | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | 学生 | 362 | 490 | 540 | 443 | 109 | 169 | 400 | 414 | 242 | 270 | 280 | 107 | 3,826 | |
| | 職員 | 34 | 39 | 56 | 30 | 31 | 58 | 74 | 70 | 35 | 47 | 41 | 49 | 564 | |
| | その他 | 2 | | 3 | 1 | 3 | 3 | 5 | 2 | 1 | 23 | 6 | 2 | 51 | |

○平成17年度

延件数

| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | |
|-------|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-------|
| 測定・検査 | 身体測定 | 学生 | 3 | 2 | 4 | 6 | 4 | 1 | 2 | | 2 | 2 | | 26 | |
| | | 職員 | | | | | | | | | | | | | |
| | | その他 | | | | | | | 1 | | | | | | 1 |
| | 血圧測定 | 学生 | 40 | 36 | 7 | 1 | | | 1 | 6 | | | | | 91 |
| | | 職員 | 1 | | | | | | | 1 | | 2 | | | 4 |
| | | その他 | | | | | | | | | | 1 | | | 1 |
| | 体温測定 | 学生 | 43 | 42 | 47 | 38 | 14 | 6 | 39 | 34 | 33 | 39 | 16 | 6 | 357 |
| | | 職員 | 1 | | 1 | | 1 | | 3 | 4 | | 2 | 3 | 6 | 21 |
| | | その他 | | | | | | | | | | 2 | | 1 | 3 |
| | その他 | 学生 | 2 | 4 | 2 | 2 | 2 | 1 | 3 | 1 | 1 | | | | 18 |
| | | 職員 | | | | | | | | | | | | | |
| | | その他 | | | | | | | | | | | | | |
| 健康相談 | 内科系 | 学生 | 34 | 35 | 29 | 28 | 13 | 7 | 15 | 15 | 8 | 6 | 4 | 194 | |
| | | 職員 | 3 | | 3 | 2 | 2 | 3 | 4 | 6 | 2 | 6 | 1 | 1 | 33 |
| | | その他 | | | | | | | | | | 2 | | | 2 |
| | 外科系 | 学生 | 1 | 3 | 1 | | 1 | | | 1 | 1 | | 2 | 2 | 12 |
| | | 職員 | | | | 1 | | | | | | | | | 1 |
| | | その他 | | | | | | | | | | | 1 | | 1 |
| | 母性保健 | 学生 | 16 | 10 | 6 | 4 | 1 | 5 | 6 | 8 | 6 | 9 | 8 | 1 | 80 |
| | | 職員 | | | | | | 1 | | 1 | | | | | 2 |
| | | その他 | | | | | | | | | | | | | |
| | 保健・生活指導 他 | 学生 | 89 | 140 | 146 | 124 | 42 | 32 | 107 | 104 | 56 | 89 | 60 | 20 | 1,009 |
| | | 職員 | 4 | 2 | 3 | 4 | 5 | | 7 | 13 | 10 | 11 | 7 | 3 | 69 |
| | | その他 | 1 | 1 | 1 | 4 | 1 | | | 1 | 4 | 2 | 1 | 4 | 20 |
| 処置 | 投薬 | 学生 | 41 | 41 | 62 | 62 | 22 | 25 | 52 | 51 | 31 | 28 | 43 | 20 | 478 |
| | | 職員 | 9 | 13 | 13 | 11 | 7 | 10 | 11 | 18 | 20 | 18 | 15 | 12 | 157 |
| | | その他 | | 2 | | 1 | 1 | 2 | 2 | | 5 | 2 | | | 15 |
| | 外科系 | 学生 | 12 | 15 | 19 | 29 | 10 | 9 | 18 | 22 | 19 | 16 | 23 | 16 | 208 |
| | | 職員 | 1 | | 2 | 2 | 1 | | | 4 | 4 | 1 | 2 | | 17 |
| | | その他 | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | 休養室利用 | 学生 | 53 | 52 | 80 | 82 | 25 | 8 | 110 | 105 | 67 | 71 | 59 | 28 | 740 |
| | | 職員 | 1 | | 3 | | | | 1 | 1 | | 1 | | 1 | 8 |
| | | その他 | | | | 1 | 3 | 2 | 4 | 2 | 3 | 4 | | | 19 |
| | その他 | 学生 | 3 | | 4 | 1 | | | 18 | 3 | 1 | | 3 | 1 | 34 |
| | | 職員 | 1 | | | | 1 | | | | | | | | 2 |
| | | その他 | | | | | | | | | | | | | |
| 専門医紹介 | 内科系 | 学生 | 49 | 81 | 33 | 29 | 10 | 10 | 28 | 34 | 27 | 38 | 14 | 4 | 357 |
| | | 職員 | 1 | | 1 | 1 | | | | 6 | 1 | | 1 | 1 | 4 |
| | | その他 | | | | | | | | 1 | | 2 | | 1 | 4 |
| | 外科系 | 学生 | 24 | 34 | 39 | 23 | 12 | 15 | 24 | 28 | 18 | 17 | 8 | 10 | 252 |
| | | 職員 | 1 | | | 1 | | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | | | 8 |
| | | その他 | | | | | | | | | | | | | |
| | 精神科 | 学生 | 1 | 4 | 3 | 3 | 3 | 3 | 2 | | 1 | 4 | 2 | 1 | 27 |
| | | 職員 | | | | | | | | | | 1 | 1 | 2 | 4 |
| | | その他 | | | | | | | | | | | | | |
| | 婦人科 | 学生 | 13 | 6 | 6 | 1 | 1 | 5 | 3 | 4 | 5 | 8 | 1 | | 53 |
| | | 職員 | | | | | | | | | | | | | |
| | | その他 | | | | | | | | | | | | | |
| その他 | 学生 | 49 | 62 | 75 | 42 | 20 | 24 | 43 | 44 | 23 | 33 | 17 | 25 | 457 | |
| | 職員 | | | 3 | 2 | 1 | | | 3 | | 2 | 1 | 1 | 13 | |
| | その他 | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | 学生 | 473 | 567 | 563 | 475 | 180 | 169 | 456 | 458 | 298 | 363 | 257 | 134 | 4,393 | |
| | 職員 | 23 | 15 | 29 | 24 | 18 | 15 | 33 | 53 | 37 | 47 | 31 | 30 | 355 | |
| | その他 | 1 | 3 | 1 | 6 | 7 | 4 | 7 | 3 | 12 | 15 | 2 | 6 | 67 | |

○平成 18 年度

延件数

| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | |
|-------|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|------|
| 測定・検査 | 身体測定 | 学生 | 11 | 4 | | 1 | | | 2 | 1 | 1 | 2 | 2 | 24 | |
| | | 職員 | | | | | | | | | | | | | |
| | | その他 | | | | | | | | | | | | | |
| | 血圧測定 | 学生 | 33 | 28 | 1 | 1 | 1 | | | | | 7 | | 1 | 72 |
| | | 職員 | | 1 | | 1 | | | 1 | | 1 | 1 | | | |
| | | その他 | | | | 1 | | 1 | 1 | | 1 | | | | |
| | 体温測定 | 学生 | 66 | 70 | 79 | 21 | 6 | 6 | 33 | 21 | 23 | 17 | 17 | 14 | 373 |
| | | 職員 | 1 | 2 | 1 | 3 | 1 | | 3 | 3 | 3 | 6 | 4 | 4 | |
| | | その他 | | | | | 1 | 1 | | | | 5 | | 1 | |
| | その他 | 学生 | 1 | 1 | | | 1 | | 1 | | 1 | | | | 5 |
| | | 職員 | | | | | | | | | | | | | |
| | | その他 | | | | | | | | | | | | | |
| 健康相談 | 内科系 | 学生 | 22 | 25 | 19 | 13 | 3 | 1 | 15 | 14 | 4 | 8 | 5 | 2 | 131 |
| | | 職員 | 3 | 8 | 11 | 5 | 1 | 6 | 9 | 7 | 9 | 1 | 1 | 2 | 63 |
| | | その他 | | | | | | 1 | | | | 5 | | | 6 |
| | 外科系 | 学生 | 2 | | 2 | | 2 | 1 | 2 | 1 | | 3 | | | 13 |
| | | 職員 | | | | | | | 1 | | 1 | | | | 2 |
| | | その他 | | | | | | | | | | | | | |
| | 母性保健 | 学生 | 7 | 9 | 7 | 13 | 4 | 7 | 7 | 3 | 7 | 4 | 5 | 3 | 76 |
| | | 職員 | | | | | | | | | | | 1 | 1 | 2 |
| | | その他 | | | | | | | | | | | | | |
| | 保健・生活指導 他 | 学生 | 111 | 158 | 155 | 106 | 31 | 38 | 116 | 101 | 106 | 83 | 61 | 36 | 1102 |
| | | 職員 | 4 | 9 | 13 | 3 | 6 | 11 | 7 | 4 | 7 | 10 | 3 | 6 | 83 |
| | | その他 | 2 | 3 | 4 | 1 | 8 | 5 | 2 | 2 | 2 | 2 | 4 | 3 | 36 |
| 処置 | 投薬 | 学生 | 51 | 64 | 68 | 62 | 25 | 25 | 50 | 54 | 52 | 50 | 45 | 19 | 565 |
| | | 職員 | 9 | 19 | 16 | 12 | 6 | 17 | 15 | 12 | 23 | 11 | 16 | 15 | 171 |
| | | その他 | 1 | | | 1 | 3 | 3 | 2 | | 1 | 5 | 4 | 5 | 25 |
| | 外科系 | 学生 | 20 | 33 | 45 | 40 | 13 | 12 | 48 | 33 | 39 | 20 | 22 | 12 | 337 |
| | | 職員 | | 1 | 9 | | 4 | 1 | 7 | 7 | | 1 | 3 | | 33 |
| | | その他 | | | 2 | 1 | 1 | | 1 | | | | 4 | | 9 |
| | 休養室利用 | 学生 | 32 | 65 | 77 | 66 | 48 | 52 | 82 | 62 | 60 | 71 | 42 | 22 | 679 |
| | | 職員 | 2 | 3 | 3 | 2 | 3 | | 3 | 2 | 2 | 4 | 4 | 1 | 29 |
| | | その他 | 7 | | 1 | | 2 | | 1 | | | 4 | 3 | 3 | 21 |
| | その他 | 学生 | 1 | 8 | 7 | | 3 | 1 | 2 | 1 | 3 | 6 | 6 | 1 | 39 |
| | | 職員 | | 1 | 2 | | 1 | | | | | | 1 | | 5 |
| | | その他 | | | | | | | 2 | | | | | | 2 |
| 専門医紹介 | 内科系 | 学生 | 66 | 88 | 61 | 12 | 8 | 7 | 26 | 23 | 22 | 22 | 9 | 10 | 354 |
| | | 職員 | 1 | | | | 1 | | | | | | | | 2 |
| | | その他 | | | | | | | | | | | | | |
| | 外科系 | 学生 | 22 | 33 | 25 | 15 | 8 | 13 | 22 | 5 | 10 | 19 | 14 | 5 | 191 |
| | | 職員 | | | | | | | | | | | | | |
| | | その他 | | | | | | | | | | | | | |
| | 精神科 | 学生 | 3 | 1 | | | 3 | 3 | 2 | 2 | | 1 | 3 | 3 | 21 |
| | | 職員 | | | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| | | その他 | | | | | 1 | | | | | | | | 1 |
| | 婦人科 | 学生 | 3 | 1 | | | 3 | 3 | 2 | 2 | | 1 | 3 | 3 | 47 |
| | | 職員 | | | | | | | | | | | | | |
| | | その他 | | | | | | | | | | | | | |
| その他 | 学生 | 50 | 58 | 47 | 36 | 24 | 24 | 44 | 20 | 32 | 26 | 23 | 13 | 350 | |
| | 職員 | 1 | 1 | 1 | | 1 | | | | 1 | | | | 5 | |
| | その他 | 1 | | | | | | | | | | | | 1 | |
| 合計 | 学生 | 498 | 645 | 593 | 386 | 180 | 190 | 450 | 342 | 360 | 338 | 254 | 143 | 4,379 | |
| | 職員 | 21 | 45 | 56 | 26 | 24 | 35 | 46 | 35 | 47 | 34 | 33 | 30 | 431 | |
| | その他 | 11 | 3 | 7 | 4 | 16 | 13 | 7 | 2 | 2 | 21 | 15 | 12 | 113 | |

○平成19年度

延件数

| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | | |
|-------|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-------|----|
| 測定・検査 | 身体測定 | 学生 | 3 | 3 | 3 | 1 | 1 | 2 | 1 | 3 | 1 | 5 | | 23 | | |
| | | 職員 | | | | | | | 1 | | | | | | 1 | |
| | | その他 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 血圧測定 | 学生 | 13 | 54 | | | | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | | 79 | |
| | | 職員 | | | | | | 1 | | | | | | 1 | 2 | |
| | | その他 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 体温測定 | 学生 | 55 | 52 | 45 | 25 | 3 | 4 | 47 | 23 | 16 | 19 | 7 | 11 | 307 | |
| | | 職員 | 1 | 2 | 1 | 2 | 2 | | 2 | 3 | 4 | 2 | 5 | 1 | 25 | |
| | | その他 | | | | | | | | | | | | | | |
| | その他 | 学生 | 1 | 1 | | | | | | | | | | 1 | 3 | |
| | | 職員 | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | |
| | | その他 | | | | | | | | | | | | | | |
| 健康相談 | 内科系 | 学生 | 19 | 22 | 8 | 10 | | 2 | 14 | 3 | 2 | 9 | 5 | 1 | 95 | |
| | | 職員 | 5 | 2 | 2 | 2 | 2 | | | 1 | 4 | 1 | 5 | 4 | 4 | 32 |
| | | その他 | | 1 | | | 3 | | | | | | 1 | | | 5 |
| | 外科系 | 学生 | 2 | 5 | 2 | 1 | | 1 | 2 | | | | 1 | | 14 | |
| | | 職員 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | その他 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 母性保健 | 学生 | 6 | 11 | 8 | 6 | | 1 | 6 | 21 | 18 | 28 | 5 | 4 | 114 | |
| | | 職員 | | 1 | | 3 | | | | | | | | 4 | 8 | |
| | | その他 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 保健・生活指導 他 | 学生 | 145 | 202 | 152 | 120 | 31 | 31 | 99 | 84 | 52 | 50 | 20 | 20 | 1,006 | |
| | | 職員 | 8 | 8 | 3 | 8 | 10 | 6 | 11 | 5 | 8 | 10 | 5 | 3 | 85 | |
| | | その他 | 1 | | 1 | 1 | 3 | 1 | 1 | 3 | 2 | 2 | 1 | 1 | 17 | |
| 処置 | 投薬 | 学生 | 29 | 43 | 43 | 37 | 13 | 21 | 41 | 34 | 21 | 35 | 20 | 22 | 359 | |
| | | 職員 | 17 | 10 | 11 | 21 | 16 | 8 | 11 | 13 | 12 | 15 | 13 | 16 | 163 | |
| | | その他 | | | | 2 | 1 | | | | | 1 | | | 4 | |
| | 外科系 | 学生 | 28 | 53 | 47 | 41 | 11 | 20 | 38 | 25 | 21 | 21 | 16 | 12 | 333 | |
| | | 職員 | | 2 | 3 | 1 | 8 | | 5 | 1 | 4 | 1 | | 3 | 28 | |
| | | その他 | | | | | | | | 2 | 1 | | | 2 | 5 | |
| | 休養室利用 | 学生 | 16 | 19 | 31 | 17 | 7 | 4 | 35 | 10 | 10 | 14 | 13 | 8 | 184 | |
| | | 職員 | 2 | 3 | 1 | | 1 | 1 | 3 | 8 | 1 | 2 | 3 | | 25 | |
| | | その他 | | | | | 1 | | | | | | 1 | | 2 | |
| | リラックス室利用 | 学生 | 28 | 45 | 72 | 52 | 19 | 11 | 48 | 34 | 36 | 33 | 19 | 5 | 402 | |
| | | 職員 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | その他 | | | | | | | | 2 | | | | | 2 | |
| 事務室休憩 | 学生 | 4 | 5 | 4 | 1 | 1 | | 3 | 2 | 1 | 2 | 5 | 2 | 30 | | |
| | 職員 | | 2 | 2 | 5 | 3 | 4 | 3 | 3 | 2 | 3 | 2 | 1 | 30 | | |
| | その他 | | | 1 | | | | | | | | | | 1 | | |
| その他 | 学生 | 3 | 2 | 3 | 1 | 2 | 1 | 1 | 1 | 3 | 1 | 2 | 1 | 21 | | |
| | 職員 | | | | 1 | | | | 1 | | 1 | 2 | 1 | 6 | | |
| | その他 | | | | | 1 | | | | | | | | 1 | | |
| 専門医紹介 | 内科系 | 学生 | 43 | 48 | 28 | 19 | 6 | 6 | 39 | 18 | 16 | 18 | 14 | 5 | 260 | |
| | | 職員 | 3 | | 2 | | 2 | | 1 | 2 | 3 | 3 | 4 | 2 | 22 | |
| | | その他 | 1 | | | | | 1 | | 1 | | 1 | | | 4 | |
| | 外科系 | 学生 | 24 | 29 | 34 | 21 | 10 | 8 | 21 | 29 | 16 | 12 | 7 | 6 | 217 | |
| | | 職員 | 1 | | | | 2 | 1 | 1 | 2 | | | | 2 | 9 | |
| | | その他 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 精神科 | 学生 | 6 | 2 | 2 | 3 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | | 21 | |
| | | 職員 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | その他 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 婦人科 | 学生 | 2 | 5 | 4 | 2 | 2 | 1 | 3 | 5 | 4 | 3 | | 1 | 32 | |
| | | 職員 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | その他 | | 1 | | | | | | | | | | 1 | 2 | |
| その他 | 学生 | 41 | 86 | 50 | 36 | 11 | 16 | 30 | 30 | 20 | 24 | 13 | 16 | 373 | | |
| | 職員 | | 4 | | 3 | | 3 | | | 1 | | | 2 | 13 | | |
| | その他 | | 2 | | | 1 | | | | | | | 1 | 4 | | |
| 合計 | 学生 | 468 | 687 | 536 | 393 | 119 | 131 | 431 | 326 | 239 | 272 | 156 | 115 | 3,873 | | |
| | 職員 | 37 | 32 | 23 | 40 | 43 | 20 | 36 | 38 | 34 | 38 | 34 | 40 | 450 | | |
| | その他 | 2 | 4 | 1 | 3 | 10 | 2 | 1 | 6 | 3 | 5 | 2 | 5 | 47 | | |

○平成 20 年度

延件数

| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | | |
|-------|-----------|-----|-----|-----|-----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-----|----|
| 測定・検査 | 身体測定 | 学生 | 22 | 5 | 2 | 1 | | 7 | 2 | 7 | 4 | 1 | 1 | 1 | 53 | |
| | | 職員 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | その他 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 血圧測定 | 学生 | 31 | 31 | 4 | 4 | 4 | 4 | 2 | 1 | 7 | 1 | 1 | | 90 | |
| | | 職員 | 1 | 1 | | | | 3 | | | 2 | | | | 7 | |
| | | その他 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 体温測定 | 学生 | 29 | 38 | 21 | 19 | 4 | 3 | 26 | 16 | 18 | 27 | 16 | 5 | 222 | |
| | | 職員 | 3 | 3 | 1 | 2 | | 1 | 2 | 3 | 2 | 6 | 3 | 1 | 27 | |
| | | その他 | 1 | | | | 1 | | | | 1 | 1 | 2 | | 6 | |
| | その他 | 学生 | 16 | 3 | 2 | | | | | 1 | | 1 | 2 | 2 | 27 | |
| | | 職員 | | 1 | | | | | | | | | | | 1 | |
| | | その他 | | | | | | | | | | | | | | |
| 健康相談 | 内科系 | 学生 | 38 | 22 | 14 | 12 | 8 | 17 | 18 | 24 | 22 | 10 | 10 | 12 | 207 | |
| | | 職員 | 12 | 8 | 8 | 6 | 1 | 6 | 6 | 9 | 5 | 6 | 7 | 3 | 77 | |
| | | その他 | | | | | | | | | 1 | 2 | 1 | | 4 | |
| | 外科系 | 学生 | 13 | 16 | 4 | 2 | 3 | 6 | 5 | 9 | 9 | 5 | 4 | 6 | 82 | |
| | | 職員 | 2 | | 1 | 1 | | 1 | | | 1 | 1 | 2 | | 9 | |
| | | その他 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 母性保健 | 学生 | 11 | 16 | 11 | 9 | 2 | 13 | 8 | 12 | 11 | 1 | 6 | | 100 | |
| | | 職員 | 2 | 1 | | 3 | | 1 | 1 | 1 | 1 | 3 | 2 | 2 | 17 | |
| | | その他 | | | | | | 1 | | | | | | | 1 | |
| | 保健・生活指導 他 | 学生 | 64 | 109 | 80 | 59 | 15 | 30 | 67 | 38 | 63 | 50 | 28 | 12 | 615 | |
| | | 職員 | | 8 | 3 | 2 | 3 | 6 | 11 | 4 | 11 | 9 | 6 | 3 | 66 | |
| | | その他 | 3 | 1 | 2 | | 2 | 2 | 3 | 2 | 3 | 1 | 3 | 3 | 25 | |
| 処置 | 投薬 | 学生 | 37 | 37 | 22 | 25 | 16 | 34 | 25 | 37 | 32 | 27 | 23 | 24 | 339 | |
| | | 職員 | 21 | 16 | 18 | 15 | 6 | 9 | 17 | 25 | 22 | 28 | 21 | 17 | 215 | |
| | | その他 | | 4 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | | 1 | 2 | 1 | | 14 | |
| | 外科系 | 学生 | 27 | 30 | 52 | 31 | 6 | 12 | 18 | 19 | 23 | 4 | 7 | 6 | 235 | |
| | | 職員 | 2 | 3 | 2 | 7 | 4 | 4 | 6 | 3 | 1 | 8 | 4 | 11 | 55 | |
| | | その他 | | 1 | 2 | 2 | | | | | | | | | 5 | |
| | 休養室利用 | 学生 | 33 | 8 | 10 | 17 | 3 | 4 | 13 | 6 | 9 | 5 | 4 | 1 | 113 | |
| | | 職員 | 2 | | | 1 | | 1 | | | 1 | | 1 | 1 | 7 | |
| | | その他 | | | | | 1 | | | | 1 | 1 | 1 | | 4 | |
| | リラックス室利用 | 学生 | 7 | 30 | 39 | 34 | 3 | 21 | 25 | 31 | 23 | 13 | 5 | 8 | 239 | |
| | | 職員 | | | | | | | 1 | 1 | | | | | 2 | |
| | | その他 | | | | | | | | | | | | | | |
| 事務室休憩 | 学生 | 4 | 1 | 1 | | | 1 | | 4 | 1 | 1 | 1 | 1 | 15 | | |
| | 職員 | | | | 1 | | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 11 | | 18 | | |
| | その他 | | | | | | | 1 | | | 1 | 1 | | 3 | | |
| その他 | 学生 | 4 | 4 | 1 | 5 | 2 | 4 | 4 | 3 | 3 | | | 1 | 30 | | |
| | 職員 | | | | | | | | 1 | | | | 1 | 2 | | |
| | その他 | | | | 1 | | | | | | | 1 | | 2 | | |
| 専門医紹介 | 内科系 | 学生 | 54 | 50 | 20 | 23 | 6 | 8 | 12 | 21 | 31 | 27 | 9 | 5 | 266 | |
| | | 職員 | 1 | 4 | 2 | | | | 2 | | 2 | 5 | 1 | 2 | 3 | 22 |
| | | その他 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 外科系 | 学生 | 24 | 20 | 35 | 17 | 8 | 7 | 25 | 14 | 15 | 8 | 9 | 7 | 189 | |
| | | 職員 | 2 | 2 | | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | | 1 | 2 | 2 | 15 | |
| | | その他 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 精神科 | 学生 | 3 | 3 | | 1 | 1 | | 1 | 4 | 1 | | 1 | 1 | 16 | |
| | | 職員 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | その他 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 婦人科 | 学生 | 3 | 8 | 5 | 3 | 1 | 4 | 5 | 7 | 1 | 2 | 4 | | 43 | |
| | | 職員 | | | | 1 | | | | | | 1 | 1 | 1 | 4 | |
| | | その他 | | | | | | | | | | | | | | |
| その他 | 学生 | 30 | 43 | 39 | 32 | 5 | 11 | 23 | 19 | 19 | 18 | 17 | 10 | 266 | | |
| | 職員 | | 1 | 2 | 1 | | 1 | | 1 | 3 | 3 | 1 | | 13 | | |
| | その他 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | 学生 | 450 | 474 | 362 | 294 | 87 | 186 | 279 | 273 | 292 | 201 | 148 | 101 | 3,147 | | |
| | 職員 | 48 | 48 | 37 | 40 | 15 | 36 | 44 | 51 | 54 | 67 | 52 | 44 | 555 | | |
| | その他 | 4 | 6 | 6 | 4 | 5 | 4 | 4 | 2 | 7 | 7 | 8 | 3 | 66 | | |

② 栄養相談

管理栄養士 石倉 陽子

ひと月に2～3日の相談日を設定し、予約制で栄養相談を実施している。

対象者は定期健康診断時の身長体重測定値からBMIを算出し、その値が適正範囲内を外れたり、高血圧などの所見があって栄養指導が必要と認められた学生である。

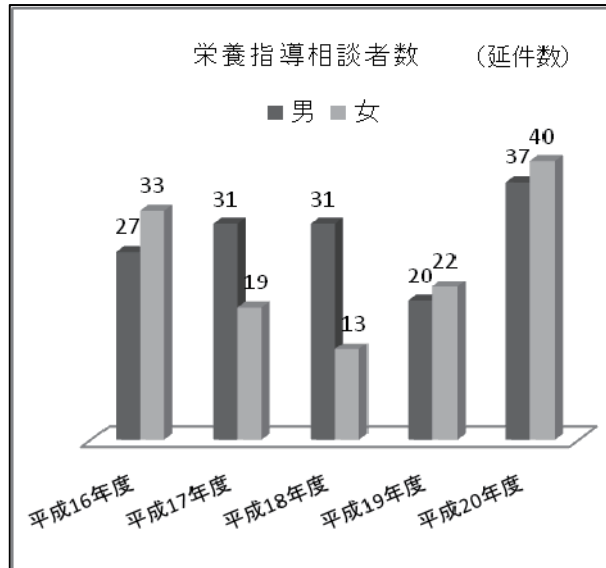
また、その他にも栄養相談希望の申し出があれば適宜対応している。

相談の際は、事前に食生活調査票・食行動調査票を配布し、記入した調査票を相談日前または当日に持参してもらい、相談者の食習慣を把握した上で相談に応じている。

近年の相談者数は下記の通りである。

栄養指導相談者数（実数）

| | 平成16年度 | | 平成17年度 | | 平成18年度 | | 平成19年度 | | 平成20年度 | |
|------|--------|----|--------|----|--------|----|--------|----|--------|----|
| | 男子 | 女子 | 男子 | 女子 | 男子 | 女子 | 男子 | 女子 | 男子 | 女子 |
| 学部生 | 5 | 9 | 5 | 6 | 8 | 1 | 5 | 6 | 10 | 7 |
| 大学院生 | | | 2 | | 1 | | | | | |
| 留学生 | | 1 | | | | | | | | |
| 職員 | | | | | | | 1 | | | |
| 合計 | 5 | 10 | 7 | 6 | 9 | 1 | 6 | 6 | 10 | 7 |



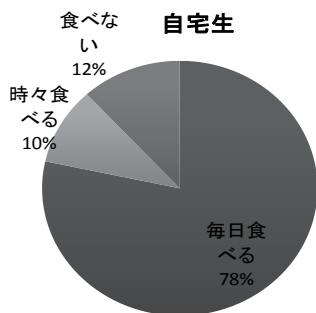
相談内容については、肥満（BMI値30以上）やそれに伴う高血圧に関するものが多いが、女子学生にあっては、極度の瘦身願望から拒食症状を起こしたり、過食・おう吐を繰り返すといったものもある。また、近年は人間関係、就職活動、学業上の悩みが大きなストレスとなって食生活が乱れ、健康を害して相談に来るといったケースが増加している。

大学生の食生活の問題点としてまず言われているのが朝食の欠食率が多いことである。

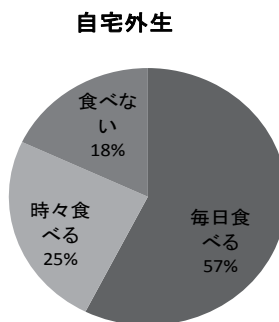
2007年に本学の一講義の受講者309人（男子学生173人、女子学生136人）を対象に行った朝食の欠食率に関する調査の結果は下図の通りで、男女いずれも自宅外生に朝食の欠食率が高く、その傾向は男子学生により強い結果であった。

朝食の欠食調査

男子 51/173人 (29.5%)

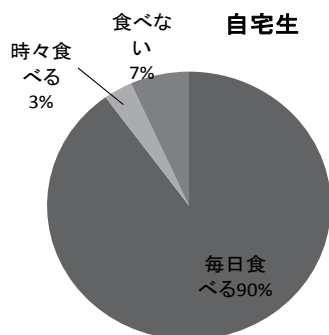


男子 122/173人 (70.5%)

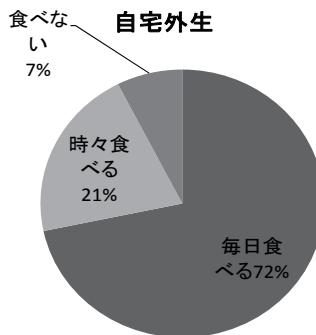


5

女子 30/136人 (22.1%)



女子 106/136人 (77.9%)



6

その他にもファーストフード店やコンビニの利用、外食の機会増大で、脂肪の取り過ぎや同じ物ばかりを食べるなど食事の選択能力や調理技術の不足が問題となっている。また、住居が個室化したことで孤食が進み、人間関係も希薄になる傾向である。生活環境が豊かになる一方で食費は節約され、他のことに流用されているのが現状である。

栄養相談を通し、これらの問題点が少しでも改善するよう継続的に支援していくことが重要である。

③ 母性相談

新入女子学生に対して、入学前の健康調査票を基に月経不順、月経随伴症状の有無をチェックし、定期健康診断を利用して所見のある学生と個人面接を行っている。専門相談窓口があることも伝え、利用の動機づけをはかっている。

新入生女子受診者のうち月経に関して問題があり保健指導の対象になった者

| | 新入生女子(人) | 月経に問題あり(人) | 割合(%) |
|------|----------|------------|-------|
| 16年度 | 1633 | 43 | 2.6 |
| 17年度 | 1426 | 88 | 6.2 |
| 18年度 | 1439 | 146 | 10.1 |
| 19年度 | 1343 | 71 | 5.3 |
| 20年度 | 1349 | 29 | 2.1 |

平成20年度の割合が減ったのは、健診時に保健管理センターの産婦人科医師が、月経に関する悩みや相談に対応したためと考えられる。

相談内訳(延べ数)

| | 16年度 | 17年度 | 18年度 | 19年度 | 20年度 |
|----------|------|------|------|------|------|
| 月経周期異常 | 18 | 10 | 5 | 11 | 10 |
| 無月経 | 7 | 3 | 7 | 4 | 5 |
| 月経時の随伴症状 | 11 | 9 | 12 | 5 | 5 |
| その他 | 16 | 28 | 24 | 20 | 6 |
| 計 | 52 | 50 | 48 | 40 | 26 |

月経随伴症状(主に疼痛)が強く対症療法を希望する者以外に、頻発月経、稀発月経や中には3ヶ月以上に及ぶ無月経など、いわゆる月経不順と称して相談に訪れるケースがある。この中には妊娠を疑っての相談ケースもある。近年では、避妊法についての相談が増える傾向にある。

相談に対する対応(延数)

| | 16年度 | 17年度 | 18年度 | 19年度 | 20年度 |
|-----------------|------|------|------|------|------|
| 月経周期・基礎体温測定指導 | 31 | 24 | 21 | 25 | 19 |
| センターでの休養・鎮痛剤の与薬 | 11 | 9 | 7 | 5 | 4 |
| 経過観察 | 3 | 8 | 6 | 4 | 10 |
| 医療機関(婦人科)紹介 | 40 | 30 | 29 | 23 | 12 |
| その他の保健指導 | 6 | 11 | 16 | 9 | 4 |
| 計 | 91 | 82 | 79 | 66 | 49 |

女性クリニックを設け、随時相談に応じている。月経痛等の随伴症状で来所した場合、保健管理センターでの休養や鎮痛剤の処方以外に、セルフケアと日常生活の注意点や基礎体温測定の個別指導を行っている。治療等を要するケースについては市内の専門機関と連携を取り、早期に受診行動がとれるように配慮している。平成20年度からは、保健管理センターの産婦人科医師へ受診につなげるケースが増えた。

④ 寮の健康診断

平成 18 年度

新年度が始まり、新入寮生の上気道感染症や腹痛の訴えがあり、また近医から「急性膵炎の学生がおり、寮の大量飲酒によると思われる」と申し出があったため、寮の健康調査を行った。

日時：平成 18 年 4 月 27 日 18 時～19 : 30

対象：新入寮生（79 名）

方法：「健康調査票」を配布・記入してもらった後、保健管理センター職員が面接し、病院紹介など特別な処置が必要と判断したものについて医師が問診を実施した。

結果：受診者は 74 名で、何らかの体調不良を訴えた学生が 64 名あった。健康上問題なしと答えた学生が 10 名であった。著しい体調不良のためにすでに医療機関で治療を受けているものが 9 名おり、内訳は大量の飲酒による消化器症状 2 名、上気道炎症状 5 名、長時間の正座による整形外科的な症状が 2 名あった。これらの調査結果をもとに学長、学生支援担当副学長、学生支援部長に意見書を提出した。

平成 20 年度

他大学の寮において、新入生への飲酒強要による死亡事故があったため、寮の健康調査を行った。

日時：平成 20 年 4 月 18 日 18 時～19 時

対象：1 年生、2 年生

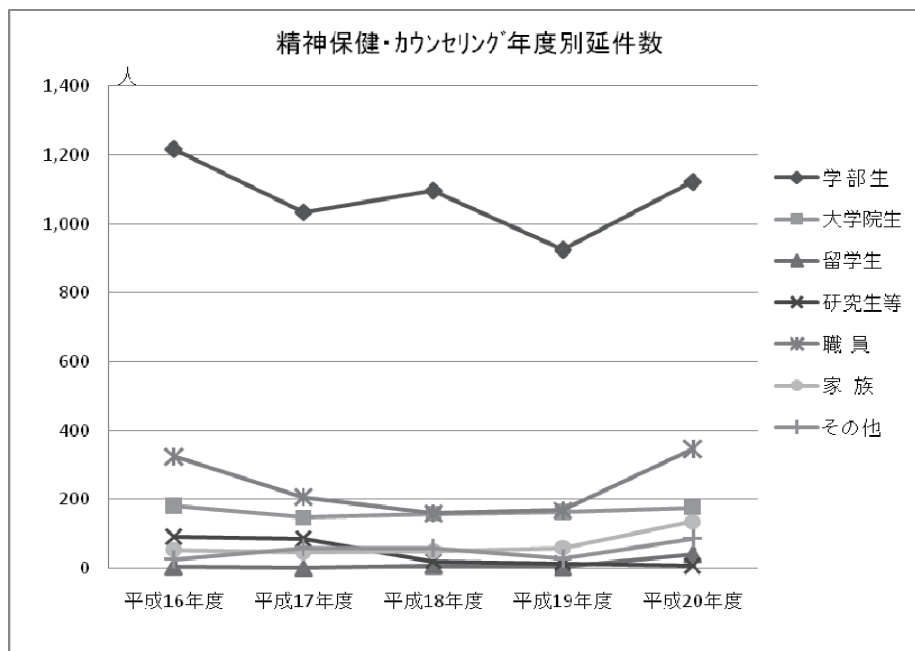
方法：事前に対象者に「健康調査のお知らせ」「寮健康便り」「健康調査票」を配った。当日は、保健管理センター職員が面接し、病院紹介など特別な処置が必要と判断したものについて医師が問診を実施した。

結果：受診者は男子 38 名、女子 24 名であった。上気道感染症の学生が多くみられた。他に、頭痛、不眠、歯痛があり、保健管理センター来所を勧めた。「咳が止まらない」と訴える女子がおり、ハウスダストによるアレルギーが考えられ、掃除を勧めた。

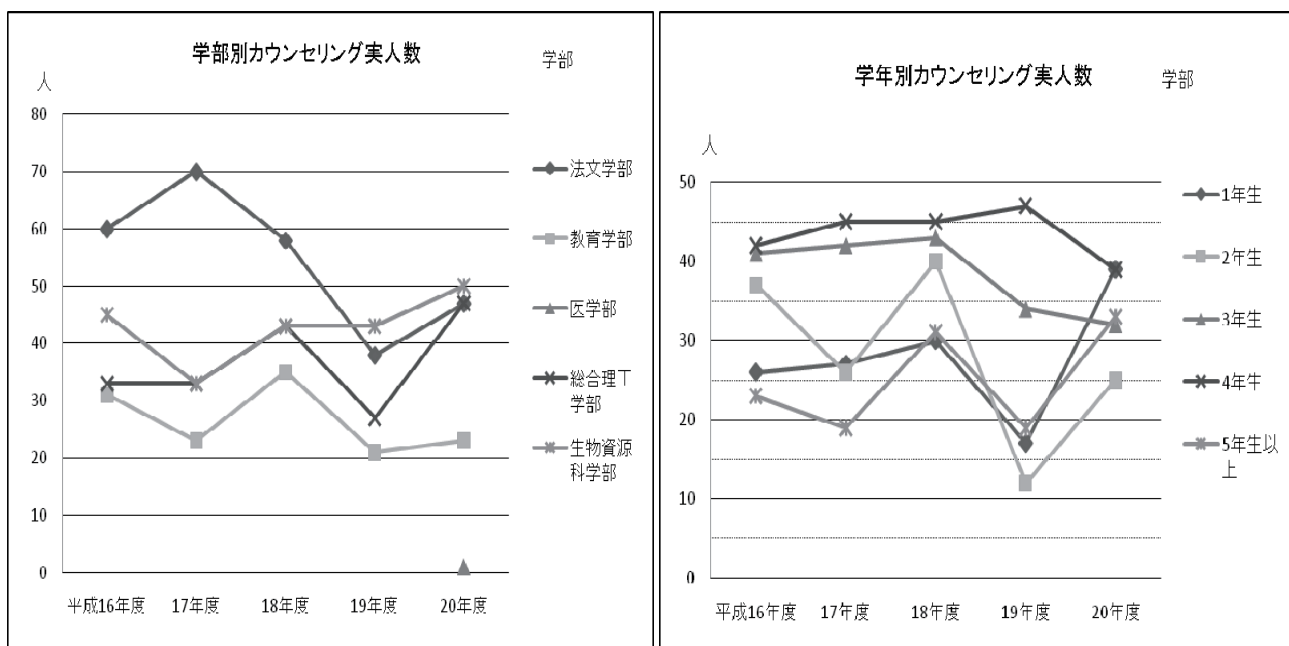
女子で飲酒の被害を訴えたものはなかったが、男子は強要され困っているという学生がいた。未成年が飲んでいたら止めなければいけないことを運営部に話した。今後大学として、飲酒の強要に対し毅然とした対応を取るように、学生担当副学長に報告した。

3. 精神保健相談・カウンセリング利用状況

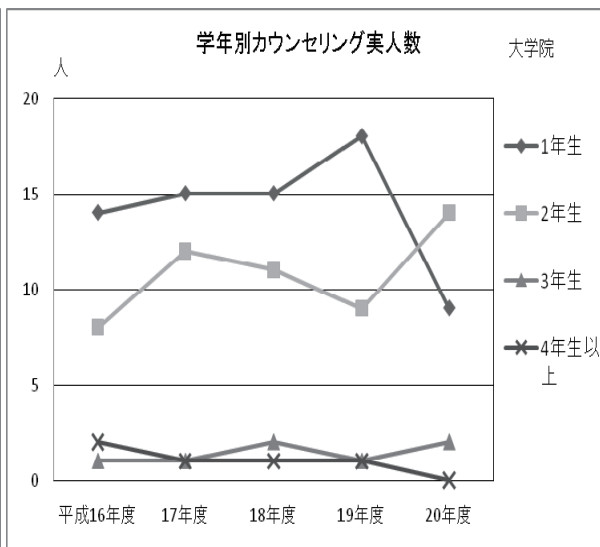
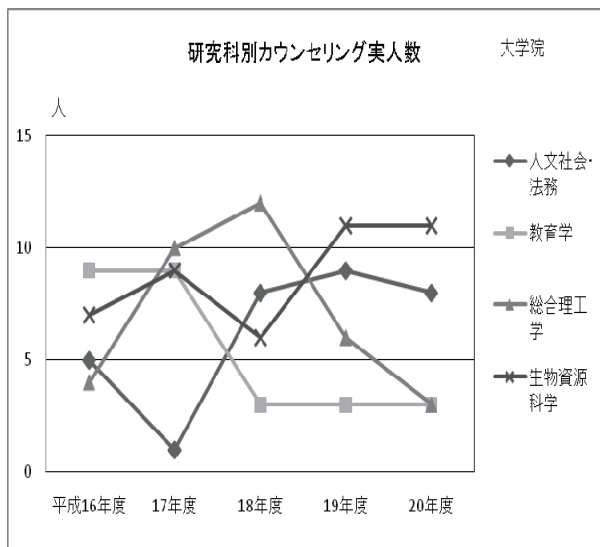
相談内容分類に関しては利用状況と相まって決定していく必要もあるかもしれないが、この年報掲載の期間において精神保健・カウンセリングスタッフの交代もあり、平成16, 17, 18年度と平成19, 20年度では相談内容分類を変えている。



学部



大学院



○平成16年度

月別精神保健・カウンセリング件数

延件数

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|-----|-----|-----|-----|-----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 学部生 | 123 | 127 | 153 | 135 | 43 | 76 | 115 | 109 | 92 | 92 | 81 | 72 | 1,218 |
| 大学院 | 16 | 19 | 22 | 25 | 11 | 12 | 12 | 17 | 11 | 16 | 14 | 6 | 181 |
| 留学生 | | | 2 | | | | | | 1 | | | 1 | 4 |
| 研究生 | 4 | 8 | 8 | 7 | 6 | 10 | 10 | 10 | 7 | 6 | 6 | 8 | 90 |
| 職員 | 22 | 20 | 47 | 19 | 13 | 36 | 45 | 36 | 27 | 17 | 15 | 27 | 324 |
| 家族 | 5 | 5 | 5 | 6 | 2 | 5 | 4 | 1 | 1 | 3 | 8 | 8 | 53 |
| その他 | 0 | 0 | 1 | 1 | 2 | 2 | 1 | 3 | 3 | 3 | 5 | 4 | 25 |
| 計 | 170 | 179 | 238 | 193 | 77 | 141 | 187 | 176 | 142 | 137 | 129 | 126 | 1,895 |

相談内容別件数

実人数

| | | 修学 | 進路 | 経済面 | 対人関係 | 精神面 | 健康面 | セクシャルハラスメント | アカデミックハラスメント | コンサルテーション | その他 | 合計 |
|-----|---|----|----|-----|------|-----|-----|-------------|--------------|-----------|-----|-----|
| 学生 | 男 | 10 | 3 | | 10 | 30 | 8 | | | 3 | 3 | 67 |
| | 女 | 11 | 3 | | 14 | 55 | 10 | | 1 | 6 | 3 | 103 |
| 大学院 | 男 | 3 | | | 1 | 7 | 2 | | | 1 | 1 | 15 |
| | 女 | 1 | | | 1 | 6 | | | | 1 | 1 | 10 |
| 留学生 | 男 | | | | | 1 | | | | 1 | | 2 |
| | 女 | 1 | | | | | | | | | | 1 |
| 研究生 | 男 | | | | | 2 | | | | 1 | | 3 |
| | 女 | | 1 | | | 1 | | | | | | 2 |
| 職員 | 男 | | | | 3 | 18 | 10 | 1 | 2 | 41 | 11 | 86 |
| | 女 | | | | 1 | 12 | | 1 | | 2 | 3 | 19 |
| 保護者 | 男 | | | | | | | | | 9 | 2 | 11 |
| | 女 | 2 | | | | | 1 | | | 15 | 4 | 22 |
| その他 | 男 | | | | | 2 | | | | 3 | 1 | 6 |
| | 女 | | | | 1 | 1 | | | | 1 | 1 | 4 |
| 合計 | 男 | 13 | 3 | 0 | 14 | 60 | 20 | 1 | 2 | 59 | 18 | 190 |
| | 女 | 15 | 4 | 0 | 17 | 75 | 11 | 1 | 1 | 25 | 12 | 161 |

○平成 17 年度

月別精神保健・カウンセリング件数

延件数

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|------|-----|-----|-----|-----|----|-----|-----|-----|-----|----|-----|-----|-------|
| 学部生 | 72 | 100 | 132 | 121 | 52 | 72 | 118 | 117 | 46 | 54 | 84 | 67 | 1,035 |
| 大学院生 | 16 | 16 | 20 | 17 | 9 | 10 | 10 | 15 | 3 | 8 | 10 | 13 | 147 |
| 留学生 | | | | | | | | | | | | | 0 |
| 研究生等 | 6 | 8 | 6 | 5 | 9 | 9 | 14 | 8 | 4 | 5 | 5 | 5 | 84 |
| 職員 | 8 | 14 | 16 | 22 | 9 | 29 | 23 | 16 | 13 | 15 | 25 | 16 | 206 |
| 家族 | 4 | 4 | 8 | 10 | 2 | 4 | 1 | 2 | 1 | 2 | 5 | 2 | 45 |
| その他 | 2 | 5 | 8 | 4 | 2 | 2 | 9 | 5 | 5 | | 4 | 13 | 59 |
| 計 | 108 | 147 | 190 | 179 | 83 | 126 | 175 | 163 | 72 | 84 | 133 | 116 | 1,576 |

相談内容別件数

実人数

| | | 修学 | 進路 | 経済面 | 対人 関係 | 精神面 | 健康面 | セクシャルハラ メント | アカデミック ハラスメント | コンサルテー ション | その他 | 合計 |
|-----|---|----|----|-----|----------|-----|-----|----------------|------------------|---------------|-----|-----|
| 学 生 | 男 | 17 | 3 | | 4 | 29 | 9 | | | 1 | 3 | 66 |
| | 女 | 12 | 3 | | 12 | 47 | 10 | 2 | | 4 | 3 | 93 |
| 大学院 | 男 | 1 | 1 | | 2 | 10 | 1 | | | 1 | 2 | 18 |
| | 女 | 4 | 2 | | 1 | 3 | | | | 1 | | 11 |
| 留学生 | 男 | | | | | | | | | | | 0 |
| | 女 | | | | | | | | | | | 0 |
| 研究生 | 男 | 1 | | | | 1 | | | | | | 2 |
| | 女 | | | | | | | | | | | 0 |
| 職員 | 男 | | | | | 45 | 2 | | 1 | 43 | 5 | 96 |
| | 女 | | | | | 8 | | | | 7 | 2 | 17 |
| 保護者 | 男 | | | | | | | | | 16 | | 16 |
| | 女 | | | | | | | | | 14 | 3 | 17 |
| その他 | 男 | | | | | 3 | | | | 1 | 2 | 6 |
| | 女 | | | | | 4 | | | | 2 | 1 | 7 |
| 合計 | 男 | 19 | 4 | 0 | 6 | 88 | 12 | 0 | 1 | 62 | 12 | 204 |
| | 女 | 16 | 5 | 0 | 13 | 62 | 10 | 2 | 0 | 28 | 9 | 145 |

○平成 18 年度

月別精神保健・カウンセリング件数

延件数

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 |
|-------|-----|-----|-----|-----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|-------|
| 学 部 生 | 97 | 108 | 123 | 111 | 71 | 75 | 100 | 95 | 100 | 96 | 80 | 41 | 1,097 |
| 大学院生 | 11 | 19 | 12 | 7 | 9 | 19 | 16 | 15 | 12 | 6 | 15 | 17 | 158 |
| 留学生 | 1 | 3 | | | | | | 1 | 2 | | | | 7 |
| 研究生等 | 4 | 4 | | 1 | 5 | 4 | 2 | | | | | | 20 |
| 職 員 | 22 | 16 | 14 | 19 | 8 | 12 | 7 | 10 | 12 | 13 | 14 | 12 | 159 |
| 家 族 | 2 | 9 | 6 | 4 | 4 | 6 | 2 | 3 | 4 | 3 | 2 | 4 | 49 |
| その他 | 4 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 4 | 7 | 12 | 4 | 12 | 12 | 57 |
| 計 | 141 | 160 | 156 | 142 | 97 | 116 | 131 | 131 | 142 | 122 | 123 | 86 | 1,547 |

相談内容別件数

実人数

| | | 修学 | 進路 | 経済面 | 対人関係 | 精神面 | 健康面 | セクシャルハラスメント | アカデミックハラスメント | コンサルテーション | その他 | 合計 |
|-----|---|----|----|-----|------|-----|-----|-------------|--------------|-----------|-----|-----|
| 学生 | 男 | 18 | 4 | | 8 | 41 | 11 | | | 3 | 4 | 89 |
| | 女 | 7 | | | 1 | 68 | 6 | 1 | 1 | 5 | 1 | 90 |
| 大学院 | 男 | 5 | 1 | | 1 | 3 | 2 | | | 1 | | 13 |
| | 女 | 1 | 1 | | 1 | 12 | 1 | | | | | 16 |
| 留学生 | 男 | | | | | 1 | | | | | | 1 |
| | 女 | | | | 1 | 1 | | | | | | 2 |
| 研究生 | 男 | | | | | 2 | | | | | | 2 |
| | 女 | | | | | 1 | | | | | | 1 |
| 職員 | 男 | | | | 2 | 77 | 17 | | 1 | 23 | 8 | 128 |
| | 女 | | | | | 11 | 1 | | | 7 | 1 | 20 |
| 保護者 | 男 | | | | | | | | | 8 | 1 | 9 |
| | 女 | | | | | 1 | 1 | | | 27 | 3 | 32 |
| その他 | 男 | | | | | 8 | | | | 2 | | 10 |
| | 女 | | | | | 4 | | | | 3 | 2 | 9 |
| 合計 | 男 | 23 | 5 | | 11 | 132 | 30 | | 1 | 37 | 13 | 252 |
| | 女 | 8 | 1 | | 3 | 98 | 9 | 1 | 1 | 42 | 7 | 170 |

○平成19年度

月別精神保健・カウンセリング件数

延件数

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 |
|------|-----|-----|-----|-----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 学部生 | 89 | 108 | 88 | 90 | 49 | 50 | 98 | 84 | 59 | 84 | 63 | 64 | 926 |
| 大学院生 | 13 | 18 | 24 | 25 | 9 | 10 | 11 | 13 | 7 | 10 | 13 | 10 | 163 |
| 留学生 | | | | | | | | 1 | | | 1 | 1 | 3 |
| 研究生等 | 0 | 6 | 3 | 2 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 14 |
| 職員 | 12 | 10 | 22 | 20 | 11 | 11 | 10 | 9 | 9 | 12 | 23 | 19 | 168 |
| 家族 | 6 | 2 | 12 | 8 | 2 | 4 | 6 | 1 | 3 | 2 | 7 | 6 | 59 |
| その他 | 3 | 3 | 4 | 6 | 5 | 4 | | | 1 | | | 1 | 27 |
| 合計 | 123 | 147 | 153 | 151 | 77 | 80 | 125 | 109 | 79 | 108 | 107 | 101 | 1,360 |

相談内容別件数

実人数

| | | 修学 | 進路 | 学生 | 家庭 | 金銭面 | 対人 | 心身 | その他 | ハラスメント | 合計 |
|-----|---|----|----|----|----|-----|----|----|-----|--------|-----|
| 学生 | 男 | 23 | 2 | 1 | 1 | | 5 | 24 | 3 | | 59 |
| | 女 | 12 | 1 | 1 | | | 16 | 35 | 4 | 1 | 70 |
| 大学院 | 男 | 1 | 1 | | | | 2 | 7 | 1 | | 12 |
| | 女 | 3 | | | | | 6 | 6 | 1 | 1 | 17 |
| 留学生 | 男 | | | | | | | 1 | | | 1 |
| | 女 | | | | | | | | 1 | | 1 |
| 研究生 | 男 | | | | | | | 3 | | | 3 |
| | 女 | | | | | | | 1 | | | 1 |
| 職員 | 男 | | | | 2 | | | 14 | 25 | | 41 |
| | 女 | | | | 1 | | 2 | 6 | 1 | | 10 |
| 保護者 | 男 | | | | | | | 1 | 13 | | 14 |
| | 女 | | | | | | | 2 | 11 | | 13 |
| その他 | 男 | | | | | | | 3 | 2 | | 5 |
| | 女 | | | | | | | 3 | | | 3 |
| 合計 | 男 | 24 | 3 | 1 | 3 | 0 | 7 | 53 | 44 | 0 | 135 |
| | 女 | 15 | 1 | 1 | 1 | 0 | 24 | 53 | 18 | 2 | 115 |

○平成 20 年度

月別精神保健・カウンセリング^ア件数

延件数

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|-------|-----|-----|-----|-----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 学 部 生 | 107 | 89 | 111 | 126 | 38 | 74 | 107 | 118 | 102 | 94 | 88 | 69 | 1,123 |
| 大学院生 | 14 | 19 | 15 | 9 | 9 | 10 | 13 | 15 | 18 | 14 | 21 | 19 | 176 |
| 留学生 | 4 | 6 | 7 | 6 | 3 | 7 | 5 | 1 | 1 | 1 | | | 41 |
| 研究生等 | 2 | 3 | 1 | | | | | | | | | | 6 |
| 職 員 | 18 | 30 | 20 | 26 | 11 | 15 | 41 | 29 | 32 | 47 | 47 | 30 | 346 |
| 家 族 | 24 | 10 | 12 | 23 | 14 | 4 | 9 | 7 | 7 | 15 | 3 | 7 | 135 |
| その他 | 8 | 4 | 7 | 6 | 8 | 14 | 18 | 3 | 2 | 7 | 2 | 7 | 86 |
| 計 | 177 | 161 | 173 | 196 | 83 | 124 | 193 | 173 | 162 | 178 | 161 | 132 | 1,913 |

相談内容別件数

実人数

| | | 修学 | 進路 | 学生 生活 | 家庭 ・家族 | 金銭面 | 対人 関係 | 心身 健康 | その他 | ハラスメント | 合計 |
|-----|---|----|----|----------|-----------|-----|----------|----------|-----|--------|-----|
| 学 生 | 男 | 30 | 4 | 4 | | | 6 | 37 | 8 | | 89 |
| | 女 | 13 | 3 | | 1 | | 10 | 46 | 5 | 1 | 79 |
| 大学院 | 男 | 5 | 2 | | | | 2 | 3 | | | 12 |
| | 女 | 4 | | | | | | 8 | 1 | | 13 |
| 留学生 | 男 | | | | | | | 3 | | | 3 |
| | 女 | 2 | | | | | | | | | 2 |
| 研究生 | 男 | | | | 1 | | 1 | | | | 2 |
| | 女 | | | | | | | | | | 0 |
| 職員 | 男 | | | | | | 2 | 20 | 48 | 3 | 73 |
| | 女 | | | | | | 4 | 5 | 6 | | 15 |
| 保護者 | 男 | | | | | | | | 19 | 1 | 20 |
| | 女 | | | | | | | | 37 | 1 | 38 |
| その他 | 男 | 1 | | | | | | 4 | 3 | | 8 |
| | 女 | | | | | | 1 | 2 | 2 | | 5 |
| 合計 | 男 | 36 | 6 | 4 | 1 | 0 | 11 | 67 | 78 | 4 | 207 |
| | 女 | 19 | 3 | 0 | 1 | 0 | 15 | 61 | 51 | 2 | 152 |

4. その他の活動

① エンカウンター・グループ

i. ベーシックエンカウンター・グループ（非構成型）

島根大学保健管理センターでは平成元年よりベーシックエンカウンター・グループ（非構成型）合宿を実施しており、平成16年度は2泊3日の日程でグループ体験を実施した。ファシリテーターは広島大学総合科学部 岩村聡先生、保健管理センター非常勤カウンセラー 大西俊江先生（島根大学）に依頼した。

(1)案内・募集

4月に機関誌で簡単なエンカウンター・グループについての説明や実施日程等を記載し、6月にはポスターや募集要項を作成し、ポスターは各学部に掲示し、保健管理センター管理運営委員会に募集要項を配布、参加を呼びかけた。

募集締め切り日を夏休み開始前に設定した。参加者への具体的なお知らせは9月に各自に送付した。

(2)実施

期日 平成16年9月21日～23日

会場 島根大学汽水域研究センター中海分室管理棟

参加人数 スタッフ 岩村聡 大西俊江

メンバー 2人

ii. エンカウンター・グループ（構成的）

平成16年度は、月1回、水曜日の午後に構成的なエンカウンター・グループ体験を実施した。構成的なエンカウンター・グループはファシリテーターから課題（エクササイズ）が与えられ、それを行う。ファシリテーターは保健管理センター非常勤カウンセラーの大西俊江先生、足立富美子先生が担当した。

(1)案内・募集

毎回、実施案内のポスターを作成し、各学部等に掲示し、当日時間厳守で直接会場へ集合する旨の掲示をした。参加者には次回にグループ体験実施日程を知らせ、次回のグループ体験への参加を呼びかけた。

(2)実施

会場 保健管理センター

集団面接・会議室

教育学部附属教育実践

研究指導センター

時間 13:30～15:00

実施回数 10回



② ワークショップ

平成 18 年度は大西俊江先生、山崎恭子先生（広島修道大学）、山下由利子先生ら外部講師と早瀬眞知子（保健管理センター）をファシリテーターにワークショップを行った。ワークショップは参加者が主体的に論議に参加したり、言葉だけでなくからだやこころを使って体験したり、相互に刺激しあい学びあうグループによる学びと創造の方法として欧米から広がってきたものである。1 日のセッションでは、1 時間の昼休憩を挟み計 5 時間、リラクゼーションや自己表現などのプログラムを行った。（予算：政策的配分経費）

(1)案内・募集

ポスターを作り、保健管理センター、学生支援課や外国語教育センターなどに広報を依頼し、参加を呼びかけた。当初は年に 2 回の宿泊型ワークショップ開催予定であったが、参加希望者の都合がつかないこと（授業や実習など）、参加実費等の負担を考えて、宿泊を減らし日帰りワークショップとした。

(2)実施

| | | | | | |
|-----------------------|----|------------------|-------|-------|------------|
| 平成 18 年 5 月 27 日～28 日 | 参加 | スタッフ | 早瀬眞知子 | 山下由利子 | |
| | | メンバー | 3 名 | | |
| | 場所 | 島根県立青少年の家（サンレイク） | | | |
| 平成 18 年 12 月 10 日 | 参加 | スタッフ | 大西俊江 | 早瀬眞知子 | 山下由利子 |
| | | メンバー | 8 名 | | |
| | 場所 | 斐川町社会福祉センター 四季荘 | | | |
| 平成 19 年 2 月 18 日 | 参加 | スタッフ | 大西俊江 | 早瀬眞知子 | 山崎恭子、山下由利子 |
| | | メンバー | 5 名 | | |
| | 場所 | マリンパーク多古鼻 | | | |
| 平成 19 年 3 月 21 日 | 参加 | スタッフ | 大西俊江 | 早瀬眞知子 | 山下由利子 |
| | | メンバー | 3 名 | | |
| | 場所 | マリンパーク多古鼻 | | | |

(3)用いたプログラム

- ①自己紹介ゲーム ②絵しりとり ③コラージュ
④絵本づくり(自分で作る物語) ⑤ リラクゼーション ほか

(4)参加者の声

参加者からは「今の世の中は、忙しくて、その流れに乗り遅れたらだめだ、みたいな感じがあると思う。立ち止ったらだめだ、進みながら軌道修正しなさいといわれた。今の私は進めてる気がしない。この土日でいろいろ新鮮なことが多くて、今までの考え方の中に少し新しいものが芽生えてきそうな気がする」「日ごろしていることとは全く違う 1 日が新鮮に感じられた!」「いろんな年代の人とも話せて参加して良かったと心から思った」「よくわからない遊びだと思っていたが、それがリラクゼーションにつながっていたことを不思議に思った」「ロケーションも良くまた来たい」「人数が少なすぎて残念」などの感想があった。

'07 3月のワークショップ



学生生活サポート・ワークショップ VI
～リフレッシュ&リラクゼーション～

日時:2007年3月21日(水)

時間:10時～16時



定員:10名(先着順)

ファシリテーター:大西俊江・早瀬真知子・山下由利子

参加資格:学生、研究生、教職員等

費用:2000円(昼食含む)

お問い合わせ先・申し込み方法:保健管理センター

これまでの参加者の感想より抜粋

タイム・スケジュール

3月21日 午前9時 大学正門前 集合:受付

午前10時 セッション1

12時～1時 昼休み

午後1時～4時 セッション2(適宜休憩有)

セッション1～2は、リラクゼーションや、自己表現などのプログラムを準備しますが、参加者の皆さんのご要望も取り入れながら進めていきます。体をほぐし、心もほぐせる時間にしていきたいと思ひます。皆さんのご参加を心よりお待ち申し上げます。

日ごろしていることは全く違う1日が新鮮に感じられた!!

いろんな年代の人とも話せて参加してよかったと心からおもいました。

よくわからない遊びだと思っていたが、それがリラクゼーションにつながっていたことを不思議に思った。

ロケーションも良く、また来たい。



「ワークショップ」とは、まだまだ聞きなれない言葉かもしれない。もともとは、「共同作業場」や「工房」を意味する英語だが、ここ数十年の間に、「先生や講師から一方的に話を聞くのではなく、参加者が主体的に論議に参加したり、言葉だけでなくからだや場所を使って体験したり、相互に刺激しあひ学びあう、グループによる学びと創造の方法」として欧米から世界中に広がってきた。日本でもこの10年くらいの間に、演劇やダンスや美術などの芸術分野、環境教育や国際理解教育、住民参加の街づくり、コンピューター、ソフトの使い方、体と心、自己成長や癒し、企業研修、学術会議、NPOでの研修や講座など、学校教育や社会教育の枠をはるかに超えてさまざまな分野で広がっている。

ワークショップは説教くさくない。ワークショップは楽しい。ワークショップはわくわくする。ワークショップは感動と出会いがある。ワークショップは希望と勇気を生み出す。ワークショップにはやすらぎや癒しもある。ワークショップには創造と喜びがある。「総合的な学習の時間」が話題になっている学校教育や、生涯を通しての学習が課題の社会教育はもとより、創造的な活路が求められている企業社会やビジネスの世界、環境や福祉や街づくりなどの過大に住民とともにトリック無行政・自治体の現場、交流しつつあるNPO/NGOの活動や啓発の場、地域やPTAなどさまざまな市民活動など、社会のさまざまな分野でもっともっとワークショップ的な学び方や合意形成、創造の方法が活用されていいはずだ。なぜならこれらの諸分野の根っこに共通にある課題を乗り越えるヒントが、ワークショップの中にはあるからだ。

そのヒントとは、人と人の関係を豊かにし、人と自然の関係を取り戻し、人と社会の関係も健全にすることで、現代の課題である「持続可能な社会」を作ることにも通じるものだ。個人にとっては自分なりの器いっぱい花開く自己実現の機会となり、社会にとっても個人の成熟を基盤にした本物の市民社会、民主主義を実現して真に豊かな社会を作り出していくことにつながる。(「ワークショップ」中野民夫著)

③ サロン

孤立する学生同士をつなぐ場面のひとつとして、緩やかな場であるサロンを開催した。

対象：原則として、希望者

場所：保健管理センター

案内：保健管理センターにポスター掲示、チラシをおいた。

平成 17 年度

開催日：(6/15、6/29、7/13、8/3)

参加者数；学生実数 5 人(延べ 19 人)、スタッフ 7 人

第 1 回目の 6 月 15 日は保健管理センターの全スタッフ参加のもと、お茶、お茶菓子を用意して参加費（実費）を徴収して実施した。

平成 18 年度

開催日；水曜日（前期 14:30～15:30 18:00～19:30、後期 17:00～18:30）。前期、後期、各 15 回ずつ計 45 回〔季節や参加者に応じて、授業終了の打ち上げと称してカレーパーティー（買い物をして、作って食べる、実費）、鍋の会やコンパを企画、実施した。〕

参加者数；前期水曜午後は参加者実数 5 人（延べ 41 人）、前期水曜夕方は参加者実数 8 人（延べ 40 人）、後期水曜夕方は参加者実数 5 人（延べ 23 人）、スタッフ 1 人。

平成 19 年度

開催日；水曜（前期 18:00～19:30、後期 17:00～18:00）。前期、後期、各 5 回ずつ 30 回〔夏は花火、冬は忘年会を実施した。〕

参加者数；前期は参加者実数 5 人（延べ 27 人）、後期は参加者実数 7 人（延べ 44 人）、スタッフ 1 人。

平成 20 年度

開催日；前期：月曜（10:30～11:30）12 回、水曜（15:00～16:00、または 17:00～18:00）7 回、ガーデニングやお茶会を行った。

後期：水曜午前（9:30～10:00）12 回、水曜夕方（17:00～18:00）10 回

ミーティング、コラージュ、実りの小道への参加、スクイグル、お茶会を行った。

参加者数；前期：月曜の参加者実数 2 人（延べ 19 人）、スタッフ 2 人。

水曜の参加者実数 5 人（延べ 19 人）、スタッフ 2 人。

後期：水曜午前の参加者実数 2 人（延べ 18 人）、スタッフ 2 人。

水曜夕方の参加実数 5 人、スタッフ 2 人。

④ 学生支援 GP：「気になる学生」調査

平成 20 年 1 月より、文部科学省の学生支援 GP に選定された「学生の自主的活動の評価と教育効果の向上」により、「気になる学生」調査を行った。同時に非常勤カウンセラーによる教員や家族へのコンサルテーションや学生のカウンセリングなどの学生支援を実施している。

サロン

2006

ちょっと、ひま～～、という方、
おしゃべり？ 時間つぶし？
いやいや、有意義な時間のために！！
来て見ませんか？
何かと、誰かと
であうかもしれないし、
であわないかもしれないけれど。

毎 水曜 5 時～6時半（10月～1月）

場所 保健管理センター

会費 実費

申し込み先 保健管理センター

「気になる学生」調査報告 そのI

島根大学保健管理センター松江
学生支援課*

河野美江 寺脇玲子* 早瀬眞知子 妹尾明子 深石優子
下平明美 柏 紀子 坪倉千歳 荒川長巳 蘆田耕一

1.はじめに

近年、ユニバーサルアクセスの到来から、多様な学生が大学に入学するようになった。なかにはメンタルヘルス上の問題を抱えた学生も少なからず在籍する。このような場合、学生を教員一人がまる抱えするのではなく、大学全体で総合的に支援していく方法を模索する必要がある。

2000年に報告された大学における学生生活の充実に関する調査研究会の報告では、これまで大学の教員の関心は主として自らの研究に向けられ、学生の教育に対する責任を十分に認識していないということがしばしば指摘されていたが、今後は総体として教員の研究に重点を置く「教員中心の大学」から、多様な学生に対するきめ細やかな教育・指導に重点を置く「学生中心の大学」へと、視点の転換を図ることが重要である、と述べている¹⁾。

島根大学でも平成18年度より指導教員制度を導入し²⁾、修学・学生生活・進路などの事項について、学生の良き相談相手となり、関係事務窓口への連絡を含め問題解決の糸口をみつけられるよう指導・助言を行っている。しかし、実際の学生生活について、その効果ははまだ検証されていない。

さて、文部科学省が公募した「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム」(学生支援GP)に本学の「学生の自主的活動の評価と教育効果の向上」が選定された。このプログラム開始にともなって、現在の島根大学がおこなっている学生支援の効果を知る必要があると考えた。そこで、学生が必要とする学生支援を知ることを目的として、非常勤カウンセラーによる島根大学教員への聞き取り調査を行ったので報告する。

2.対象と方法

対象は、本学学生すべてで、なんとなく気になる学生(欠席しがちな学生、成績が かんばしくない学生、対応に困難を感じる学生など)とした。

方法は、2008年1月に島根大学松江キャンパス全教員に向け、教員の感じている「気になる学生」の相談案内を文書にて送付した。相談申し込み先は学生支援課学生相談担当とした。回答のあった教員に対し、非常勤カウンセラーが聞き取り調査を行った。

聞き取り内容は以下の通りである。

- ・氏名、学生番号、性別
- ・教員が困っていること
- ・問題に気づいた時期
- ・これまでの働きかけ
- ・親への連絡の有無
- ・教員の希望
- ・学生とのコンタクトの取り方

加えて、他に必要と考えられる情報も聞いた。

なお教員に対し、聞いたことについては守秘義務の範囲で、GPとしてどのような支援が可能であるのか、大学と話し合い対策を考えていくことを説明し、了解を得た。

3.結果

2008年3月までに相談のあった教員は11名、学生は32名だった。

1. 属性 (図1)

- 1) 学年は、2年生6名(18.8%)、3年生9名(28.1%)、4年生8名(25%)、5年生5名(15.6%)、6年生3名(9.4%)、M1 1名(3.1%)であった。
- 2) 性別は男子20名(62.5%)、女子12名(37.5%)であった。

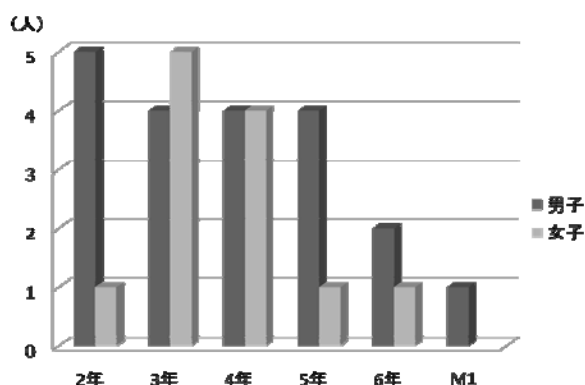


図1 「気になる学生」の属性

2. 紹介理由

32名のうち、31名(97%)が欠席過多で、1名(3%)コミュニケーションが取れない、であった(図2)。

欠席過多と重複する問題点としては、男子は学業不振が多く、女子は病気・体調不良が多い傾向があった。その他の問題点としては、不本意入学、カルト、ネットにはまっている、であった(図3)。

また、ゼミに配属になってから来られなくなった学生が2名、紹介時点で教員が連絡を取れない学生が3名いた。32名のうち、以前から保健管理センターが関与していた学生が4名いた。

3. 教員の意見

聞き取り調査の際

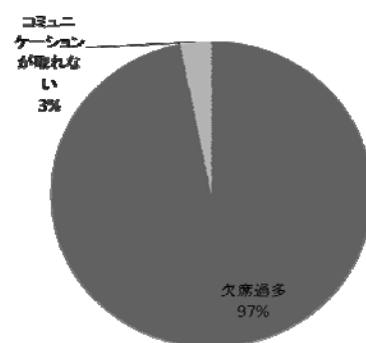


図2 紹介理由

に、教員より多くの意見を聞くことができた。その意見は、大別して以下のように分けられた。

1) 学生自身の問題

- ・多くの教員より：「ゼミ決めや卒論を何のためにしているのか、目的意識が持てているのか、わからない学生がいる」「そういう学生に対し『他に行ってもいいよ』と言っている」「センター試験の結果などで、不本意ながら入学してくる学生が多い現状がある」
- ・授業料の催促や罰則、学生相談の窓口がすべて学生支援課になっており、授業料滞納のある学生や家族は学生支援課が安否の電話をしても電話に出ないことが多い。
- ・学生は、担任には泣き言やわからないなどが言いにくい。

2) 教員の問題

- ・以前は教員に「学生は大人」という認識があったが、今は対応する教員の態度がまちまちである。
- ・特に出てこない学生で薬を飲んでいる学生など、かかわり方が難しい。プレッシャーをかけてもいけないと思う。
- ・「特別な対応をする学生について、他の学生にどう説明をしたらよいか。」教員が困っている。
- ・指導教員制はあるが、教員により対応はまちまちで、本学作成の「指導教員の手引き」だけでは難しい。

3) 体制の問題

- ・とにかく毎年 10 名まではゼミ生を受け入れないといけない。一度も会ったことのない学生でも、大学に出てこない学生でも受け入れないといけない。
- ・未分属の学生は、1 年生は学科長が担任するが、留年状態の学生は毎年学科長が変わるので、対応が不十分になりがちである。

4) 連携の問題

- ・保健管理センターを紹介したり利用したりしている学生について、その後どうなっているのか、どのように対応したらよいかわからない。

5) その他

- ・今回数名の女子学生が 1 年の半分まで頑張っていたのに、途中から来られなくなった。今までそういうことはなかったので、本人に原因があるのか、教員側の問題なのか、知りたい。
- ・「子どもの意向を無視する親」にどう対処したら良いか。

4. 考察

今回の調査の結果、問題を抱えながら 潜在している学

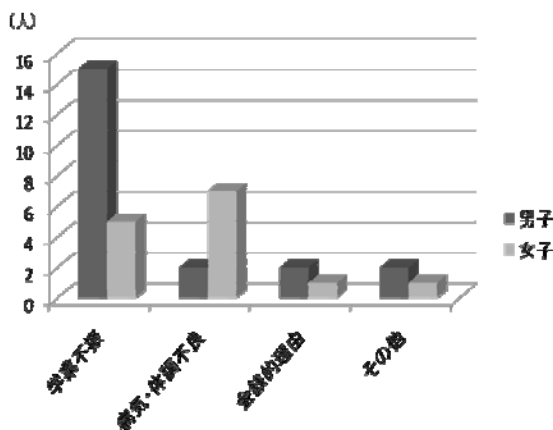


図3 欠席過多と重複する問題点

生がいることがわかった。近年、第二次世界大戦後に学生相談が日本に導入された当時の SPS (Student Personnel Services) の精神に立ち返り、問題を抱えて来談した一部の学生に対する心理治療的支援に限定するのではなく、全学生を対象とした発達促進的な教育活動として学生相談を位置づけることが求められるようになっている^{3,4)}。この全学生を対象とする学生相談の視点に立てば、従来から検討されてきた来談した学生にいかにか効果的な援助を提供できるかという検討課題に加えて、来談に消極的であるものの問題を抱えている学生をいかに援助につなげていくかということも、学生相談の重要な検討課題である³⁾。

最上ら⁵⁾は従来の自主来談が中心の“待つ相談”に加え、“働きかける相談”への試みを推進し、大学全体の退学防止対策を行った結果、退学者が大幅に減少した、という取り組みを報告している。今回私たちが行った取り組みも、同様のものであり、その結果については別の報告に譲るが、教員の意見からわかるように、学生が欠席過多など問題を持っていても 教員個々の対応には限界があり、問題解決は困難であった。言い換えれば個々の教員のやる気や善意に頼っている現行の指導教員制度では、十分に機能することは難しいことが示唆された。

今後、問題解決のためには、漏れなく「問題を抱えながら潜在している学生」を見つけ出すシステム作りが必要だと思われる。そのために、まず全学の共通認識を図ることが重要と考えられた。

5. まとめ

- ・問題を抱えながら 潜在している学生がいることがわかった。
- ・教員の紹介理由は欠席過多が 97% で、学業不振、病気・体調不良と重複するものが多くみられた。
- ・学生が欠席過多など問題を持っていても 教員個々の対応には限界があり、問題解決が困難なことが明らかになった。
- ・問題解決のシステム作りのため、全学の共通認識を図ることが重要と考えられた。

6. 参考文献

1. 大学における学生生活の充実に関する調査研究会：大学における学生生活の充実方策について（報告）～学生の立場に立った大学づくりを目指して～、2000 年 5 月
2. 島根大学学生委員長会議：島根大学における学生に対する指導助言等の制度実施の指針、2006 年 4 月 20 日
3. 高野明 吉武清實 池田忠義 佐藤静香 関谷佳代：学生相談に対する援助要請の態度と学生相談に関して求める情報の関係。学生相談研究 28 (3)、191-201, 2008
4. 内野悌司：2004 年度の学生相談界の動向。学生相談研究 26 (1)、50-61、2005
5. 最上澄枝 金子糸子 佐藤哲康 布施晶子 市来真彦：自ら助けを求めず潜在している学生に対する学内協働による取り組み一欠席過多学生対応プロジェクトを通して一、学生相談研究 28(3)、214-224, 2008
(第 38 回中国・四国保健管理研究集会にて発表した)

「気になる学生」調査報告 そのⅡ

島根大学保健管理センター松江
島根大学学生支援課*

早瀬真知子 寺脇 玲子*
下平明美 柏 紀子

河野美江 妹尾明子 深石優子
坪倉千歳 荒川長巳 蘆田耕一

1. はじめに

私たちは学生支援 GP (good practice*¹以下 GP) 開始に伴い、2008 年 1 月に島根大学松江キャンパス全教員に「気になる学生」調査を行い、その結果は「気になる学生調査報告 そのⅠ」に記述した。その後半年間かけて学生支援に取り組んだ。その取り組みと経過について報告する。

2. 取り組みと経過

1. 4 月時点での支援対象者

2008 年 3 月までに相談のあった学生は 32 名であった。そのうち保健管理センターがすでにかかわりを持っていたものが 4 名、教員への聞き取りの結果、3 月で卒業したものが 2 名、休学したものが 4 名、退学が 1 名、また 1 名は就職活動をしていたことがわかった。そのため 4 月時点での支援対象者を 20 名とした。

2. 支援方法

1) 支援チームの結成

保健管理センター精神科医師、臨床心理士 2 名、学生支援課 事務員 1 名、非常勤カウンセラー (学生支援 GP カウンセラー) の計 6 名で支援チームを作った。月に 1 回話し合いの時間を設け、対応や学生の状況について報告した。教員、家族、本人への対応は個人で対応せず、チームの会議で話し合って決めた。

2) 教員への聞き取り

カウンセラーは教員から相談のあった学生について詳しい状況を聞くために、教員に予約をいれ、教員と 1~数回会った。そこで、教員が学生の状況をどのように把握しているのか、教員と学生の関係はどうかを見立て、教員に対してのコンサルテーションを行い、学生支援についての共通理解を図った。

教員と学生の間で直接連絡がとれない場合は、まず指導教員が学生を呼び出し、応じてきた場合は修学について様々な方法の支援ができることを学生に呈示してもらった。呼び出しに応じない場合は「連絡に応じない場合は保護者に連絡する」と学生に連絡し、それでも連絡がない場合は、速やかに保護者に連絡をとるよう教員へ働きかけた。

指導教員から学生、保護者への連絡に対して何の応答もない場合は、学生支援課より学生に連絡し、応答がない場合は保護者への連絡を行った。指導教員には連絡をしなかったが、学生支援課からの連絡に応じた

学生が数名おり、指導教員だけでは解決が困難な場合があると考えられた。

本人に連絡がつかなかった場合、学生支援課が保護者に連絡し、保護者から本人に連絡を取り、学生が学生支援課に連絡してきた例もあった。

3) 学生との面談

教員との面談で、教員がカウンセラーの支援を求めた場合や、カウンセラーが学生に対する支援が必要と感じた場合、学生と直接面談を行って教員との連携を図った。教員がカウンセラーに支援を求めた中には、学生と面談した結果、精神的な問題や病気が背後にあると疑われる場合があった。このような場合は保健管理センターを通して、医療機関につないだ。継続的に多様な支援 (学業上、日常生活の支援、進路決定、就職等に向けての支援等) が必要となる場合もあるため保健管理センターと連携し、保健管理センターが、教員、保護者、医療機関等関係機関と連携を持った。

学生支援課を通して連絡がついた学生とカウンセラーの面談では、本人の状況や今後の方向性を尋ねた。学生と教員との関係がうまくいっていない場合には、教員との間に入って調整するなどの支援を開始した。

3. 教員・学生への支援の結果

1. 学生の動向

支援対象の 20 名のうち、8 月時点で何らかの形で相談が開始されている者が 9 名 (45%)、登校を始めた者が 5 名 (29%)、この働きかけをきっかけとして進路再考を始めた者が 3 名 (15%)、連絡のつかない者が 3 名 (15%) となっている (図 1)。

2. 学生の特徴

指導教員からの情報では「気になる学生」は欠席過

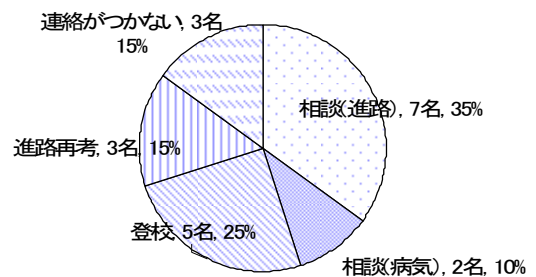


図 1 支援結果

多や学業不振が多かったが、細かく調べてみると、単位取得状況に特徴があった。入学年度にかかわらず90単位以上取得している者が7名、05～06年入学（3年～2年）で60単位から89単位の者が5名、04～06年度入学（5年～3年）で59単位以下の者が9名いた（図2）。

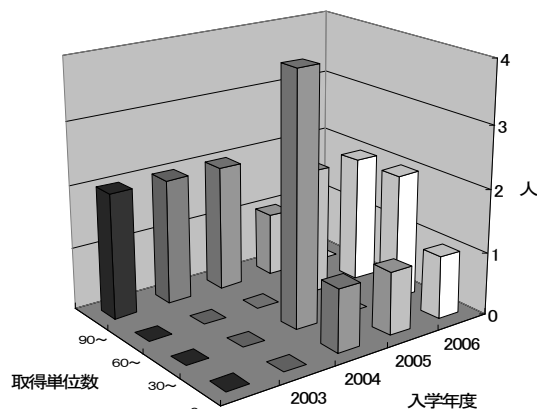


図2 入学年度と取得単位数

単位取得90単位以上をAグループ、60～89単位以上をBグループ、59単位以下をCグループと分類すると、Aグループ7名のうち教員との話し合いで登校した者が2名、相談を開始した者が2名、カルト活動のため卒業延期していた者が1名、本人、保護者とも連絡がつかない者が1名いた。Bグループでは、相談開始が2名、連絡の取れない者が1名、コミュニケーションがうまく取れない者が1名いた。Cグループは相談開始が4名、その他（進路再考等）が2名、連絡がつかない者が3名いた。

Aグループでは、卒業までの道筋を整理する、指導教員と躓いている原因などを話し合う機会を設けるなどの支援が有効だった。反対にCグループでは、不本意入学や目標を見失っていたり、生活習慣の乱れ、基本的な生活習慣が身につけていない者がいた。大学生生活を始めるにあたっていろいろな課題を抱えていたと考えられ、さらにきめこまやかな対応と修学支援の方策が必要と考えられる。Cグループの学生は青年期の発達課題に直面し躓いており、大学生活初期(入学期)の適応に課題を抱えていると考えられる。

5. まとめ

- ・学生支援の取り組みをした結果、従来保健管理センターや学生支援課と関わりのなかった学生に修学上の躓きがあることがわかった。
- ・一人で課題を抱えていた学生に声かけをして、相談を開始することにより、問題解決に向い始めたことから、早期に介入することは重要であると考えられる。
- ・学生への対応に困っている教員に対し、指導教員との協働・支援について話し合うことができ有効であっ

た。

- ・卒論研究のみを残して卒業に足踏みをしている学生がいたが、取得単位のきめ細やかなチェックと早期の介入が出来るとうい場合があると考えられる。また、モラトリアムについても考慮の必要がある。

- ・単位不足の学生に対して、保護者に卒業が困難であることを伝えるかどうかについて教員間で異論があるので大学としては、この点に関して合意を得る必要がある。

- ・指導教員との関係がこじれている学生に対しては困ったときの相談窓口の案内・広報を充実すると共に気軽に相談できる体制を作ることが望まれる。

6. 参考文献

1. 高野章 吉武清實 池田忠義 佐藤静香 関谷佳代: 学生相談に対する援助要請の態度と学生相談に関して求める情報の関係. 学生相談研究 28 (3)、191-201, 2008
2. 内野悌司: 2004年度の学生相談会の動向. 学生相談研究 26(1), 50-61, 2005
3. 最上澄枝 金子糸子 佐藤哲康 布施晶子 市来真彦: 自ら助けを求めず潜在している学生に対する学内協働による取り組み—一学席過多学生対応プロジェクトを通して—, 学生相談研究 28(3)、214-224、2008
4. 鶴田和美 編: 学生のための心理相談、培風館、2001
5. 鶴田和美 齊藤憲司: 学生相談シンポジウム—大学カウンセラーが語る実践と研究— 培風館、2006
6. 国立特殊教育総合研究所: 発達障害のある学生支援ガイドブック—確かな学びと充実した生活をめざして—

注*1: GP とは: 各大学・短期大学・高等専門学校等(以下「大学等」とします。)が実施する教育改革の取組の中から、優れた取組を選び、支援するとともに、その取組について広く社会に情報提供を行うことにより、他の大学等が選ばれた取組を参考にしながら、教育改革に取り組むことを促進し、大学教育改革をすすめています。この「優れた取組」を「Good Practice」と呼んでいます。これは、近年、国際機関の報告書などで「優れた取組」という意味で幅広く使われており、諸外国の大学教育改革でも注目されている言葉です。なお、この言葉を略して、「GP」と呼んでいます。

(文部科学省ホームページより)

http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/kaikaku/gp/001.htm

(第38回中国・四国大学保健管理研究集会で発表した)

Ⅲ. 教職員の健康管理

平成 16 年度に独立行政法人化し、保健管理センター医師が従来の健康管理医から産業医になった。これに伴って、安全衛生委員会委員として職員の健康管理がそれまで以上に重要な職務となった。とりわけ、独立行政法人化初年の平成 16 年度初めには事務系職員のメンタルヘルスが急激に悪化し 3 名の病休者が続発した。このため、リハビリ出勤のシステムを構築し、学内研修を実施した。以後、職員の約 1% の健康管理を支援している。

平成 16 年度以降、事務系職員のメンタルヘルスに関しては小康状態であるが、平成 19 年度頃より教員のメンタルヘルスが悪化しはじめた。平成 20 年 12 月に疲労蓄積度チェックリストを利用して全職員を対象として調査を実施した。その結果、教員のメンタルヘルスが悪化していることが明確になり、今後の大きな課題となっている。（産業医 荒川長巳）

IV. 広報・啓発活動

1. 学内研修会の開催

○「大学キャンパスにおけるカルト問題」について

－脱会支援の立場から－

開催日：平成20年2月28日(木)

講師：倉敷めぐみキリスト教会 高山正治牧師

○第2回SDフォーラム

「きめ細やかな学生支援体制の構築に向けて」

－悩みを持つ学生への支援について－

開催日：平成20年9月22日(月)

場 所：島根大学教養講義室1号館202室

「教員の学生メンタルヘルスに対する意識調査」

講師：保健管理センター 河野美江

「指導教員と連携した学生相談の取組」

講師：保健管理センター 早瀬真知子

「学生相談を切り口としたメンタルヘルス・プロモーション」

講師：神奈川工科大学 市来 真彦医師

「自ら助けを求めず潜在している学生に対する学内協働による取組み」

講師：神奈川工科大学 学生相談室 最上澄江臨床心理士

2. 保健管理センター ホームページ

以前より発行されていたはばたき・島大通信は、島根大学のホームページができたために、保健管理センターのホームページを作成し、ホームページでの情報発信に移行した。

アドレスは <http://www.ipc.shimane-u.ac.jp/~health/> で、随時更新を行っている。

2008.2.1 発行 ～感染性胃腸炎に注意しましょう～

感染性胃腸炎が流行しています。感染性胃腸炎とは冬季に多く、日本全国の地方衛生研究所のウイルス検出状況を見ると、前半はノロウイルス、後半はロタウイルスによるものが多いです。感染経路は感染者の便で汚染された水や食物を口に入れることですが、人の手を介して人から人へ感染します。生あるいは加熱不十分な貝（カキなど）が感染源になることが多いです。また調理に使用したまな板や包丁も感染源になりますので、しっかり洗って使用してください。

予防・手洗いの励行 食事の前、トイレの後には石鹸をつけて丁寧に洗ったのち、流水で十分にすすぐ手洗いが有効です。

・ **吐物の処理** 吐物はマスクをし、素手でなくゴム手袋（無い時はナイロン袋を両手にはめて）を装着し、新聞・キッチンペーパーや布にくるんでビニール袋に入れ、しっかり縛って焼却します。汚染された床や家具などは次亜塩素酸ナトリウム（商品名：ハイター、ミルトン）による消毒が必要です。

治療：治療の基本は十分な休養と脱水予防です。水分の経口摂取が可能な場合は、少しずつ摂取してください。電解質の入ったイオン飲料（商品名：ポカリスエットやアクエリアスなど）を水で半分に薄めて、少し温めたものがお勧めです。嘔吐がひどく経口摂取できない場合は点滴が必要となりますので、医療機関を受診して下さい。薬は、基本的には下痢止めは使わず、整腸剤等で経過をみます。通常は2-3日で症状は改善します
いずれにしても、暴飲暴食、寝不足、夜更かし、過労など抵抗力が低下したときにかかりやすくなりますので、規則正しい生活を心がけ、健康な毎日を送りましょう。

2008.2.18 発行 麻疹（はしか）の感染に注意してください

昨年度に引き続き、今年も関東・九州圏において「麻疹（はしか）」の患者が多数発生しています。「麻疹（はしか）」の感染力は強力（空気感染・飛沫感染・接触感染）ですので、大人にもうつります。さらに大人では子どもに比べ、肺炎や脳炎などに至り、重症化しやすいと言われています。

今後、「麻疹（はしか）」が流行する可能性がありますので以下のことに留意してください。

1. 次のような症状が出現した場合は、登校を見合わせて、もよりの医療機関で受診してください。

- ・ **発熱(37.5℃以上)を伴う咳や鼻水の症状**
- ・ **一旦熱が下がった後に口の中に赤い縁取りのある白い発疹(斑)が現れる**
- ・ **発症から数日後に発熱とともに多数現れる皮膚の紅い発疹(手足から胸や腹部に広がる)** ※ ウイルスに感染後 10 日前後の潜伏期間を経て発症します。

2. 医療機関で「麻疹（はしか）」と診断されたら、登校せずに、下記へ電話でご連絡ください。

松江キャンパス：0852-32-6062（学生支援課）

出雲キャンパス：0853-20-2093（学務課）

※ 学校保健法では解熱して3日間を経過するまで出席停止となります。

3. 既にかかったことがあるか、ワクチン接種をうけたことがあるか、母子手帳やご家族に確認してください。わからない方は、抗体検査による確認や予防のためのワクチン接種を受けてください。

2008.4.23 発行 アナフィラキシーショックに注意！

一般にアナフィラキシーはアレルギー反応の中でも急激に症状が悪化し、呼吸困難やシビレなどを伴うものをさします。原因物質（抗原）が体内で肥満細胞などにくっつき、肥満細胞が放出する化学物質が全身の臓器に作用して起こります。

原因 薬物投与、食物、農薬・保存料・添加物、ハチ刺され、食後すぐの激しい運動など

例「ケーキを食べた子どもが、急に呼吸困難になって倒れた」

「抗生物質を投与された男性が、体中にジンマシンがでて苦しみだした」

「ハチに刺された女性が、全身が腫れて倒れた」

症状 ・吐き気 ・せき ・全身の発疹 ・血圧低下 ・呼吸困難→死に至る

治療 重篤の場合は、気道確保、エピネフリン・ステロイド投与など一刻を争う治療が必要です。苦しがついたら、すぐに救急車を呼んでください。また症状が軽く治まっても、しばらくしてから悪化する場合がありますので、必ず病院を受診して下さい。 参考：<http://www.naoru.com/anafirakisi.htm>

2008.7.4 発行 “癌検診のススメ” 子宮頸がんは 100% 予防できる！

皆さん、子宮頸がん検診を受けたことがありますか？松江市では 20 歳からの子宮頸がん検診が実施されていますので、大学生の多くは対象者です。しかし日本における検診受診者は 23.7%にしかすぎず、アメリカ 82.6%、フランス 74.9%と比べても低いです。「私にはかかるはずがない」と思っていないですか。最近若い人の子宮頸がんが増えてきました。子宮頸がんは他人事ではありません。

A 子さんの場合・・・21 歳 大学生

「松江市から子宮がん検診のハガキがきていたよ。」とお母さんに言われ、勇気を出して婦人科を受診しました。医師は「超音波検査で子宮・卵巣に異常はありません。性交経験があるので子宮頸がん検診をしました。」と言われました。「あつという間に終わった。」と思っていたら 2 週間後に異常があると言われ、驚いています。

解説：子宮頸がん検診は、頸部の細胞を染色し顕微鏡で見ます。A 子さんは子宮の入り口を削り取る子宮頸部円錐切除術が必要で約 3 日入院しました。円錐切除術の結果、前がん状態でした。

A 子さん：異常といわれてショックだったけれど、「簡単な手術で子宮も残ります。妊娠もできます。」と言われ安心しました。今診を受けて早く見つかって良かったです。友達にもぜひ勧めます。

解説：子宮頸がんは HPV(ヒトパピローマウイルス) というウイルスが原因です。HPV はとてもありふれていて、1 度でもセックスの経験のある女性なら、だれでも感染する可能性があります。感染しても自覚症状はほとんどありません。最近セックスの開始年齢が早くなったので、若い人の子宮頸がんが増えているのです。

ほとんどの女性が一生に一度は HPV に感染するといわれ、そのうちの 10 人に 9 人は免疫力でウイルスを追い出すため、1~2 年で自然に HPV が消えます。しかしまれに HPV に感染した状態が長く続くと、細胞が変化を起こす（異形成）ことがあります。異形成になっても、多くの場合自然に正常に戻りますが、中には異形成が強くなり、さらに進行すると癌細胞に変化してしまうこともあります。HPV に感染してから子宮頸がんになるまでは、平均 10 年くらいかかるので、HPV に感染した段階や、細胞が変化を起こした段階で早く気づいて、進行しないかどうか、しっかり見張っておくことが大切です。

子宮頸がんは、がんになる前の異形成の段階で発見すると、経過観察を行い、異形成の程度が強くなる場合には子宮頸部円錐切除という簡単な手術でほぼ 100% 治すことができます。定期的に検診を受けていれば進行がんになってしまってから発見ということはほとんどありません。定期検診を受けることが、**誰にでもできる最善の予防法**です。

参考：子宮頸がんを考える市民の会冊子

保健管理センターでは子宮頸がん検診のご案内をしております。いつでもご遠慮なくご相談ください。

3. カルト対策

平成 19 年 1 月 20 日に、学生委員長を対象に広島大学 内野悌司助教授の「大学キャンパスにおけるカルト問題について—既にカルト集団へ入会している学生に対する対応について」の講演会を行った。平成 19 年度より新入生を対象にカルト対策として「カルトに注意！」をうながすプリントを配布した。平成 20 年 2 月 28 日には教職員を対象に広島でカルト脱会活動に精力的に取り組んでおられる高山正治牧師による「大学キャンパスにおけるカルト問題について—脱会支援の現場から—」の講演会を行った。

4. ハラスメント防止活動

平成 19 年度から 20 年にかけてハラスメント防止活動として、全学教職員に対して早瀬眞知子特任講師による講義およびロールプレイ（一部）をおこなった。

平成 19 年 8 月 27 日 教育学部附属小・中学校、幼稚園

平成 19 年 9 月 5 日 医学部

平成 19 年 9 月 19 日 総合理工学部

平成 19 年 10 月 24 日 生物資源科学部

平成 19 年 11 月 21 日 法文学部

平成 19 年 11 月 28 日 法科大学院

平成 21 年 1 月 21 日～23 日（3 回） 事務職員、センター職員

平成 21 年 1 月 28 日 教育学部

5. 発達障がい研修

発達障がいについて、学部教授会などで荒川長巳教授と早瀬眞知子特任講師による講義をおこなった。

平成 19 年 1 月 31 日 総合理工学部

平成 19 年 6 月 20 日 法文学部

平成 19 年 7 月 25 日 生物資源科学部

平成 19 年 11 月 19 日 学生センター

平成 19 年 11 月 30 日 学生センター

平成 19 年 12 月 13 日 外国語センター

6. 緊急支援

i. 自殺への対応

- ① 平成 16 年 10 月 学部棟で学生の自殺があり、教員・学生に対して緊急支援を行った。職員が PTSD になり、その後半年にわたって診療した。
- ② 平成 17 年 5 月 学生の自殺があり、同級生らに対して緊急支援を行った。
- ③ 平成 19 年 5 月 教員が学内において自殺し、学生に対して緊急支援を行った。
- ④ 平成 20 年 6 月 学生の自殺があり、学生に対して緊急支援を行った。

島根大学保健管理センター（松江キャンパス）が把握している学生の自殺について～

島根県内における 10 代～20 代の自殺者数は、平成 16 年 23 人（男子 17 人、女子 6 人）、平成 17 年 16 人（男子 15 人、女子 1 人）、平成 18 年 24 人（男子 18 人、女子 6 人）、平成 19 年 28 人（男子 23 人、女子 5 人）、平成 20 年 22 人（男子 19 人、女子 3 人）で、男子が多い（島根県障害福祉課の資料より）。大学生は住民票を移していない場合もあり正確な数は困難であるが、保健管理センター松江が把握している学生は平成 16 年から 20 年度で 6 人であった。大学における学生の自殺は、遺族の意向によって死因がふせられる場合も多く、急死というのみで状況が不明なこともあるが、保健管理センターでは、緊急支援や残された学生のケアにたずさわる場合がある。

内野*による大学生の自殺および未遂事例の調査では、その特徴として「性格面で①生真面目で完全癡が極端に強く融通が利きにくい。②人付き合いが苦手で、孤立しがちである。③自己不全感が強く悲観的で抑うつ傾向が強い。④不安・衝動統制が低く自己破壊的衝動が強い。⑤自分から援助を求められない。⑥家族からの支援や介入に拒絶的である。状況面では、①学業において取得単位数が極端に少ない。②履修届けが未提出である。③他者からはそれほど深刻に悩まなくても大丈夫と言われていても、本人は強いプレッシャーを感じ、気に病んでいる現実的問題をもつ。④喪失体験に悲嘆を感じている。⑤友人や家族など周囲の人に悩みや問題を隠し、本人は孤立し、問題が遷延化、深刻化した事態にある。⑥チューター（高校までの担任のような役割の教員）や指導教員との関係が希薄である。」と述べられている。

現在、島根大学保健管理センター松江では、「健康・スポーツ科学概論Ⅱ」において「自殺について」の講義を行っているが、全学的な防止プログラムは出来ていない。今後、Caplan の予防概念を用い、自殺に対する一次予防（Prevention；予防）、二次予防(Intervention；介入)、三次予防（Postvention；事後対応）を考慮した自殺予防プログラム実施が必要であると考えられる。

*内野悌司；大学生の自殺予防．精神療法第 32 号第 5 巻, P560-567, 2006

ii. 事故への対応

平成 21 年 2 月 3 日に学内で起きた硫化水素ガス事故において緊急支援を行った。

硫化水素ガス事故における緊急支援について

- 【目的】 事故に関係した職員のうち、ストレスのある職員を把握し、こころのケアをする
- 【方法】 ・面接
・IES-R(出来事インパクト指数)のチェックリスト実施
- 【実施日】 2009 年 2 月 6 日 (面接) ～ 2 月 20 日 (報告)
- 【内容】 ・2 月 3 日に起きた硫化水素ガス流出事故に関して、それに関わった職員は大きなストレスを抱えている可能性があったため、廃液処理にあたった職員と、その第一報を受けた上司の個人面接を行った。
・他の職員においても、日常業務とは違う負荷がかかったためのストレスが大きいと考え、こころの健康を保つためのメンタル・ケアとしてデブリーフィング、IES-R を実施した。
- 【結果】 ・個人面接：2 名
・集団面接 (デブリーフィング)：5 名
事実、思考、反応、ストレス症状などを一人一言ずつ語ってもらい、その時の状況を共有し、感情や感覚を理解しあえるようにした。会の半ばから徐々にリラックスした様子が見えてきた。
- 【IES-R の実施】 ・面接に来られなかった人に対し IES-R を配布し、提出してもらった。
- 【IES-R の結果】 ・回答者：24 名 (男 17 名、女 7 名) 平均年齢：44.8 歳
・IES-R の平均は 10.1 点 (最高 55 点、最低 0 点)
・カットオフポイント以上が 4 名 (男 3 名、女 1 名)
- 【まとめ】 ・全体的には事故について、冷静に受け止め、特段のストレスは感じていない。
・カットオフポイント以上が 4 名がいた。今後は徐々に落ち着いてくると思われるが、しばらくは負荷のかかるような状況を作らないよう、管理者に報告した。
- 【対応】 ・ストレスの高い人については、日々の状況を的確に把握することが必要で、こころを開かせ、ありのままの状況を聞き取ることが出来ることは、適切な対処の第一歩となる。
・しかし、上司は勤務評価や、雇用の継続についても権利を持っているという現実もあるので、部下が警戒心や不安感を持つことも多い。上司にそのつもりがなくても、上司の一言が思いのほかプレッシャーになり、ストレスを加えてしまうこともありうる。
・体の不調に注目し、早期に対応する。

(以上、大学への報告文である)

1. はじめに

地下鉄サリン事件や阪神大震災などの犯罪や自然災害以来、非常に強い心的なストレス、ショックな出来事を経験した場合、その体験が過ぎ去ってもそのことが記憶の中に残り、精神的な影響を与え続けることがあるという事が広く知られてきた。その精神的な後遺症はトラウマと呼ばれ、精神的な変調をトラウマ反応と呼んでおり、精神的な疾患として PTSD (Post Traumatic Stress Disorder=心的外傷後ストレス症候群) がある。

【トラウマ体験への多様な心理的な反応】

| 種類 | 内容 | 影響 | 結果 |
|--------------|--|---|--|
| PTSD 症状 | 侵入、過覚醒、麻痺 | 短期間でも自然に軽快する場合もあるが、一部は慢性化。また潜伏期間を経て発症することもある。 | ASD、PTSD |
| 感情の変化 | 抑うつ、悲哀、怒り、あせり、無力感 罪責感 (サバイバーズ・ギルト、ジョン・ウェイン症候群など) 不安の身体症状として不眠・食欲低下 動悸、ふるえ、発汗、呼吸困難、しびれ | 行動の一貫性のなさ 対人関係への感情の投影 必要な治療、支援の拒否 自傷好意、スケープゴート探し 援助者への怒りの転移 | 慢性的な悲嘆反応 人格障害 (境界型など) との誤認 対人関係の障害 |
| 対人関係の変化 | 社会と自分への信頼の喪失 体験の意味づけの困難 生活基盤の破壊による活動範囲の狭まり (一部は感情反応の影響による) | 職業への支障 交友関係の減少 経済的困難の増大 家族葛藤の増幅 | 引きこもり 社会的不適応 |
| 付) 一般的な精神疾患* | 気分障害 (うつ病など)、不安性障害、短期精神病性障害、転換性障害、妄想反応 既往の精神疾患の再発または治療中断による悪化、アルコール類の不足による依存症患者の離脱症状など | | |

(* 一般的な精神疾患については、トラウマ反応それ自体ではないが、トラウマ状況をきっかけとして生じうる)
(心的トラウマの理解とケア 金吉晴編集 じほう)

2. 緊急支援対応の必要性

危機的な出来事を身近に経験するとトラウマ反応などが見られる。これは「異常な」事態に直面した際の「正常な」反応である。適切な時期に適切に介入すれば大半はしばらくすると落ち着いてくる。しかし、適切な介入がないと先に述べたような PTSD 等となって、長期間にわたって大きな影響を及ぼすことにもなりかねない。

大学での緊急支援の対応は、事件、事故などの発生後 24 時間から 72 時間といった時期に、そのことで混乱している人々 (教職員、学生ら) を対象に、事件に関する認知、感情を言語化し表現する機会と、危機的な状況に直面した際に人々が共通して起こす反応とそれに対する対処方法についての情報を与えることを主たる目的として行う。

3. これまでに対応した事例

現在のところ、すべての危機的な出来事に対し保健管理センターがケアが対応を行う体制はできていない。しかし、新聞等に取り上げられるような場合は、保健管理センターから対応の必要性を必要部署に連絡した。また、大学内での自殺後に、こころのケアを配慮される教職員から連絡を受け、対応してきた。

4. ヒヤリハットに気づく

退学を選択する学生の中に、犯罪被害者と呼ばれるような学生がいる。性暴力に巻き込まれていたと推測されたり、悪徳商法にひっかかってお金を多額にゆすられたりしていたのではないかと、思ったりするが、支援やケアが行き届かず一人悩んで退学したケースもある。様子が急に変わったり、出席率が急に落ちたりした場合など、まず気づくことで、相談できるところにつなぎ支援できる場合がある。

5. これから

今後、こころの緊急支援の必要性を理解してもらい大学の安全管理のフローチャートの中に位置づけてもらいたい。

7. その他

学内の要請に応じて教員対象に講義を行った。

平成 20 年 2 月 29 日 島根大学労組女性部「女性のかかりやすい病気」 河野美江

平成 20 年 6 月 18 日 法文学部教授会 「学生のうつ病について」 荒川長巳

出雲キャンパス

I : 事業・業務報告

○平成 16 年度

| 月 | 行 事 | 内 容 | 備 考 |
|------|--|--|--|
| 4 月 | 新入生オリエンテーション (4/8) 新入生健康調査 新入生心理テスト 学生定期健康診断 (4/14・21・28) | 「保健管理センターのしおり」を配布し、概要及び利用の仕方を説明する。 健康管理カードの提出により、大学生活における健康管理に必要な資料として用いる。 CMI 健康調査表 胸部 X 線直接撮影 | 医学科 1 年・3 年次編入生 看護学科 1 年・3 年次編入生 医学科 1 年・3 年次編入生 看護学科 1 年・3 年次編入生 医学・看護学科 1 年 医学科 1・4・6 年 看護学科 1・3・4 年 編入生・大学院生 |
| 5 月 | 学生定期健康診断 (5/19・26) HBs 抗原・抗体、HCV 抗体検査、 麻疹・風疹・ムンプス・水痘抗体検査 | 身体測定・尿検査・血圧測定・内科・ 耳鼻咽喉科・眼科検診 | 医学部学生・大学院生 看護学科 2 年・3 年次編入生 |
| 6 月 | 学生定期健康診断事後措置 B 型肝炎ワクチン接種 | 尿・血圧の再検査、要精検者への受 診勧奨、保健指導 看護学科 2 年・3 年次編入生 1 回目 | 医学部学生・大学院生 |
| 7 月 | 骨密度測定 B 型肝炎ワクチン接種 健康教室(西医体対策) | 医学科 5 年 3 回目 看護学科 2 年・3 年次編入生 2 回目 テーピング講習会 | 学生希望者 体育会系学生 |
| 8 月 | 第 34 回中国・四国大学保健管理 研究集会(高松市 8/25～27) 看護学科入学者選抜 | 救護 | |
| 9 月 | 学生特別定期健康診断 (結核検診) 第 13 回島根学生相談研究会 医学科入学者選抜(学士入学) | ツベルクリン反応検査(2 段階法) 救護 | 医学科 5 年 |
| 10 月 | 学生特別定期健康診断 (結核検診) (10～11 月) 第 42 回全国大学保健管理研究集 会(大阪市 10/6～7) | ツベルクリン反応検査(2 段階法) | 看護学科 2 年・3 年次編入生 |
| 11 月 | 外国人研究留学生・外国人研究者 健康診断 インフルエンザワクチン接種 (11 月～12 月) | 希望者 | 外国人研究留学生、外国 人研究者 医学科 5・6 年 看護学科 3・4 年 |
| 12 月 | B 型肝炎ワクチン接種 入学者選抜(推薦入学) | 看護学科 2 年・3 年次編入生 3 回目 救護 | |
| 1 月 | 大学入試センター試験 HBs 抗原・抗体、HCV 抗体検査 B 型肝炎ワクチン接種 | 救護 医学科 4 年 1 回目 | 医学科 4 年 |
| 2 月 | 入学者選抜(前期日程試験) B 型肝炎ワクチン接種 精神保健懇話会 第 14 回島根学生相談研究会 | 救護 医学科 4 年 2 回目 | |
| 3 月 | 入学者選抜(後期日程試験) 全国大学保健管理協会中国・四国 地方部会幹事会(岡山市) | 救護 | |

【 年間を通しての業務 】

1. センター出雲会議 月 1 回
2. 日常の健康相談 (身体面及びこころの健康相談)
3. 応急処置
4. 医療機関 (専門医) への紹介
5. こころの健康相談 (定例) 安田医師 (学校医・精神科神経科) 週 1 回、和田カウンセラー 週 2 回
6. 健康診断書の発行
7. 休養室の利用
8. 救急カバンの貸し出し
9. 機器の利用案内 (体内脂肪計・血圧計・視力計等)

○平成 17 年度

| 月 | 行 事 | 内 容 | 備 考 |
|------|--|--|--|
| 4 月 | 新入生オリエンテーション (4/8) 新入生健康調査 新入生心理テスト 学生定期健康診断 (4/13・20・27) | 「保健管理センターのしおり」を配布し、概要及び利用の仕方を説明する。 健康管理カードの提出により、大学生活における健康管理に必要な資料として用いる。 CMI 健康調査表 胸部 X 線直接撮影 | 医学科 1 年・3 年次編入生 看護学科 1 年・3 年次編入生 医学科 1 年・3 年次編入生 看護学科 1 年・3 年次編入生 医学・看護学科 1 年 医学科 1・4・6 年 看護学科 1・3・4 年 編入生、大学院生 |
| 5 月 | 学生定期健康診断 (5/11・25) HBs 抗原・抗体、HCV 抗体検査、 麻疹・風疹・ムンプス・水痘抗体検査 | 身体測定・尿検査・血圧測定・内科・ 耳鼻咽喉科・眼科検診 | 医学部学生・大学院生 看護学科 2 年・3 年次編入生 |
| 6 月 | 学生定期健康診断事後措置 HBs 抗原・抗体、HCV 抗体検査 B 型肝炎ワクチン接種 健康教室(西医体対策) | 尿・血圧の再検査、要精検者への受 診勧奨、保健指導 医学科 4 年 1 回目 看護学科 2 年・3 年次編入生 1 回目 テーピング講習会 | 医学部学生・大学院生 医学科 4 年 体育会系学生 |
| 7 月 | 骨密度測定 B 型肝炎ワクチン接種 | 医学科 4 年 2 回目 医学科 5 年 3 回目 看護学科 2 年・3 年次編入生 2 回目 | 学生希望者 |
| 8 月 | 第 35 回中国・四国大学保健管理 研究集会(松江市 8/24～26) 看護学科入学者選抜 | 救護 | |
| 9 月 | 学生特別定期健康診断 (結核検診) 医学科入学者選抜(学士入学) | ツベルクリン反応検査(2 段階法) 救護 | 医学科 5 年 |
| 10 月 | 学生特別定期健康診断 (結核検診) (10～11 月) 第 43 回全国大学保健管理研究集 会(山形市 10/19～20) | ツベルクリン反応検査(2 段階法) | 看護学科 2 年・3 年次編入生 大学院 1 年 |
| 11 月 | 外国人研究留学生・外国人研究者 健康診断 インフルエンザワクチン接種 (11 月～12 月) | 希望者 | 外国人研究留学生、外国 人研究者 医学科 5・6 年 看護学科 2・3・4 年 |
| 12 月 | B 型肝炎ワクチン接種 入学者選抜(推薦入学) | 医学科 4 年 3 回目 看護学科 2 年・3 年次編入生 3 回目 救護 | |
| 1 月 | 大学入試センター試験 学生特別定期健康診断 (結核検診) (1～2 月) | 救護 ツベルクリン反応検査(2 段階法) | 医学科 4 年 |
| 2 月 | 入学者選抜(前期日程試験) | 救護 | |
| 3 月 | 入学者選抜(後期日程試験) 全国大学保健管理協会中国・四国 地方部会幹事会(岡山市) 第 15 回島根学生相談研究会 | 救護 | |

【 年間を通しての業務 】

- センター出雲会議 月 1 回
- 日常の健康相談 (身体面及びこころの健康相談)
- 応急処置
- 医療機関 (専門医) への紹介
- こころの健康相談 (定例) 山本医師 (精神科) 月 2 回
和田カウンセラー週 1 回、早瀬カウンセラー週 1 回
- 健康診断書の発行
- 休養室の利用
- 救急カバンの貸し出し
- 機器の利用案内 (体内脂肪計・血圧計・視力計等)

○平成 18 年度

| 月 | 行 事 | 内 容 | 備 考 |
|------|---|--|---|
| 4 月 | 新入生オリエンテーション (4/6) 新入生健康調査 新入生心理テスト 学生定期健康診断 (4/12・21・26) | 「保健管理センターのしおり」を配布し、概要及び利用の仕方を説明する。 健康管理カードの提出により、大学生活における健康管理に必要な資料として用いる。 CMI 健康調査表 胸部 X 線直接撮影 | 医学科 1 年・3 年次編入生 看護学科 1 年・3 年次編入生 医学科 1 年・3 年次編入生 看護学科 1 年・3 年次編入生 医学・看護学科 1 年 医学科 1・3・6 年 看護学科 1・3・4 年・大学院生 |
| 5 月 | 学生定期健康診断 (5/17) 学生定期健康診断 (5/10・19・24) HBs 抗原・抗体、HCV 抗体検査、 麻疹・風疹・ムンプス・水痘抗体検査 | 胸部 X 線直接撮影 身体測定・尿検査・血圧測定・内科・ 耳鼻咽喉科・眼科検診 | 医学科 5 年 医学部学生・大学院生 看護学科 2 年・3 年次編入生 |
| 6 月 | 学生定期健康診断事後措置 HBs 抗原・抗体、HCV 抗体検査 B 型肝炎ワクチン接種 健康教室(西医体対策) | 尿・血圧の再検査、要精検者への受診勧奨、保健指導 医学科 4 年 1 回目 看護学科 2 年・3 年次編入生 1 回目 テーピング講習会 | 医学部学生・大学院生 医学科 4 年 体育会系学生 学生希望者 |
| 7 月 | 骨密度測定 B 型肝炎ワクチン接種 | 医学科 4 年 2 回目 看護学科 2 年・3 年次編入生 2 回目 | |
| 8 月 | 第 36 回中国・四国大学保健管理 研究集会(徳島市 8/23～25) 看護学科入学者選抜 | 救護 | |
| 9 月 | 医学科入学者選抜(学士入学) | 救護 | |
| 10 月 | 学生特別定期健康診断 (結核検診) (10 月～11 月) 外国人研究留学生・外国人研究者 健康診断 第 44 回全国大学保健管理研究集 会(東京都 10/11～12) | ツベルクリン反応検査(2 段階法) | 看護学科 2 年・3 年次編入生 大学院生 1 年 外国人研究留学生・外国人 研究者 |
| 11 月 | インフルエンザワクチン接種 (11 月～12 月) | 希望者 | 医学科 5・6 年 看護学科 2・3・4 年 |
| 12 月 | 入学者選抜(推薦入学) B 型肝炎ワクチン接種 | 救護 医学科 4 年 3 回目 看護学科 2 年・3 年次編入生 3 回目 | |
| 1 月 | 学生特別定期健康診断 (結核検診) (1 月～2 月) 大学入試センター試験 | ツベルクリン反応検査(2 段階法) 救護 | 医学科 4 年 |
| 2 月 | 入学者選抜(前期日程試験) | 救護 | |
| 3 月 | 入学者選抜(後期日程試験) HBs 抗原・抗体、HCV 抗体検査、 麻疹・風疹・ムンプス・水痘抗体検査 全国大学保健管理協会中国・四国 地方部会幹事会(岡山市) 第 16 回島根学生相談研究会 | 救護 | 医学科 3 年 |

【 年間を通しての業務 】

- センター出雲会議 月 1 回
- 日常の健康相談 (身体面及びこころの健康相談)
- 応急処置
- 医療機関 (専門医) への紹介
- こころの健康相談 (定例) 山本医師 (精神科) 月 2 回
和田カウンセラー週 1 回、早瀬カウンセラー月 2 回
- 健康診断書の発行
- 休養室の利用
- 救急カバンの貸し出し
- 機器の利用案内 (体内脂肪計・血圧計・視力計等)

○平成 19 年度

| 月 | 行 事 | 内 容 | 備 考 |
|------|---|---|--|
| 4 月 | <p>新入生刈エンテーション (4/5)</p> <p>新入生健康調査</p> <p>新入生心理テスト</p> <p>学生定期健康診断 (4/11・20)</p> | <p>「保健管理センターのしおり」を配布し、概要及び利用の仕方を説明する。</p> <p>健康管理カードの提出により、大学生活における健康管理に必要な資料として用いる。</p> <p>CMI 健康調査表</p> <p>胸部 X 線直接撮影</p> | <p>医学科 1 年・3 年次編入生</p> <p>看護学科 1 年・3 年次編入生</p> <p>医学科 1 年・3 年次編入生</p> <p>看護学科 1 年・3 年次編入生</p> <p>医学・看護学科 1 年</p> <p>医学科 1・6 年</p> <p>看護学科 1・3・4 年・大学院生</p> |
| 5 月 | <p>学生定期健康診断 (5/11・16)</p> <p>学生定期健康診断 (5/9・18・23)</p> <p>麻疹・風疹・ムンプス・水痘抗体検査</p> <p>HBs 抗原・抗体、HCV 抗体検査、</p> <p>麻疹・風疹・ムンプス・水痘抗体検査</p> | <p>胸部 X 線直接撮影</p> <p>身体測定・尿検査・血圧測定・内科・耳鼻咽喉科・眼科検診</p> | <p>医学科 3・5 年</p> <p>医学部学生・大学院生</p> <p>医学科 5・6 年</p> <p>看護学科 2 年・3 年次編入生</p> |
| 6 月 | <p>学生定期健康診断事後措置</p> <p>B 型肝炎ワクチン接種</p> <p>健康教室(西医体対策)</p> | <p>尿・血圧の再検査、要精検者への受診勧奨、保健指導</p> <p>医学科 4 年 1 回目</p> <p>看護学科 2 年・3 年次編入生 1 回目</p> <p>テーピング講習会</p> | <p>医学部学生・大学院生</p> <p>体育会系学生</p> |
| 7 月 | <p>B 型肝炎ワクチン接種</p> <p>骨密度測定</p> | <p>医学科 4 年 2 回目</p> <p>看護学科 2 年・3 年次編入生 2 回目</p> | <p>学生希望者</p> |
| 8 月 | <p>第 37 回中国・四国大学保健管理研究集会(広島市 8/22～24)</p> <p>看護学科入学者選抜</p> | <p>救護</p> | |
| 9 月 | <p>HBs 抗原・抗体、HCV 抗体検査、</p> <p>麻疹・風疹・ムンプス・水痘抗体検査</p> <p>第 17 回島根学生相談研究会</p> <p>医学科入学者選抜(学士入学)</p> | <p>救護</p> | <p>医学科 3 年</p> |
| 10 月 | <p>学生特別定期健康診断(結核検診) (10 月～11 月)</p> <p>HBs 抗原・抗体、HCV 抗体検査、</p> <p>麻疹・風疹・ムンプス・水痘抗体検査</p> <p>外国人留学生(研究生)・外国人研究者健康診断</p> <p>第 45 回全国大学保健管理研究集会(別府市 10/10～11)</p> | <p>ツベルクリン反応検査(2 段階法)</p> | <p>看護学科 2 年・3 年次編入生</p> <p>大学院生 1 年</p> <p>看護学科 1 年</p> <p>外国人留学生・外国人研究者</p> |
| 11 月 | <p>インフルエンザワクチン接種 (11～12 月)</p> | <p>希望者</p> | <p>医学科 5・6 年</p> <p>看護学科 2・3・4 年</p> |
| 12 月 | <p>B 型肝炎ワクチン接種</p> <p>入学者選抜(推薦入学)</p> | <p>看護学科 2 年・3 年次編入生 3 回目</p> <p>救護</p> | <p>医学科 4 年 3 回目</p> |
| 1 月 | <p>大学入試センター試験</p> <p>学生特別定期健康診断(結核検診) (1 月～2 月)</p> <p>B 型肝炎ワクチン接種</p> | <p>救護</p> <p>ツベルクリン反応検査(2 段階法)</p> <p>看護学科 1 年 1 回目</p> | <p>医学科 4 年</p> |
| 2 月 | <p>入学者選抜(前期日程試験)</p> <p>B 型肝炎ワクチン接種</p> | <p>救護</p> <p>看護学科 1 年 2 回目</p> | <p>医学科 3 年 1 回目</p> |
| 3 月 | <p>入学者選抜(後期日程試験)</p> <p>B 型肝炎ワクチン接種</p> <p>全国大学保健管理協会中国・四国地方部会幹事会(岡山市)</p> <p>第 18 回島根学生相談研究会</p> | <p>救護</p> <p>医学科 3 年 2 回目</p> | |

【年間を通しての業務】

1. センター出雲会議 月 1 回
2. 日常の健康相談 (身体面及びこころの健康相談)
3. 応急処置
4. 医療機関 (専門医) への紹介
5. こころの健康相談 (定例) 和田カウンセラー週 1 回、早瀬カウンセラー月 2 回
6. 健康診断書の発行
7. 休養室の利用
8. 救急カバンの貸し出し
9. 機器の利用案内 (体内脂肪計・血圧計・視力計等)

○平成 20 年度

| 月 | 行 事 | 内 容 | 対 象 者 |
|------|---|---|--|
| 4 月 | <p>新入生刈エンテーション (4/3)</p> <p>新入生健康調査</p> <p>新入生心理テスト 学生定期健康診断 (4/9・18)</p> <p>学生定期健康診断 (4/23)</p> <p>HBs 抗原・抗体、HCV 抗体検査、 麻疹・風疹・ムンプス・水痘抗体検査</p> | <p>「保健管理センターのしおり」を配布し、概要及び利用の仕方を説明する。</p> <p>健康管理カードの提出により、大学生活における健康管理に必要な資料として用いる。</p> <p>ACS 健康調査表 胸部 X 線直接撮影</p> <p>身体測定・尿検査・血圧測定・内科・耳鼻咽喉科・眼科検診</p> | <p>医学科 1 年・3 年次編入生 看護学科 1 年・3 年次編入生</p> <p>医学科 1 年・3 年次編入生 看護学科 1 年・3 年次編入生</p> <p>医学科・看護学科 1 年 医学科 1・6 年 看護学科 1・3・4 年・大学院生 医学部学生・大学院生</p> <p>看護学科・3 年次編入生</p> |
| 5 月 | <p>学生定期健康診断 (5/9・14)</p> <p>学生定期健康診断 (5/16・21)</p> | <p>胸部 X 線直接撮影 身体測定・尿検査・血圧測定・内科・耳鼻咽喉科・眼科検診</p> | <p>医学科 3・5 年 医学部学生・大学院生</p> |
| 6 月 | <p>学生定期健康診断事後措置</p> <p>健康教室(西医体対策)</p> | <p>尿・血圧の再検査、要精検者への受診勧奨、保健指導 テーピング講習会</p> | <p>医学部学生・大学院生 体育会系学生</p> |
| 7 月 | <p>学生定期健康診断事後措置</p> <p>B 型肝炎ワクチン接種</p> <p>骨密度測定</p> | <p>尿・血圧の再検査、要精検者への受診勧奨、保健指導 医学科 4 年・看護学科 2 年 3 回目 看護学科 3 年次編入生 1・2 回目</p> | <p>医学部学生・大学院生 学生希望者</p> |
| 8 月 | <p>第 38 回中国・四国大学保健管理研究集会(高知市 8/27～29)</p> <p>看護学科入学者選抜</p> | <p>救護</p> | |
| 9 月 | <p>HBs 抗原・抗体、HCV 抗体検査、 麻疹・風疹・ムンプス・水痘抗体検査 医学科入学者選抜(学士入学) 平成 20 年度無床診療所立入検査</p> | <p>第 2 次・第 3 次選抜試験 救護</p> | <p>医学科 2 年</p> |
| 10 月 | <p>HBs 抗原・抗体、HCV 抗体検査、 麻疹・風疹・ムンプス・水痘抗体検査 外国人留学生(研究生)・外国人研究者健康診断 第 46 回全国大学保健管理研究集会(京都市 10/29～30)</p> | | <p>医学科 3 年 外国人留学生・外国人研究者</p> |
| 11 月 | <p>インフルエンザワクチン接種 (11～12 月)</p> <p>HBs 抗原・抗体、HCV 抗体検査、 麻疹・風疹・ムンプス・水痘抗体検査</p> | <p>希望者</p> | <p>医学科 5・6 年 看護学科 2・3・4 年 医学科 1 年・看護学科 1 年</p> |
| 12 月 | <p>学生特別定期健康診断(結核検診) 入学者選抜(推薦入学) 第 19 回島根学生相談研究会</p> | <p>ツベルクリン反応検査(2 段階法) 救護</p> | <p>看護学科 2 年・3 年次編入生・ 大学院生 1 年</p> |
| 1 月 | <p>学生特別定期健康診断(結核検診) B 型肝炎ワクチン接種 大学入試センター試験</p> | <p>ツベルクリン反応検査(2 段階法) 医学科 2 年・看護学科 1 年 1 回目 救護</p> | <p>医学科 4 年</p> |
| 2 月 | <p>B 型肝炎ワクチン接種 入学者選抜(前期日程試験)</p> | <p>医学科 2 年・看護学科 1 年 2 回目 救護</p> | <p>医学科 3 年 1 回目</p> |
| 3 月 | <p>B 型肝炎ワクチン接種 入学者選抜(後期日程試験) 全国大学保健管理協会中国・四国 地方部会幹事会(岡山市)</p> | <p>医学科 3 年 2 回目 救護</p> | |

【年間を通しての業務】

1. センター出雲会議 月 1 回
2. 日常の健康相談 (身体面及びこころの健康相談)
3. 応急処置
4. 医療機関 (専門医) への紹介
5. こころの健康相談 (定例) 和田カウンセラー週 1 回、早瀬カウンセラー月 2 回
6. 健康診断書の発行
7. 休養室の利用
8. 救急カバンの貸し出し
9. 機器の利用案内 (体内脂肪計・血圧計・視力計等)

Ⅱ：保健管理業務

1. 健康診断および事後措置

① 医学部学生定期健康診断

○平成 16 年度

1. 受診率 医学科

①内科・耳鼻咽喉科・眼科検診（平成 16 年 5 月 19 日・26 日実施）（対象者数は休学者を除く）

| 学 年 | | 1 年 | 2 年 | 3 年 | 4 年 | 5 年 | 6 年 | 計 |
|-----|---------|------|------|------|------|------|-------|------|
| 男子 | 対象者数(人) | 52 | 52 | 53 | 50 | 54 | 53 | 314 |
| | 受診者数(人) | 50 | 50 | 50 | 40 | 50 | 50 | 290 |
| | 受診率(%) | 96.2 | 96.2 | 94.3 | 80.0 | 92.6 | 94.3 | 92.4 |
| 女子 | 対象者数(人) | 33 | 45 | 49 | 45 | 43 | 37 | 252 |
| | 受診者数(人) | 32 | 42 | 47 | 41 | 39 | 37 | 238 |
| | 受診率(%) | 97.0 | 93.3 | 95.9 | 91.1 | 90.7 | 100.0 | 94.4 |
| 計 | 対象者数(人) | 85 | 97 | 102 | 95 | 97 | 90 | 566 |
| | 受診者数(人) | 82 | 92 | 97 | 81 | 89 | 87 | 528 |
| | 受診率(%) | 96.5 | 94.8 | 95.1 | 85.3 | 91.8 | 96.7 | 93.3 |

※耳鼻咽喉科・眼科検診の対象者・・・医学科 1 年・6 年

②胸部 X 線直接撮影（平成 16 年 4 月 14 日・21 日・28 日実施）（対象者数は休学者を除く）

| 学 年 | | 1 年 | 2 年 | 3 年 | 4 年 | 5 年 | 6 年 | 計 |
|-----|---------|-------|-----|-----|------|-----|------|------|
| 男子 | 対象者数(人) | 52 | | | 50 | | 53 | 155 |
| | 受診者数(人) | 52 | | | 42 | | 45 | 139 |
| | 受診率(%) | 100.0 | | | 84.0 | | 84.9 | 89.7 |
| 女子 | 対象者数(人) | 33 | | | 45 | | 37 | 115 |
| | 受診者数(人) | 33 | | | 44 | | 34 | 111 |
| | 受診率(%) | 100.0 | | | 97.8 | | 91.9 | 96.5 |
| 計 | 対象者数(人) | 85 | | | 95 | | 90 | 270 |
| | 受診者数(人) | 85 | | | 86 | | 79 | 250 |
| | 受診率(%) | 100.0 | | | 90.5 | | 87.8 | 92.6 |

※胸部 X 線撮影の対象者・・・医学科 1 年・4 年・6 年

2. 健診結果

①判定区分

人数 (%)

| 学年 | | 1 年 | 2 年 | 3 年 | 4 年 | 5 年 | 6 年 | 計 |
|------|-------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|----------------|
| 判定区分 | 要治療 | 1(1.2) | 1(1.1) | 0 | 3(3.7) | 0 | 0 | 5(0.9) |
| | 要精検 | 13(15.9) | 12(13.0) | 15(15.5) | 5(6.2) | 8(9.0) | 8(9.2) | 61(11.6) |
| | 治療中 | 0 | 2(2.2) | 2(2.1) | 1(1.2) | 4(4.5) | 6(6.9) | 15(2.8) |
| | 要経過観察 | 16(19.5) | 12(13.0) | 12(12.4) | 10(12.3) | 15(16.9) | 15(17.2) | 80(15.2) |
| | 措置要せず | 10(12.2) | 3(3.3) | 2(2.1) | 5(6.2) | 7(7.9) | 9(10.3) | 36(6.8) |
| | 計 | 40(48.8) | 30(32.6) | 31(32.0) | 24(29.6) | 34(38.2) | 38(43.7) | 197(37.3) |
| 異常なし | | 42(51.2) | 62(67.4) | 66(68.0) | 57(70.4) | 55(61.8) | 49(56.3) | 331(62.7) |
| 合 計 | | 82 (100.0) | 92 (100.0) | 97 (100.0) | 81 (100.0) | 89 (100.0) | 87 (100.0) | 528 (100.0) |

②有所見者の内訳（延べ件数）

有所見者数 197 名、延べ件数 252 件

| 尿検査 39 件 | | 内科 等 131 件 | | | | 耳鼻咽喉科 69 件 | | 眼科 13 件 | | |
|-----------|----|------------|----|-----------|---|------------|---|----------|----|---------------|
| 尿 糖 | 6 | 肥満 | 17 | WPW 症候群 | 2 | 頭痛 | 2 | アレルギー性鼻炎 | 44 | 視神経乳頭 |
| 尿蛋白 | 16 | 痩せ | 29 | 心雑音 | 5 | 血友病 B | 1 | 鼻中隔彎曲症 | 12 | 陥凹拡大 |
| 尿潜血 | 16 | グレート 1 高血圧 | 12 | 不整脈 | 2 | SLE | 1 | 扁桃肥大 | 2 | アレルギー性結膜炎 |
| 尿ウロビリノーゲン | | グレート 2 高血圧 | 2 | 大動脈弁閉鎖不全症 | 1 | 游走腎 | 1 | 慢性中耳炎 | 1 | 結膜炎 |
| 陽性 | 1 | 甲状腺腫大 | 15 | | 1 | 脂肪肝 | 1 | 慢性扁桃炎 | 1 | 網膜裂孔(疑) |
| | | バセドウ氏病 | 1 | 心拡大 | 1 | じん麻疹 | 1 | 耳垢 | 3 | 視神経乳頭上血管ループ形成 |
| | | アトピー性皮膚炎 | 21 | VSD | 1 | 貧血(疑) | 4 | 咽頭炎 | 1 | 網脈絡膜瘰癧(外傷後) |
| | | 後頭部皮下腫瘍 | 1 | 肺高血圧症(疑) | 1 | 低血圧 | 1 | 慢性副鼻腔炎 | 4 | |
| | | 腰椎椎間板ヘルニア | 2 | 頸部リソハ 節腫 | 1 | 月経不順 | 1 | 難聴(疑) | 1 | |
| | | 肋骨疲労骨折 | 1 | 顎下リソハ 節腫 | 3 | | | | | |

○X 線直接撮影有所見者 2 名：両肺動脈拡大、肺紋理増強(心室中隔欠損症) 1、右中下肺野粒状影 1

1. 受診率 看護学科

①内科・耳鼻咽喉科・眼科検診（平成16年5月19日・26日実施）（対象者数は休学者を除く）

| 学 年 | | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 計 |
|-----|---------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 男子 | 対象者数(人) | 5 | 1 | 1 | 5 | 12 |
| | 受診者数(人) | 5 | 1 | 1 | 5 | 12 |
| | 受診率(%) | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 女子 | 対象者数(人) | 55 | 60 | 63 | 64 | 242 |
| | 受診者数(人) | 54 | 60 | 63 | 64 | 241 |
| | 受診率(%) | 98.2 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 99.6 |
| 計 | 対象者数(人) | 60 | 61 | 64 | 69 | 254 |
| | 受診者数(人) | 59 | 61 | 64 | 69 | 253 |
| | 受診率(%) | 98.3 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 99.6 |

※耳鼻咽喉科・眼科検診の対象者・・・看護学科1年・3年次編入生・4年

②胸部X線直接撮影（平成16年4月14日・21日・28日実施）（対象者数は休学者を除く）

| 学 年 | | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 計 |
|-----|---------|-------|----|-------|-------|-------|
| 男子 | 対象者数(人) | 5 | | 1 | 5 | 11 |
| | 受診者数(人) | 5 | | 1 | 5 | 11 |
| | 受診率(%) | 100.0 | | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 女子 | 対象者数(人) | 55 | | 56 | 64 | 175 |
| | 受診者数(人) | 55 | | 56 | 64 | 175 |
| | 受診率(%) | 100.0 | | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 計 | 対象者数(人) | 60 | | 57 | 69 | 186 |
| | 受診者数(人) | 60 | | 57 | 69 | 186 |
| | 受診率(%) | 100.0 | | 100.0 | 100.0 | 100.0 |

※胸部X線撮影の対象者・・・看護学科1年・3年・4年

2. 健診結果

① 判定区分

人数 (%)

| 学年 | | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 計 |
|------|-------|---------------|---------------|---------------|---------------|----------------|
| 判定区分 | 要治療 | 1(1.7) | 0 | 0 | 2(2.9) | 3(1.2) |
| | 要精検 | 6(10.2) | 6(9.8) | 5(7.8) | 5(7.2) | 22(8.7) |
| | 治療中 | 0 | 3(4.9) | 1(1.6) | 6(8.7) | 10(4.0) |
| | 要経過観察 | 10(16.9) | 13(21.3) | 6(9.4) | 12(17.4) | 41(16.2) |
| | 措置要せず | 18(30.5) | 0 | 4(6.3) | 6(8.7) | 28(11.1) |
| | 計 | 35(59.3) | 22(36.1) | 16(25.0) | 31(44.9) | 104(41.1) |
| 異常なし | | 24(40.7) | 39(63.9) | 48(75.0) | 38(55.1) | 149(58.9) |
| 合計 | | 59 (100.0) | 61 (100.0) | 64 (100.0) | 69 (100.0) | 253 (100.0) |

②有所見者の内訳（延べ件数）

有所見者数 104名、延べ件数 121件

| 尿検査 | 7件 | 内科 等 | 62件 | 耳鼻咽喉科 | 44件 | 眼科 | 8件 |
|-----|----|----------|-----|----------|-----|-----------|----|
| 尿糖 | 1 | 肥満 | 10 | アレルギー性鼻炎 | 36 | 視神経乳頭陥凹拡大 | 4 |
| 尿蛋白 | 4 | 痩せ | 12 | 慢性副鼻腔炎 | 4 | 結膜炎 | 2 |
| 尿潜血 | 2 | グレート1高血圧 | 3 | 扁桃肥大 | 3 | アレルギー性結膜炎 | 1 |
| | | 甲状腺腫大 | 11 | 鼻中隔湾曲症 | 1 | 眼窩部痛 | 1 |
| | | アトピー性皮膚炎 | 12 | | | | |
| | | 湿疹 | 1 | | | | |
| | | じん麻疹 | 1 | | | | |
| | | 皮膚炎 | 1 | | | | |
| | | 貧血(疑) | 5 | | | | |
| | | 腎炎 | 1 | | | | |
| | | 気管支炎(疑) | 1 | | | | |
| | | 頸部リハ°節腫大 | 2 | | | | |
| | | 月経不順 | 1 | | | | |
| | | 側弯症 | 1 | | | | |

○X線直接撮影有所見者 1名 : 左中肺野異常陰影 1

○平成 17 年度

1. 受診率 医学科

①内科・耳鼻咽喉科・眼科検診（平成 17 年 5 月 11 日・25 日実施）（対象者数は休学者を除く）

| 学 年 | | 1 年 | 2 年 | 3 年 | 4 年 | 5 年 | 6 年 | 計 |
|-----|---------|-------|------|------|------|------|-------|------|
| 男子 | 対象者数(人) | 45 | 55 | 59 | 48 | 48 | 55 | 310 |
| | 受診者数(人) | 45 | 54 | 50 | 43 | 34 | 52 | 278 |
| | 受診率(%) | 100.0 | 98.2 | 84.7 | 89.6 | 70.8 | 94.5 | 89.7 |
| 女子 | 対象者数(人) | 40 | 36 | 50 | 45 | 45 | 45 | 261 |
| | 受診者数(人) | 40 | 35 | 46 | 40 | 41 | 45 | 247 |
| | 受診率(%) | 100.0 | 97.2 | 92.0 | 88.9 | 91.1 | 100.0 | 94.6 |
| 計 | 対象者数(人) | 85 | 91 | 109 | 93 | 93 | 100 | 571 |
| | 受診者数(人) | 85 | 89 | 96 | 83 | 75 | 97 | 525 |
| | 受診率(%) | 100.0 | 97.8 | 88.1 | 89.2 | 80.6 | 97.0 | 91.9 |

※耳鼻咽喉科・眼科検診の対象者・・・医学科 1 年・6 年

②胸部 X 線直接撮影（平成 17 年 4 月 13 日・20 日・27 日実施）（対象者数は休学者を除く）

| 学 年 | | 1 年 | 2 年 | 3 年 | 4 年 | 5 年 | 6 年 | 計 |
|-----|---------|-------|-----|-------|-------|-----|------|------|
| 男子 | 対象者数(人) | 45 | | 5 | 48 | | 55 | 153 |
| | 受診者数(人) | 45 | | 5 | 44 | | 53 | 147 |
| | 受診率(%) | 100.0 | | 100.0 | 91.7 | | 96.4 | 96.1 |
| 女子 | 対象者数(人) | 40 | | 5 | 45 | | 45 | 135 |
| | 受診者数(人) | 40 | | 5 | 45 | | 43 | 133 |
| | 受診率(%) | 100.0 | | 100.0 | 100.0 | | 95.6 | 98.5 |
| 計 | 対象者数(人) | 85 | | 10 | 93 | | 100 | 288 |
| | 受診者数(人) | 85 | | 10 | 89 | | 96 | 280 |
| | 受診率(%) | 100.0 | | 100.0 | 95.7 | | 96.0 | 97.2 |

※胸部 X 線撮影の対象者・・・医学科 1 年・3 年次編入生・4 年・6 年

2. 健診結果

①判定区分

人数 (%)

| 学 年 | | 1 年 | 2 年 | 3 年 | 4 年 | 5 年 | 6 年 | 計 |
|------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|----------------|-----------|
| 判定区分 | 要治療 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 要精検 | 3(3.5) | 4(4.5) | 5(5.2) | 3(3.6) | 4(5.3) | 5(5.2) | 24(4.6) |
| | 治療中 | 1(1.2) | 0 | 1(1.0) | 2(2.4) | 2(2.7) | 2(2.1) | 8(1.5) |
| | 要経過観察 | 10(11.8) | 12(13.5) | 16(16.7) | 16(19.3) | 10(13.3) | 23(23.7) | 87(16.6) |
| | 措置要せず | 13(15.3) | 1(1.1) | 3(3.1) | 2(2.4) | 2(2.7) | 14(14.4) | 35(6.7) |
| | 計 | 27(31.8) | 17(19.1) | 25(26.0) | 23(27.7) | 18(24.0) | 44(45.4) | 154(29.3) |
| 異常なし | 58(68.2) | 72(80.9) | 71(74.0) | 60(72.3) | 57(76.0) | 53(54.6) | 371(70.7) | |
| 合 計 | 85 (100.0) | 89 (100.0) | 96 (100.0) | 83 (100.0) | 75 (100.0) | 97 (100.0) | 525 (100.0) | |

②有所見者の内訳（延べ件数）

有所見者数 154 名、延べ件数 194 件

| 尿検査 33件 | 内科 等 116件 | 耳鼻咽喉科 44件 | 眼科 1件 |
|---------|--------------------------|-------------|----------|
| 尿 糖 4 | 肥満 15 | アレルギー性鼻炎 34 | 視神経乳頭 |
| 尿蛋白 12 | 痩せ 15 | 鼻中隔彎曲症 6 | 陥凹拡大 1 |
| 尿潜血 17 | グレート ¹ 高血圧 12 | 慢性扁桃炎 1 | |
| | グレート ² 高血圧 2 | 扁桃肥大 1 | |
| | 低血圧 1 | 慢性中耳炎 1 | |
| | 甲状腺腫大 16 | 僧帽弁逸脱症 1 | 滲出性中耳炎 1 |
| | 慢性甲状腺炎 1 | SLE 1 | |
| | アトピー性皮膚炎 20 | 血友病B 1 | |
| | 皮疹 4 | I g A腎症 1 | |
| | じん麻疹 1 | 痔疾患 1 | |
| | 貧血(疑) 2 | 頸部リンパ節腫大 8 | |
| | 喘息 1 | 月経不順 3 | |
| | てんかん 1 | 胸部痛 1 | |

○X 線直接撮影 有所見者 2 名 : 右下肺紋理増強 1、右中肺野雲状陰影 1

耳鼻咽喉科検診 有所見者率 22.9%(44/192 名)、眼科検診 有所見者率 0.5%(1/192 名)

1. 受診率 **看護学科**

①内科・耳鼻咽喉科・眼科検診（平成17年5月11日・25日実施）（対象者数は休学者を除く）

| 学年 | | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 計 |
|----|---------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 男子 | 対象者数(人) | 2 | 5 | 2 | 1 | 10 |
| | 受診者数(人) | 2 | 5 | 2 | 1 | 10 |
| | 受診率(%) | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 女子 | 対象者数(人) | 58 | 55 | 69 | 63 | 245 |
| | 受診者数(人) | 57 | 54 | 69 | 63 | 243 |
| | 受診率(%) | 98.3 | 98.2 | 100.0 | 100.0 | 99.2 |
| 計 | 対象者数(人) | 60 | 60 | 71 | 64 | 255 |
| | 受診者数(人) | 59 | 59 | 71 | 64 | 253 |
| | 受診率(%) | 98.3 | 98.3 | 100.0 | 100.0 | 99.2 |

※耳鼻咽喉科・眼科検診の対象者・・・看護学科1年・3年次編入生・4年

②胸部X線直接撮影（平成17年4月13日・20日・27日実施）（対象者数は休学者を除く）

| 学年 | | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 計 |
|----|---------|-------|----|-------|-------|------|
| 男子 | 対象者数(人) | 2 | | 2 | 1 | 5 |
| | 受診者数(人) | 2 | | 2 | 0 | 4 |
| | 受診率(%) | 100.0 | | 100.0 | 0 | 80.0 |
| 女子 | 対象者数(人) | 58 | | 69 | 63 | 190 |
| | 受診者数(人) | 58 | | 67 | 63 | 188 |
| | 受診率(%) | 100.0 | | 97.1 | 100.0 | 98.9 |
| 計 | 対象者数(人) | 60 | | 71 | 64 | 195 |
| | 受診者数(人) | 60 | | 69 | 63 | 192 |
| | 受診率(%) | 100.0 | | 97.2 | 98.4 | 98.5 |

※胸部X線撮影の対象者・・・看護学科1年・3年・4年

2. 健診結果

①判定区分

人数 (%)

| 学年 | | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 計 |
|------|-------|---------------|---------------|---------------|---------------|----------------|
| 有所見者 | 要治療 | 0 | 0 | 0 | 2(3.1) | 2(0.8) |
| | 要精検 | 2(3.4) | 9(15.3) | 6(8.5) | 5(7.8) | 22(8.7) |
| | 治療中 | 0 | 1(1.7) | 4(5.6) | 2(3.1) | 7(2.8) |
| | 要経過観察 | 6(10.2) | 10(16.9) | 15(21.1) | 14(21.9) | 45(17.8) |
| | 措置要せず | 6(10.2) | 0 | 1(1.4) | 7(10.9) | 14(5.5) |
| | 計 | 14(23.7) | 20(33.9) | 26(36.6) | 30(46.9) | 90(35.6) |
| 異常なし | | 45(76.4) | 39(66.1) | 45(63.4) | 34(53.1) | 163(64.4) |
| 合計 | | 59 (100.0) | 59 (100.0) | 71 (100.0) | 64 (100.0) | 253 (100.0) |

②有所見者の内訳（延べ件数）

有所見者数 90名、延べ件数 105件

| 尿検査 11件 | | 内科等 64件 | | | 耳鼻咽喉科 24件 | | 眼科 6件 | | |
|---------|---|----------|----|-----------|-----------|----------|-------|-----------|---|
| 尿糖 | 2 | 肥満 | 6 | 過敏性腸症候群 | 1 | アレルギー性鼻炎 | 18 | 緑内障（疑） | 2 |
| 尿蛋白 | 1 | 痩せ | 10 | 頸部リンパ節腫大 | 6 | 鼻中隔彎曲症 | 2 | 睫毛内反 | 1 |
| 尿潜血 | 8 | 甲状腺腫大 | 10 | 口唇ヘルペス | 1 | 扁桃肥大 | 2 | 結膜炎 | 1 |
| | | アトピー性皮膚炎 | 16 | 左上肢神経麻痺 | 1 | 咽頭炎 | 1 | 視神経障害（疑） | 1 |
| | | 皮疹 | 2 | 下腹部痛 | 1 | 外耳炎 | 1 | 角膜ジストロフィー | 1 |
| | | 貧血（疑） | 5 | 椎間板ヘルニア術後 | 1 | | | | |
| | | 喘息 | 1 | 高度側弯症 | 1 | | | | |
| | | 不整脈 | 1 | 顎下部腫瘤 | 1 | | | | |

○X線直接撮影 有所見者 1名 : 頸肋 1

耳鼻咽喉科検診 有所見者率 18.0% (24/133名)

眼科検診 有所見者率 4.5% (6/133名)

○平成 18 年度

1. 受診率 **医学科**

①内科・耳鼻咽喉科・眼科検診（平成 18 年 5 月 10 日・19 日・24 日実施）（対象者数は休学者を除く）

| 学 年 | | 1 年 | 2 年 | 3 年 | 4 年 | 5 年 | 6 年 | 計 |
|-----|---------|-------|-------|------|------|------|------|------|
| 男子 | 対象者数(人) | 51 | 50 | 60 | 57 | 48 | 47 | 313 |
| | 受診者数(人) | 51 | 47 | 54 | 51 | 47 | 43 | 293 |
| | 受診率(%) | 100.0 | 94.0 | 90.0 | 89.5 | 97.9 | 91.5 | 93.6 |
| 女子 | 対象者数(人) | 35 | 42 | 37 | 48 | 43 | 44 | 249 |
| | 受診者数(人) | 35 | 42 | 35 | 45 | 42 | 43 | 242 |
| | 受診率(%) | 100.0 | 100.0 | 94.6 | 93.8 | 97.7 | 97.7 | 97.2 |
| 計 | 対象者数(人) | 86 | 92 | 97 | 105 | 91 | 91 | 562 |
| | 受診者数(人) | 86 | 89 | 89 | 96 | 89 | 86 | 535 |
| | 受診率(%) | 100.0 | 96.7 | 91.8 | 91.4 | 97.8 | 94.5 | 95.2 |

※耳鼻咽喉科・眼科検診の対象者・・・医学科 1 年・6 年

②胸部 X 線直接撮影（平成 18 年 4 月 12 日・21 日・26 日、5 月 17 日実施）（対象者数は休学者を除く）

| 学 年 | | 1 年 | 2 年 | 3 年 | 4 年 | 5 年 | 6 年 | 計 |
|-----|---------|-------|-----|-------|-----|------|-------|------|
| 男子 | 対象者数(人) | 51 | | 60 | | 48 | 47 | 206 |
| | 受診者数(人) | 51 | | 57 | | 47 | 44 | 199 |
| | 受診率(%) | 100.0 | | 95.0 | | 97.9 | 93.6 | 96.6 |
| 女子 | 対象者数(人) | 35 | | 37 | | 43 | 44 | 159 |
| | 受診者数(人) | 35 | | 37 | | 42 | 44 | 158 |
| | 受診率(%) | 100.0 | | 100.0 | | 97.7 | 100.0 | 99.4 |
| 計 | 対象者数(人) | 86 | | 97 | | 91 | 91 | 365 |
| | 受診者数(人) | 86 | | 94 | | 89 | 88 | 357 |
| | 受診率(%) | 100.0 | | 96.9 | | 97.8 | 96.7 | 97.8 |

※胸部 X 線撮影の対象者・・・医学科 1 年・3 年・5 年・6 年

2. 健診結果

①判定区分

人数 (%)

| 学 年 | | 1 年 | 2 年 | 3 年 | 4 年 | 5 年 | 6 年 | 計 |
|------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|----------------|-----------|
| 判定区分 | 要治療 | 1(1.2) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1(0.2) |
| | 要精検 | 5(5.8) | 2(2.2) | 7(7.9) | 9(9.4) | 1(1.1) | 7(8.1) | 31(5.8) |
| | 治療中 | 1(1.2) | 1(1.1) | 1(1.1) | 2(2.1) | 1(1.1) | 5(5.8) | 11(2.1) |
| | 要経過観察 | 16(18.6) | 12(13.5) | 21(23.6) | 9(9.4) | 17(19.1) | 10(11.6) | 85(15.9) |
| | 措置要せず | 4(4.7) | 0 | 1(1.1) | 0 | 0 | 5(5.8) | 10(1.9) |
| | 計 | 27(31.4) | 15(16.9) | 30(33.7) | 20(20.8) | 19(21.3) | 27(31.4) | 138(25.8) |
| 異常なし | 59(68.6) | 74(83.1) | 59(66.3) | 76(79.2) | 70(78.7) | 59(68.6) | 397(74.2) | |
| 合 計 | 86 (100.0) | 89 (100.0) | 89 (100.0) | 96 (100.0) | 89 (100.0) | 86 (100.0) | 535 (100.0) | |

②有所見者の内訳（延べ件数）

有所見者数 138 名、延べ件数 162 件

| 尿検査 43件 | | 内科 等 96件 | | 耳鼻咽喉科 10件 | | 眼科 13件 | | | |
|---------|----|-----------------------|----|-------------------------|---|----------|---|----------|---|
| 尿 糖 | 2 | 肥満 | 18 | 貧血（疑） | 2 | アレルギー性鼻炎 | 9 | 網膜裂孔（疑） | 2 |
| 尿蛋白 | 22 | 痩せ | 18 | 心雑 | 2 | 上顎洞炎 | 1 | 網膜格子状変性 | 2 |
| 尿潜血 | 19 | グレート ¹ 高血圧 | 8 | 血友病A | 1 | | | 飛蚊症 | 2 |
| | | グレート ² 高血圧 | 2 | 血友病B | 1 | | | 神経乳頭 | |
| | | 甲状腺腫大 | 11 | 頸部リンパ ¹ 節腫大 | 2 | | | 陥凹拡大 | 1 |
| | | アトピー性皮膚炎 | 24 | 顎下部リンパ ¹ 節腫大 | 1 | | | 結膜炎 | 1 |
| | | 皮疹 | 1 | 黄疸 | 1 | | | 網膜色素沈着 | 1 |
| | | てんかん | 1 | 椎間板ヘルニア | 1 | | | 網膜剥離術後 | 1 |
| | | IgA腎症 | 1 | | | | | 傾斜乳頭 | 1 |
| | | 十二指腸潰瘍 | 1 | | | | | 白内障 | 1 |
| | | | | | | | | 上耳側網膜索状物 | 1 |

○X線直接撮影 有所見者 なし

耳鼻咽喉科検診 有所見者率 5.6%(10/177 名)、 眼科検診 有所見者率 7.3%(13/177 名)

1. 受診率 **看護学科**

①内科・耳鼻咽喉科・眼科検診（平成18年5月10日・19日・24日実施）（対象者数は休学者を除く）

| 学 年 | | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 計 |
|-----|---------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 男子 | 対象者数(人) | 5 | 2 | 6 | 2 | 15 |
| | 受診者数(人) | 5 | 2 | 6 | 2 | 15 |
| | 受診率(%) | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 女子 | 対象者数(人) | 56 | 57 | 58 | 69 | 240 |
| | 受診者数(人) | 53 | 55 | 58 | 68 | 234 |
| | 受診率(%) | 94.6 | 96.5 | 100.0 | 98.6 | 97.5 |
| 計 | 対象者数(人) | 61 | 59 | 64 | 71 | 255 |
| | 受診者数(人) | 58 | 57 | 64 | 70 | 249 |
| | 受診率(%) | 95.1 | 96.6 | 100.0 | 98.6 | 97.6 |

※耳鼻咽喉科・眼科検診の対象者・・・看護学科1年・3年次編入生・4年

②胸部X線直接撮影（平成18年4月12日・21日・26日、5月17日実施）（対象者数は休学者を除く）

| 学 年 | | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 計 |
|-----|---------|-------|----|-------|------|------|
| 男子 | 対象者数(人) | 5 | | 6 | 2 | 13 |
| | 受診者数(人) | 5 | | 6 | 1 | 12 |
| | 受診率(%) | 100.0 | | 100.0 | 50.0 | 92.3 |
| 女子 | 対象者数(人) | 56 | | 58 | 69 | 183 |
| | 受診者数(人) | 56 | | 58 | 68 | 182 |
| | 受診率(%) | 100.0 | | 100.0 | 98.6 | 99.5 |
| 計 | 対象者数(人) | 61 | | 64 | 71 | 196 |
| | 受診者数(人) | 61 | | 64 | 69 | 194 |
| | 受診率(%) | 100.0 | | 100.0 | 97.2 | 99.0 |

※胸部X線撮影の対象者・・・看護学科1年・3年・4年

2. 健診結果

①判定区分

人数 (%)

| 学年 | | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 計 |
|------|-------|---------------|---------------|---------------|---------------|----------------|
| 判定区分 | 要治療 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 要精検 | 5(8.6) | 2(3.5) | 4(6.3) | 4(5.7) | 15(6.0) |
| | 治療中 | 1(1.7) | 0 | 0 | 3(4.3) | 4(1.6) |
| | 要経過観察 | 6(10.3) | 6(10.5) | 10(15.6) | 18(25.7) | 40(16.1) |
| | 措置要せず | 1(1.7) | 0 | 0 | 0 | 1(0.4) |
| | 計 | 13(22.4) | 8(14.0) | 14(21.9) | 25(35.7) | 60(24.1) |
| 異常なし | | 45(77.6) | 49(86.0) | 50(78.1) | 45(64.3) | 189(75.9) |
| 合計 | | 58 (100.0) | 57 (100.0) | 64 (100.0) | 70 (100.0) | 249 (100.0) |

②有所見者の内訳（延べ件数）

有所見者数 60名、延べ件数 65件

| 尿検査 | 20件 | 内科 等 | 39件 | 耳鼻咽喉科 | 1件 | 眼科 | 5件 |
|-----|-----|----------|-----|-------|----|-----------|----|
| 尿糖 | 1 | 肥満 | 5 | 扁桃肥大 | 1 | 視神経乳頭陥凹拡大 | 3 |
| 尿蛋白 | 8 | 痩せ | 13 | | | 高眼圧症 | 1 |
| 尿潜血 | 11 | 甲状腺腫大 | 7 | | | 結膜炎 | 1 |
| | | アトピー性皮膚炎 | 8 | | | | |
| | | 接触性皮膚炎 | 1 | | | | |
| | | 貧血（疑） | 1 | | | | |
| | | 頸部リンパ節腫大 | 1 | | | | |
| | | 左上肢神経麻痺 | 1 | | | | |
| | | 不正出血 | 1 | | | | |
| | | 漏斗胸 | 1 | | | | |

○X線直接撮影 有所見者 1名 : 漏斗胸 1

耳鼻咽喉科検診 有所見者率 0.7% (1/142名)

眼科検診 有所見者率 3.5% (5/142名)

○平成 19 年度

1. 受診率 **医学科**

①内科・耳鼻咽喉科・眼科検診（平成 19 年 5 月 9 日・18 日・23 日実施）（対象者数は休学者を除く）

| 学 年 | | 1 年 | 2 年 | 3 年 | 4 年 | 5 年 | 6 年 | 計 |
|-----|---------|-------|-------|------|-------|------|------|------|
| 男子 | 対象者数(人) | 40 | 53 | 64 | 51 | 58 | 48 | 314 |
| | 受診者数(人) | 40 | 53 | 53 | 50 | 56 | 40 | 292 |
| | 受診率(%) | 100.0 | 100.0 | 82.8 | 98.0 | 96.6 | 83.3 | 93.0 |
| 女子 | 対象者数(人) | 45 | 37 | 45 | 36 | 51 | 42 | 256 |
| | 受診者数(人) | 45 | 36 | 44 | 36 | 50 | 35 | 246 |
| | 受診率(%) | 100.0 | 97.3 | 97.8 | 100.0 | 98.0 | 83.3 | 96.1 |
| 計 | 対象者数(人) | 85 | 90 | 109 | 87 | 109 | 90 | 570 |
| | 受診者数(人) | 85 | 89 | 97 | 86 | 106 | 75 | 538 |
| | 受診率(%) | 100.0 | 98.9 | 89.0 | 98.9 | 97.2 | 83.3 | 94.4 |

※耳鼻咽喉科・眼科検診の対象者・・・医学科 1 年・6 年

②胸部 X 線直接撮影（平成 19 年 4 月 11 日・20 日、5 月 11 日・16 日実施）（対象者数は休学者を除く）

| 学 年 | | 1 年 | 2 年 | 3 年 | 4 年 | 5 年 | 6 年 | 計 |
|-----|---------|-------|-----|------|-----|------|-------|------|
| 男子 | 対象者数(人) | 40 | | 64 | | 58 | 48 | 210 |
| | 受診者数(人) | 40 | | 53 | | 56 | 48 | 197 |
| | 受診率(%) | 100.0 | | 82.8 | | 96.6 | 100.0 | 93.8 |
| 女子 | 対象者数(人) | 45 | | 45 | | 51 | 42 | 183 |
| | 受診者数(人) | 45 | | 43 | | 49 | 41 | 178 |
| | 受診率(%) | 100.0 | | 95.6 | | 96.1 | 97.6 | 97.3 |
| 計 | 対象者数(人) | 85 | | 109 | | 109 | 90 | 393 |
| | 受診者数(人) | 85 | | 96 | | 105 | 89 | 375 |
| | 受診率(%) | 100.0 | | 88.1 | | 96.3 | 98.9 | 95.4 |

※胸部 X 線撮影の対象者・・・医学科 1 年・3 年・5 年・6 年

2. 健診結果

①判定区分

人数 (%)

| 学 年 | | 1 年 | 2 年 | 3 年 | 4 年 | 5 年 | 6 年 | 計 |
|------|-------|---------------|---------------|---------------|---------------|----------------|---------------|----------------|
| 有所見者 | 要治療 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 要精検 | 10(11.8) | 6(6.7) | 2(2.1) | 3(3.5) | 4(3.8) | 6(8.0) | 31(5.8) |
| | 治療中 | 1(1.2) | 1(1.1) | 0 | 2(2.3) | 5(4.7) | 2(2.7) | 11(2.0) |
| | 要経過観察 | 18(21.2) | 19(21.3) | 30(30.9) | 27(31.4) | 10(9.4) | 16(21.3) | 120(22.3) |
| | 措置要せず | 4(4.7) | 3(3.4) | 0 | 0 | 3(2.8) | 7(9.3) | 17(3.2) |
| | 計 | 33(38.8) | 29(32.6) | 32(33.0) | 32(37.2) | 22(20.8) | 31(41.3) | 179(33.3) |
| 異常なし | | 52(61.2) | 60(67.4) | 65(67.0) | 54(62.8) | 84(79.2) | 44(58.7) | 359(66.7) |
| 合 計 | | 85 (100.0) | 89 (100.0) | 97 (100.0) | 86 (100.0) | 106 (100.0) | 75 (100.0) | 538 (100.0) |

②有所見者の内訳（延べ件数）

有所見者数 179 名、延べ件数 208 件

| 尿検査76件 | 内科 等 100件 | | | | 耳鼻咽喉科 20件 | 眼科 12件 |
|--------|-------------|-------------|---------|-------------|-------------|--------|
| 尿 糖 2 | グレード1高血圧 13 | 肥満 17 | 貧血（疑） 2 | アレルギー性鼻炎 17 | 視神経乳頭陥凹拡大 4 | |
| 尿蛋白 54 | グレード2高血圧 3 | 痩せ 29 | 心雑音 1 | 慢性扁桃炎 1 | 網膜出血 2 | |
| 尿潜血 20 | 甲状腺 1 | 甲状腺腫大 8 | 不整脈 1 | 睡眠時無呼吸 1 | 網膜格子状変性 1 | |
| | 機能低下症 1 | 皮疹 1 | 血友病A 1 | 症候群（疑） 1 | 視神経乳頭上 1 | |
| | アトピー性皮膚炎 12 | 喘息 2 | 血友病B 1 | 難聴 1 | 血管ループ形成 1 | |
| | 接触性皮膚炎 1 | SLEループス腎炎 1 | 円形脱毛 1 | | 視神経化形成 1 | |
| | 過敏性腸症候群 1 | 慢性蕁麻疹 1 | 尿漏（疑） 1 | | 円錐角膜 1 | |
| | 高コレステロール症 1 | | 無月経 1 | | 斜視 1 | |
| | | | | | 眼瞼下垂 1 | |

○X線直接撮影 有所見者 4名： 右肺尖部粒状陰影（陳旧性肺結核） 1

右上肺小粒状陰影・胸膜肥厚 1、 右下肺野粒状陰影（気胸術後） 1 、 右肺尖部気胸治癒 1

耳鼻咽喉科検診 有所見者率 12.5%(20/160名)、眼科検診 有所見者率 7.5%(12/160名)

1. 受診率 看護学科

①内科・耳鼻咽喉科・眼科検診（平成19年5月9日・18日・23日実施）（対象者数は休学者を除く）

| 区 分 | | 学 年 | | | | |
|-----|---------|-------|-------|-------|------|------|
| | | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 計 |
| 男子 | 対象者数(人) | 3 | 5 | 2 | 6 | 16 |
| | 受診者数(人) | 3 | 5 | 2 | 5 | 15 |
| | 受診率(%) | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 83.3 | 93.8 |
| 女子 | 対象者数(人) | 60 | 58 | 65 | 58 | 241 |
| | 受診者数(人) | 59 | 58 | 64 | 58 | 239 |
| | 受診率(%) | 98.3 | 100.0 | 98.5 | 100 | 99.2 |
| 計 | 対象者数(人) | 63 | 63 | 67 | 64 | 257 |
| | 受診者数(人) | 62 | 63 | 66 | 63 | 254 |
| | 受診率(%) | 98.4 | 100.0 | 98.5 | 98.4 | 98.8 |

※耳鼻咽喉科・眼科検診の対象者・・・看護学科1年・3年次編入生・4年

②胸部X線直接撮影（平成19年4月11日・20日、5月11日・16日実施）（対象者数は休学者を除く）

| 区 分 | | 学 年 | | | | |
|-----|---------|-------|----|-------|-------|-------|
| | | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 計 |
| 男子 | 対象者数(人) | 3 | | 2 | 6 | 11 |
| | 受診者数(人) | 3 | | 2 | 5 | 10 |
| | 受診率(%) | 100.0 | | 100.0 | 83.3 | 90.9 |
| 女子 | 対象者数(人) | 60 | | 65 | 58 | 183 |
| | 受診者数(人) | 60 | | 65 | 58 | 183 |
| | 受診率(%) | 100.0 | | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 計 | 対象者数(人) | 63 | | 67 | 64 | 194 |
| | 受診者数(人) | 63 | | 67 | 63 | 193 |
| | 受診率(%) | 100.0 | | 100.0 | 98.4 | 99.5 |

※胸部X線撮影の対象者・・・看護学科1年・3年・4年

2. 健診結果

①判定区分

人数 (%)

| 判定区分 | | 学 年 | | | | |
|------|-------|---------------|---------------|---------------|---------------|----------------|
| | | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 計 |
| 有所見者 | 要治療 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 要精検 | 4(6.5) | 3(4.8) | 3(4.5) | 8(12.7) | 18(7.1) |
| | 治療中 | 0 | 1(1.6) | 0 | 1(1.6) | 2(0.8) |
| | 要経過観察 | 15(24.2) | 11(17.5) | 11(16.7) | 10(15.9) | 47(18.5) |
| | 措置要せず | 4(6.5) | 1(1.6) | 3(4.5) | 0 | 8(3.1) |
| 計 | | 23(37.1) | 16(25.4) | 17(25.8) | 19(30.2) | 75(29.5) |
| 異常なし | | 39(62.9) | 47(74.6) | 49(74.2) | 44(69.8) | 179(70.5) |
| 合計 | | 62 (100.0) | 63 (100.0) | 66 (100.0) | 63 (100.0) | 254 (100.0) |

②有所見者の内訳（延べ件数）

有所見者数 75名、延べ件数 83件

| 尿検査 34件 | 内科 等 33件 | 耳鼻咽喉科 10件 | 眼科 6件 |
|---------|------------|------------|-------------|
| 尿糖 0 | 肥満 7 | アレルギー性鼻炎 7 | 視神経乳頭陥凹拡大 5 |
| 尿蛋白 21 | 痩せ 9 | 扁桃肥大 1 | 網膜裂孔（疑） 1 |
| 尿潜血 13 | 甲状腺腫大 7 | メニエル氏病 1 | |
| | アトピー性皮膚炎 3 | 難聴（疑） 1 | |
| | 貧血（疑） 1 | | |
| | 頸部リンパ節腫大 1 | | |
| | 遊走腎 1 | | |
| | 咳嗽 1 | | |
| | 月経不順 1 | | |
| | 先天性股関節脱臼 1 | | |
| | 靭帯断裂 1 | | |

○X線直接撮影 有所見者 1名 : 陳旧性胸膜癒着 1

耳鼻咽喉科検診 有所見者率 7.4% (10/135名)、眼科検診 有所見者率 4.4% (6/135名)

○平成 20 年度

1. 受診率 **医学科**

①内科・耳鼻咽喉科・眼科検診（平成 20 年 4 月 23 日、5 月 16 日・21 日実施）（対象者数は休学者を除く）

| 学 年 | | 1 年 | 2 年 | 3 年 | 4 年 | 5 年 | 6 年 | 計 |
|-----|---------|-------|-------|------|-------|------|------|------|
| 区 分 | 男子 | 52 | 42 | 61 | 58 | 52 | 57 | 322 |
| | 対象者数(人) | 52 | 42 | 61 | 58 | 52 | 57 | 322 |
| | 受診者数(人) | 49 | 41 | 55 | 56 | 50 | 52 | 303 |
| | 受診率(%) | 94.2 | 97.6 | 90.2 | 96.6 | 96.2 | 91.2 | 94.1 |
| 女子 | 対象者数(人) | 33 | 46 | 43 | 41 | 36 | 50 | 249 |
| | 受診者数(人) | 33 | 46 | 40 | 41 | 35 | 46 | 241 |
| | 受診率(%) | 100.0 | 100.0 | 93.0 | 100.0 | 97.2 | 92.0 | 96.8 |
| 計 | 対象者数(人) | 85 | 88 | 104 | 99 | 88 | 107 | 571 |
| | 受診者数(人) | 82 | 87 | 95 | 97 | 85 | 98 | 544 |
| | 受診率(%) | 96.5 | 98.9 | 91.3 | 98.0 | 96.6 | 91.6 | 95.3 |

※耳鼻咽喉科・眼科検診の対象者・・・医学科 1 年・6 年

②胸部 X 線直接撮影（平成 20 年 4 月 9 日・18 日、5 月 9 日・14 日実施）（対象者数は休学者を除く）

| 学 年 | | 1 年 | 2 年 | 3 年 | 4 年 | 5 年 | 6 年 | 計 |
|-----|---------|-------|-----|------|-----|------|-------|------|
| 区 分 | 男子 | 52 | | 61 | | 52 | 57 | 222 |
| | 対象者数(人) | 52 | | 61 | | 52 | 57 | 222 |
| | 受診者数(人) | 52 | | 54 | | 48 | 53 | 207 |
| | 受診率(%) | 100.0 | | 88.5 | | 92.3 | 93.0 | 93.2 |
| 女子 | 対象者数(人) | 33 | | 43 | | 36 | 50 | 162 |
| | 受診者数(人) | 33 | | 41 | | 35 | 50 | 159 |
| | 受診率(%) | 100.0 | | 95.3 | | 97.2 | 100.0 | 98.1 |
| 計 | 対象者数(人) | 85 | | 104 | | 88 | 107 | 384 |
| | 受診者数(人) | 85 | | 95 | | 83 | 103 | 366 |
| | 受診率(%) | 100.0 | | 91.3 | | 94.3 | 96.3 | 95.3 |

※胸部 X 線撮影の対象者・・・医学科 1 年・3 年・5 年・6 年

2. 健診結果

①判定区分

人数 (%)

| 学 年 | | 1 年 | 2 年 | 3 年 | 4 年 | 5 年 | 6 年 | 計 |
|------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|----------------|-----------|
| 判定区分 | 要治療 | 1(1.2) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1(0.2) |
| | 要精検 | 8(9.8) | 3(3.4) | 6(6.3) | 7(7.2) | 4(4.7) | 5(5.1) | 33(6.1) |
| | 治療中 | 1(1.2) | 2(2.3) | 2(2.1) | 1(1.0) | 4(4.7) | 4(4.1) | 14(2.6) |
| | 要経過観察 | 32(39.0) | 23(26.4) | 27(28.4) | 18(18.6) | 23(27.1) | 19(19.4) | 142(26.1) |
| | 措置要せず | 1(1.2) | 3(3.4) | 4(4.1) | 3(3.1) | 5(5.9) | 2(2.0) | 18(3.3) |
| | 計 | 43(52.4) | 31(35.6) | 39(41.1) | 29(29.9) | 36(42.4) | 30(30.6) | 208(38.2) |
| 異常なし | 39(47.6) | 56(64.4) | 56(58.9) | 68(70.1) | 49(57.6) | 68(69.4) | 336(61.8) | |
| 合 計 | 82 (100.0) | 87 (100.0) | 95 (100.0) | 97 (100.0) | 85 (100.0) | 98 (100.0) | 544 (100.0) | |

②有所見者の内訳（延べ件数）

有所見者数 208 名、延べ件数 260 件

| 尿検査 102件 | 内科 等 142件 | | 耳鼻咽喉科 13件 | 眼科 3件 |
|----------|-------------|---------|-----------|------------|
| 尿 糖 3 | グレード1高血圧 18 | 肥満 20 | IgA腎症 1 | アレルギー性鼻炎 8 |
| 尿蛋白 72 | 甲状腺腫大 11 | 痩せ 26 | リンパ節腫大 3 | 慢性扁桃炎 2 |
| 尿潜血 27 | 甲状腺機能低下症 2 | 皮疹 6 | 月経不順 3 | 扁桃肥大 2 |
| | 甲状腺腫瘍 1 | 貧血(疑) 2 | 不定愁訴 4 | 耳垢 1 |
| | アトピー性皮膚炎 27 | 心雑音 3 | てんかん 1 | |
| | 接触性皮膚炎 1 | 不整脈 3 | 喘息 1 | |
| | 僧帽弁閉鎖不全 1 | 血友病A 1 | 胃潰瘍 1 | |
| | 胸郭出口症候群 1 | 血友病B 1 | 橋本病 1 | |
| | SLEループス腎炎 1 | 遊走腎 1 | うつ状態 1 | |
| | | | | 緑内障(疑) 1 |
| | | | | 睫毛内反症 1 |
| | | | | 結膜炎 1 |

○X線直接撮影 有所見者 1 名 : 慢性気管支炎(疑) 1

耳鼻咽喉科検診 有所見者率 7.2%(13/180 名)、眼科検診 有所見者率 1.7%(3/180 名)

1. 受診率 **看護学科**

①内科・耳鼻咽喉科・眼科検診（平成20年4月23日、5月16日・21日実施）（対象者数は休学者を除く）

| 学 年 | | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 計 | |
|-----|---------|---------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 区 分 | 男子 | 対象者数(人) | 3 | 3 | 5 | 2 | 13 |
| | | 受診者数(人) | 3 | 3 | 5 | 2 | 13 |
| | | 受診率(%) | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 女子 | 対象者数(人) | 59 | 61 | 67 | 65 | 252 | |
| | 受診者数(人) | 58 | 61 | 67 | 63 | 249 | |
| | 受診率(%) | 98.3 | 100.0 | 100.0 | 96.9 | 98.8 | |
| 計 | 対象者数(人) | 62 | 64 | 72 | 67 | 265 | |
| | 受診者数(人) | 61 | 64 | 72 | 65 | 262 | |
| | 受診率(%) | 98.4 | 100.0 | 100.0 | 97.0 | 98.9 | |

※耳鼻咽喉科・眼科検診の対象者・・・看護学科1年・3年次編入生・4年

②胸部X線直接撮影（平成20年4月9日・18日、5月9日・14日実施）（対象者数は休学者を除く）

| 学 年 | | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 計 | |
|-----|---------|---------|-------|------|-------|-------|-------|
| 区 分 | 男子 | 対象者数(人) | 3 | | 5 | 2 | 10 |
| | | 受診者数(人) | 3 | | 5 | 2 | 10 |
| | | 受診率(%) | 100.0 | | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 女子 | 対象者数(人) | 59 | | 67 | 65 | 191 | |
| | 受診者数(人) | 57 | | 66 | 65 | 188 | |
| | 受診率(%) | 96.6 | | 98.5 | 100.0 | 98.4 | |
| 計 | 対象者数(人) | 62 | | 72 | 67 | 201 | |
| | 受診者数(人) | 60 | | 71 | 67 | 198 | |
| | 受診率(%) | 96.8 | | 98.6 | 100.0 | 98.5 | |

※胸部X線撮影の対象者・・・看護学科1年・3年・4年

2. 健診結果

①判定区分

人数 (%)

| 学 年 | | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 計 |
|---------|---------------|---------------|---------------|---------------|----------------|----------|
| 有 所 見 者 | 判定区分 | | | | | |
| | 要治療 | 1(1.6) | 0 | 0 | 0 | 1(0.4) |
| | 要精検 | 7(11.5) | 0 | 5(6.9) | 9(13.8) | 21(8.0) |
| | 治療中 | 2(3.3) | 0 | 4(5.6) | 1(1.5) | 7(2.7) |
| | 要経過観察 | 9(14.8) | 22(34.4) | 23(31.9) | 14(21.5) | 68(26.0) |
| | 措置要せず | 3(4.9) | 2(3.1) | 0 | 0 | 5(1.9) |
| 計 | 22(36.1) | 24(37.5) | 32(44.4) | 24(36.9) | 102(38.9) | |
| 異常なし | 39(63.9) | 40(62.5) | 40(55.6) | 41(63.1) | 160(61.1) | |
| 合計 | 61 (100.0) | 64 (100.0) | 72 (100.0) | 65 (100.0) | 262 (100.0) | |

②有所見者の内訳（延べ件数）

有所見者数 102名、 延べ件数 124件

| 尿検査 53件 | 内科 等 60件 | 耳鼻咽喉科 6件 | 眼科 5件 |
|---------|-----------|----------|------------|
| 尿蛋白 36 | 肥満 8 | 慢性腎炎 1 | 扁桃肥大 3 |
| 尿潜血 17 | 痩せ 13 | 慢性胃炎 1 | アレルギー性 1 |
| | 甲状腺腫大 9 | 心雑音 2 | 慢性扁桃炎 1 |
| | 橋本病 1 | 不整脈 1 | メニエル氏病 1 |
| | アトピー性皮膚 8 | リンパ節腫 1 | |
| | 皮疹 4 | てんかん 1 | |
| | じん麻疹 1 | 月経前緊張症 1 | |
| | 貧血(疑) 2 | うつ状態 1 | |
| | 喘息 1 | 不定愁訴 4 | |
| | | | 緑内障(疑) 1 |
| | | | 角膜炎 1 |
| | | | 角膜びらん 1 |
| | | | 睫毛内反症 1 |
| | | | 散瞳・眼球運動障 1 |

○X線直接撮影有所見者 3名 : 自然気胸 1、漏斗胸 1、心肥大 1

耳鼻咽喉科検診 有所見者率 4.4% (6/136名)

眼科検診 有所見者率 3.7% (5/136名)

② 大学院生定期健康診断

○平成16年度

1. 受検率

| | 内科等 | 胸部X線直接撮影 | 血液検査 |
|---------|------|----------|------|
| 対象者数(人) | 53 | 50 | 53 |
| 受験者数(人) | 26 | 23 | 41 |
| 受検率(%) | 49.1 | 46.0 | 77.4 |

2. 判定区分

人(%)

| | 異常なし | 有所見者 | | | | | 合計 |
|--------------|--------------|--------|-------|-------|-----|--------------|---------------|
| | | 措置を要せず | 要経過観察 | 要精密検査 | 要治療 | 計 | |
| 内科等 | 17 (65.4) | 0 | 4 | 4 | 1 | 9 (34.6) | 26 (100.0) |
| 胸部X線 直接撮影 | 22 (95.7) | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 (4.3) | 23 (100.0) |
| 血液検査 | 23 (56.1) | 0 | 14 | 3 | 1 | 18 (43.9) | 41 (100.0) |

3. 有所見者の内訳(延べ件数)

| | | 措置を要せず | 要経過観察 | 要精密検査 | 要治療 | 計 |
|--------|------------|--------|-------|-------|-----|---|
| 内科等 | 肥満 | | 3 | | | 3 |
| | 高血圧 | | 1 | | 1 | 2 |
| | 甲状腺腫大 | | | | 1 | 1 |
| | アトピー性皮膚炎 | | 1 | | | 1 |
| | 貧血 | | | | 1 | 1 |
| | 頰脈 | | | | 1 | 1 |
| | 尿糖 | | | | 1 | 1 |
| | 尿潜血 | | | | 1 | 1 |
| | 視神経乳頭陥凹拡大 | | | | 1 | 1 |
| 胸部X線 | 両)上肺野粒状陰影 | | | 1 | | 1 |
| 血液検査 | 高脂血症 | | 7 | 1 | 1 | 9 |
| | 肝障害 | | 3 | 2 | | 5 |
| | 高コレステロール血症 | | 3 | | | 3 |
| | 高LDH血症 | | 2 | 1 | | 3 |
| | 低HDL血症 | | 1 | 1 | 1 | 3 |
| | 高ビリルビン血症 | | 3 | | | 3 |
| | 高血糖 | | | | 1 | 1 |
| | 高尿酸血症 | | 1 | | | 1 |
| 高ALP血症 | | 1 | | | 1 | |

大学院昼夜開講履修コース

1. 受検率

| | 内科等 | 胸部X線直接撮影 |
|---------|------|----------|
| 対象者数(人) | 46 | 46 |
| 受験者数(人) | 12 | 13 |
| 受検率(%) | 26.1 | 28.3 |

2. 判定区分

人(%)

| | 異常なし | 有所見者 | | | | | 合計 |
|--------------|--------------|--------|-------|-------|-----|-------------|---------------|
| | | 措置を要せず | 要経過観察 | 要精密検査 | 要治療 | 計 | |
| 内科等 | 8 (66.7) | 1 | 2 | 1 | 0 | 4 (33.3) | 12 (100.0) |
| 胸部X線 直接撮影 | 12 (92.3) | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 (7.7) | 13 (100.0) |

3. 有所見者の内訳(延べ件数)

| | | 措置を要せず | 要経過観察 | 要精密検査 | 要治療 | 計 |
|------|----------|--------|-------|-------|-----|---|
| 内科等 | グレード1高血圧 | | 2 | | | 2 |
| | 甲状腺腫大 | | | | 1 | 1 |
| | 鼻中隔彎曲症 | | 1 | | | 1 |
| 胸部X線 | 右)横隔膜挙上 | | | | 1 | 1 |

○平成 17 年度

1. 受検率

| | 内 科 等 | 胸部 X 線直接撮影 | 血液検査 |
|----------|-------|------------|------|
| 対象者数 (人) | 41 | 41 | 41 |
| 受検者数 (人) | 17 | 23 | 26 |
| 受検率 (%) | 41.5 | 56.1 | 63.4 |

2. 判定区分 人 (%)

| | 異常なし | 有所見者 | | | | | 合計 |
|----------------|---------------|------------|-------------|-------------|------------|--------------|---------------|
| | | 措置を要せず | 要経過観察 | 要精密検査 | 要治療 | 計 | |
| 内 科 等 | 10 (58.8) | 1 (5.9) | 3 (17.6) | 2 (11.8) | 1 (5.9) | 7 (41.2) | 17 (100.0) |
| 胸部 X 線 直接撮影 | 23 (100.0) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 23 (100.0) |
| 血液検査 | 13 (50.0) | 0 | 8 (30.8) | 4 (15.4) | 1 (3.8) | 13 (50.0) | 26 (100.0) |

3. 有所見者の内訳 (延べ件数)

| | | 措置を要せず | 要経過観察 | 要精密検査 | 要治療 | 計 |
|--------|------------|--------|-------|-------|-----|---|
| 内 科 | 肥満 | | 2 | | | 2 |
| | グレード 1 高血圧 | | 1 | | | 1 |
| | 甲状腺腫大 | | 1 | 2 | | 3 |
| | 低血圧 | 1 | | | | 1 |
| | 関節リウマチ | | | | 1 | 1 |
| | 尿潜血 | | | 1 | | 1 |
| 胸部 X 線 | | | | | | 0 |
| 血液検査 | 肝障害 | | 3 | 3 | 1 | 7 |
| | 高コレステロール血症 | | 2 | 1 | | 3 |
| | 高中性脂肪血症 | | 1 | 3 | | 4 |
| | 高 LDH 血症 | | 3 | 2 | | 5 |
| | 高ビリルビン血症 | | 1 | 1 | 1 | 3 |
| | 高血糖 | | | 2 | | 2 |
| | 高尿酸血症 | | | 2 | | 2 |
| | 高 ALP 血症 | | | 1 | | 1 |

大学院昼夜開講履修コース

1. 受検率

| | 内 科 等 | 胸部 X 線直接撮影 | 血液検査 |
|----------|-------|------------|------|
| 対象者数 (人) | 58 | 58 | 58 |
| 受検者数 (人) | 12 | 11 | 7 |
| 受検率 (%) | 20.7 | 19.0 | 12.1 |

2. 判定区分 人 (%)

| | 異常なし | 有所見者 | | | | | 合計 |
|----------------|---------------|--------|-------------|-------------|-----|-------------|---------------|
| | | 措置を要せず | 要経過観察 | 要精密検査 | 要治療 | 計 | |
| 内 科 等 | 10 (83.3) | 0 | 2 (16.7) | 0 | 0 | 2 (16.7) | 12 (100.0) |
| 胸部 X 線 直接撮影 | 11 (100.0) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 11 (100.0) |
| 血液検査 | 4 (57.1) | 0 | 2 (28.6) | 1 (14.3) | 0 | 3 (42.9) | 7 (100.0) |

3. 有所見者の内訳 (延べ件数)

| | | 措置を要せず | 要経過観察 | 要精密検査 | 要治療 | 計 |
|--------|------------|--------|-------|-------|-----|---|
| 内 科 等 | 肥満 | | 1 | | | 1 |
| | 頸部リンパ節腫脹 | | 1 | | | 1 |
| | 尿蛋白 | | 1 | | | 1 |
| | 尿潜血 | | | 1 | | 1 |
| 胸部 X 線 | | | | | | 0 |
| 血液検査 | 肝障害 | | | 1 | | 1 |
| | 高コレステロール血症 | | 1 | | | 1 |
| | 高中性脂肪血症 | | 2 | 1 | | 3 |

○平成 18 年度

1. 受検率

| | 内 科 等 | 胸部 X 線直接撮影 | 血液検査 |
|----------|-------|------------|------|
| 対象者数 (人) | 42 | 42 | 42 |
| 受検者数 (人) | 27 | 27 | 35 |
| 受検率 (%) | 64.3 | 64.3 | 83.3 |

2. 判定区分

人 (%)

| | 異常なし | 有 所 見 者 | | | | | 合計 |
|----------------|--------------|------------|--------------|------------|-----|--------------|---------------|
| | | 措置を要せず | 要経過観察 | 要精密検査 | 要治療 | 計 | |
| 内 科 等 | 14 (51.9) | 2 (7.4) | 10 (37.0) | 1 (3.7) | 0 | 13 (48.1) | 27 (100.0) |
| 胸部 X 線 直接撮影 | 25 (92.6) | 2 (7.4) | 0 | 0 | 0 | 2 (7.4) | 27 (100.0) |
| 血液検査 | 15 (42.9) | 3 (8.6) | 16 (45.7) | 1 (2.9) | 0 | 20 (57.1) | 35 (100.0) |

3. 有所見者の内訳 (延べ件数)

| | | 措置を要せず | 要経過観察 | 要精密検査 | 要治療 | 計 |
|------------|------------|--------|-------|-------|-----|---|
| 内 科 等 | 肥 満 | | 4 | | | 4 |
| | ゲート 1 高血圧 | | 2 | | | 2 |
| | 甲状腺腫大 | | 1 | 1 | | 2 |
| | 皮 疹 | | 1 | | | 1 |
| | 尿潜血 | | | 2 | | 2 |
| | 視神経乳頭陥凹拡大 | | | 1 | | 1 |
| 胸部 X 線 | 右) 肋軟骨石灰化 | 1 | | | | 1 |
| | 左) 下肺野癒痕影 | 1 | | | | 1 |
| 血液検査 | 肝障害 | | 1 | | | 1 |
| | 高コレステロール血症 | | 1 | | | 1 |
| | 高中性脂肪血症 | | 7 | | | 7 |
| | 高 LDH 血症 | | 4 | | | 4 |
| | 高ビリルビン血症 | | 4 | | | 4 |
| | 高血糖 | | | | 1 | 1 |
| | 高尿酸血症 | | | 1 | | 1 |
| | 低 HDL 血症 | | | 2 | | 2 |
| 低コレステロール血症 | | 3 | | | 3 | |

大学院昼夜開講履修コース

1. 受検率

| | 内 科 等 | 胸部 X 線直接撮影 | 血液検査 |
|----------|-------|------------|------|
| 対象者数 (人) | 85 | 85 | 85 |
| 受検者数 (人) | 12 | 10 | 5 |
| 受検率 (%) | 14.1 | 11.8 | 5.9 |

2. 判定区分

人 (%)

| | 異常なし | 有 所 見 者 | | | | | 合計 |
|----------------|---------------|-------------|-------------|------------|-----|-------------|---------------|
| | | 措置を要せず | 要経過観察 | 要精密検査 | 要治療 | 計 | |
| 内 科 等 | 7 (58.3) | 0 | 4 (33.3) | 1 (8.3) | 0 | 5 (41.7) | 12 (100.0) |
| 胸部 X 線 直接撮影 | 10 (100.0) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 10 (100.0) |
| 血液検査 | 3 (60.0) | 1 (20.0) | 1 (20.0) | 0 | 0 | 2 (40.0) | 5 (100.0) |

3. 有所見者の内訳 (延べ件数)

| | | 措置を要せず | 要経過観察 | 要精密検査 | 要治療 | 計 |
|-------|-----------|--------|-------|-------|-----|---|
| 内 科 等 | 肥 満 | | 3 | | | 3 |
| | 甲状腺腫大 | | | 1 | | 1 |
| | 尿 糖 | | | 1 | | 1 |
| | 尿潜血 | | | 1 | | 1 |
| | ゲート 1 高血圧 | | | 2 | | 2 |
| 血液検査 | 高中性脂肪血症 | | 1 | | | 1 |
| | 低 HDL 血症 | | 1 | 1 | | 2 |

○平成 19 年度

1. 受検率

| | 内 科 等 | 胸部X線直接撮影 | 血液検査 |
|----------|-------|----------|------|
| 対象者数 (人) | 44 | 44 | 44 |
| 受検者数 (人) | 30 | 29 | 35 |
| 受検率 (%) | 68.2 | 65.9 | 79.5 |

2. 判定区分

| | 異常なし | 有 所 見 者 | | | | | 合計 |
|--------------|--------------|----------|--------------|-------------|------------|--------------|---------------|
| | | 措置を要せず | 要経過観察 | 要精密検査 | 要治療 | 計 | |
| 内 科 等 | 18 (60.0) | 0 | 8 (26.7) | 3 (10.0) | 1 (3.4) | 12 (40.0) | 30 (100.0) |
| 胸部X線 直接撮影 | 28 (96.6) | 0 (0) | 1 (3.4) | 0 | 0 | 1 (3.4) | 29 (100.0) |
| 血液検査 | 16 (45.7) | 0 | 17 (48.6) | 2 (5.7) | 0 | 19 (54.3) | 35 (100.0) |

3. 有所見者の内訳 (延べ件数)

| | | 措置を要せず | 要経過観察 | 要精密検査 | 要治療 | 計 |
|-------|-----------------|--------|-------|-------|-----|---|
| 内 科 等 | 肥 満 | | 3 | | | 3 |
| | グレード1 高血圧 | | 2 | | | 2 |
| | 甲状腺腫大 | | 1 | | 1 | 2 |
| | 尿蛋白 | | 3 | | | 3 |
| | 尿潜血 | | 2 | 1 | | 3 |
| | 視神経乳頭陥凹拡大 | | | | 1 | 1 |
| | 飛蚊症 (疑) | | | | 1 | 1 |
| 胸部X線 | 両肺尖部右下肺野小結節 (疑) | | 1 | | | 1 |
| 血液検査 | 肝障害 | | 2 | | | 2 |
| | 高コレステロール血症 | | 5 | | | 5 |
| | 高中性脂肪血症 | | 8 | 1 | | 9 |
| | 高LDH血症 | | 3 | | | 3 |
| | 高ビリルビン血症 | | 4 | | | 4 |
| | 高血糖 | | 2 | | | 2 |
| | 高ALP血症 | | 3 | | | 3 |
| | 低HDL血症 | | 2 | | | 2 |
| | HBs抗原陽性 | | | | 2 | 2 |

大学院昼夜開講履修コース

1. 受検率

| | 内 科 等 | 胸部X線直接撮影 | 血液検査 |
|----------|-------|----------|------|
| 対象者数 (人) | 119 | 119 | 119 |
| 受検者数 (人) | 17 | 18 | 13 |
| 受検率 (%) | 14.3 | 15.1 | 10.9 |

2. 判定区分

| | 異常なし | 有 所 見 者 | | | | | 合計 |
|--------------|---------------|-------------|-------------|------------|-----|-------------|---------------|
| | | 措置を要せず | 要経過観察 | 要精密検査 | 要治療 | 計 | |
| 内 科 等 | 10 (58.8) | 2 (11.8) | 5 (29.4) | 0 | 0 | 7 (41.2) | 17 (100.0) |
| 胸部X線 直接撮影 | 18 (100.0) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 18 (100.0) |
| 血液検査 | 5 (38.5) | 0 | 7 (53.8) | 1 (7.7) | 0 | 8 (61.5) | 13 (100.0) |

3. 有所見者の内訳 (延べ件数)

| | | 措置を要せず | 要経過観察 | 要精密検査 | 要治療 | 計 |
|-------|------------|--------|-------|-------|-----|---|
| 内 科 等 | 肥 満 | | 3 | | | 3 |
| | 瘦 せ | 1 | | | | 1 |
| | 洞性不整脈 | | 1 | | | 1 |
| | グレード1 高血圧 | | 1 | | | 1 |
| | 尿蛋白 | | 1 | | | 1 |
| | 尿潜血 | 1 | | | | 1 |
| | アレルギー性鼻炎 | | | 1 | | 1 |
| 血液検査 | 肝障害 | | 1 | | | 1 |
| | 高コレステロール血症 | | 2 | | | 2 |
| | 高中性脂肪血症 | | 3 | | | 3 |
| | 高LDH血症 | | 1 | | | 1 |
| | 高ビリルビン血症 | | 1 | | | 1 |
| | 高血糖 | | 1 | 1 | | 2 |

○平成 20 年度

1. 受検率

| | 内 科 等 | 胸部X線直接撮影 | 血液検査 |
|----------|-------|----------|------|
| 対象者数 (人) | 49 | 49 | 49 |
| 受検者数 (人) | 30 | 29 | 30 |
| 受検率 (%) | 61.2 | 59.2 | 61.2 |

2. 判定区分

| | 異常なし | 有 所 見 者 | | | | | 合計 |
|--------------|---------------|---------|----------|---------|--------|----------|---------------|
| | | 措置を要せず | 要経過観察 | 要精密検査 | 要継続医療 | 計 | |
| 内 科 等 | 16(53.3) | 1(3.3) | 7(23.3) | 4(13.3) | 2(6.7) | 14(46.7) | 30(100.0) |
| 胸部X線 直接撮影 | 29 (100.0) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 29 (100.0) |
| 血液検査 | 9(30.0) | 0 | 19(63.3) | 0 | 2(6.7) | 21(70.0) | 30(100.0) |

3. 有所見者の内訳 (延べ件数)

| | | 措置を要せず | 要経過観察 | 要精密検査 | 要継続医療 | 計 |
|---------|---------------|--------|-------|-------|-------|---|
| 内 科 等 | 肥 満 | | 3 | | | 3 |
| | グレード1 高血圧 | | 1 | | | 1 |
| | 甲状腺腫大 | | | | 2 | 2 |
| | 心雑音 | 1 | 1 | | | 2 |
| | 尿 糖 | | | | 2 | 2 |
| | 尿蛋白 | | | 3 | 1 | 4 |
| | 尿潜血 | | | 3 | 1 | 4 |
| 血液検査 | 慢性扁桃炎 | | 1 | | | 1 |
| | 肝障害 | | 4 | | | 4 |
| | 高LDH血症 | | 1 | | | 1 |
| | 高ビリルビン血症 | | 4 | | | 4 |
| | 高γ-GTP血症 | | 1 | | | 1 |
| | 高コレステロール血症 | | 5 | | | 5 |
| | 高LDLコレステロール血症 | | 2 | | | 2 |
| | 低HDLコレステロール血症 | | 2 | | | 2 |
| | 高中性脂肪血症 | | 6 | | | 6 |
| | 高尿酸血症 | | 1 | | | 1 |
| | 高血糖 | | 2 | | | 2 |
| | 低血糖 | | 1 | | | 1 |
| HBs抗原陽性 | | | | | 2 | 2 |

大学院昼夜開講履修コース

1. 受検率

| | 内 科 等 | 胸部X線直接撮影 | 血液検査 |
|----------|-------|----------|------|
| 対象者数 (人) | 129 | 129 | 129 |
| 受検者数 (人) | 11 | 16 | 10 |
| 受検率 (%) | 8.5 | 12.4 | 7.8 |

2. 判定区分

| | 異常なし | 有 所 見 者 | | | | | 合計 |
|--------------|---------------|---------|---------|---------|-----|---------|---------------|
| | | 措置を要せず | 要経過観察 | 要精密検査 | 要治療 | 計 | |
| 内 科 等 | 7(63.6) | 1(9.1) | 2(18.2) | 1(9.1) | 0 | 4(36.4) | 11(100.0) |
| 胸部X線 直接撮影 | 16 (100.0) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 16 (100.0) |
| 血液検査 | 4(40.0) | 0 | 5(50.0) | 1(10.0) | 0 | 6(60.0) | 10(100.0) |

3. 有所見者の内訳 (延べ件数)

| | | 措置を要せず | 要経過観察 | 要精密検査 | 要治療 | 計 |
|---------|---------------|--------|-------|-------|-----|---|
| 内 科 等 | 肥 満 | | 2 | | | 2 |
| | 不整脈 | | 1 | | | 1 |
| | グレード1 高血圧 | | 1 | | | 1 |
| | 尿 糖 | | | | 1 | 1 |
| | 尿潜血 | 1 | | | | 1 |
| | うつ状態 | | | 1 | | 1 |
| | 毛孔性苔癬 | | | 1 | | 1 |
| 血液検査 | アレルギー性鼻炎 | | 1 | | | 1 |
| | 肝障害 | | 3 | | | 3 |
| | 高LDH血症 | | 1 | | | 1 |
| | 高γ-GTP血症 | | 2 | | | 2 |
| | 高コレステロール血症 | | 4 | | | 4 |
| | 高LDLコレステロール血症 | | 5 | | | 5 |
| | 低HDLコレステロール血症 | | 1 | | | 1 |
| 高中性脂肪血症 | | 5 | | | 5 | |
| 高血糖 | | | | 1 | | 1 |

2. 医学部学生の感染症対策

① ツベルクリン反応検査（2段階法）

○平成 16 年度

医学科 5 年

平成 16 年 9 月実施

| | 対象者 数(人) | 受検者 数(人) | 受検率 (%) | 結 果 (人) | | | | 再掲 (人) 発赤長径 40 mm ↑ |
|------|-------------|-------------|------------|---------|-----|------|-------|------------------------|
| | | | | (-) | (+) | (++) | (+++) | |
| 1 回目 | 97 | 97 | 100.0 | 19 | 26 | 50 | 2 | (11) |
| 2 回目 | 86 | 85 | 98.8 | 6 | 18 | 51 | 10 | (18) |

○第 1 回目の判定結果が、発赤長径 40 mm 以上または (+++) の強陽性 21 名については、
第 2 回目のツ反を実施せず胸部 X 線検査を実施した。結果は全員異常なし。

○2 段階法の結果、陰性者 6 名に対して BCG 接種を勧奨し、5 名が接種を受けた。

陰性者率 6.2% (6/97 名)

看護学科 2 年

平成 16 年 10 月～11 月実施

| | 対象者 数(人) | 受検者 数(人) | 受検率 (%) | 結 果 (人) | | | | 再掲 (人) 発赤長径 40 mm ↑ |
|------|-------------|-------------|------------|---------|-----|------|-------|------------------------|
| | | | | (-) | (+) | (++) | (+++) | |
| 1 回目 | 61 | 61 | 100.0 | 8 | 22 | 24 | 7 | (9) |
| 2 回目 | 51 | 51 | 100.0 | 4 | 25 | 15 | 7 | (12) |

○第 1 回目の判定結果が、発赤長径 40 mm 以上または (+++) の強陽性 12 名については、
第 2 回目のツ反を実施せず胸部 X 線検査を実施した。結果は全員異常なし。

○2 段階法の結果、陰性者 4 名に対して BCG 接種を勧奨し、全員が接種を受けた。

陰性者率 6.6% (4/61 名)

看護学科 3 年次編入生

平成 16 年 10 月～11 月実施

| | 対象者 数(人) | 受検者 数(人) | 受検率 (%) | 結 果 (人) | | | | 再掲 (人) 発赤長径 40 mm ↑ |
|------|-------------|-------------|------------|---------|-----|------|-------|------------------------|
| | | | | (-) | (+) | (++) | (+++) | |
| 1 回目 | 7 | 7 | 100.0 | 0 | 1 | 5 | 1 | (4) |
| 2 回目 | 3 | 3 | 100.0 | 0 | 3 | 0 | 0 | (0) |

○第 1 回目の判定結果が、発赤長径 40 mm 以上または (+++) の強陽性 4 名については、
第 2 回目のツ反を実施せず胸部 X 線検査を実施した。結果は全員異常なし。

○2 段階法の結果、陰性者はなし。

※判定結果 (－) 陰性
(+) 弱陽性
(++) 中等度陽性
(+++) 強陽性

○平成 17 年度

医学科 4 年

※休学者 1 名は対象者から除く。 平成 18 年 1 月実施

| | 対象者 数(人) | 受検者 数(人) | 受検率 (%) | 結 果 (人) | | | | 再掲 (人) 発赤長径 40 mm ↑ |
|------|-------------|-------------|------------|---------|-----|------|-------|------------------------|
| | | | | (-) | (+) | (++) | (+++) | |
| 1 回目 | 92 | 92 | 100.0 | 16 | 27 | 41 | 8 | (12) |
| 2 回目 | 76 | 76 | 100.0 | 4 | 42 | 30 | 0 | (19) |

○第 1 回目の判定結果が、発赤長径 40 mm 以上または (+++) の強陽性 16 名については、
第 2 回目のツ反を実施せず胸部 X 線検査を実施した。結果は全員異常なし。

○陰性者 4 名に対して BCG 接種を勧奨し 4 名が接種を受けた。陰性者率 4.3% (4/92 名)

医学科 5 年

平成 17 年 9 月実施

| | 対象者 数(人) | 受検者 数(人) | 受検率 (%) | 結 果 (人) | | | | 再掲 (人) 発赤長径 40 mm ↑ |
|------|-------------|-------------|------------|---------|-----|------|-------|------------------------|
| | | | | (-) | (+) | (++) | (+++) | |
| 1 回目 | 93 | 93 | 100.0 | 5 | 39 | 43 | 6 | (20) |
| 2 回目 | 70 | 69 | 98.6 | 5 | 8 | 54 | 2 | (15) |

○第 1 回目の判定結果が、発赤長径 40 mm 以上または (+++) の強陽性 23 名については、
第 2 回目のツ反を実施せず胸部 X 線検査を実施した。結果は全員異常なし。

○陰性者 5 名に対して BCG 接種を勧奨し、4 名が接種を受けた。陰性者率 5.4% (5/93 名)

看護学科 2 年

平成 17 年 10 月～11 月実施

| | 対象者 数(人) | 受検者 数(人) | 受検率 (%) | 結 果 (人) | | | | 再掲 (人) 発赤長径 40 mm ↑ |
|------|-------------|-------------|------------|---------|-----|------|-------|------------------------|
| | | | | (-) | (+) | (++) | (+++) | |
| 1 回目 | 58 | 58 | 100.0 | 6 | 27 | 23 | 2 | (12) |
| 2 回目 | 46 | 46 | 100.0 | 3 | 16 | 24 | 3 | (8) |

○第 1 回目の判定結果が、発赤長径 40 mm 以上または (+++) の強陽性 12 名については、
第 2 回目のツ反を実施せず胸部 X 線検査を実施した。結果は全員異常なし。

○陰性者 3 名に対して BCG 接種を勧奨し、2 名が接種を受けた。陰性者率 5.2% (3/58 名)

看護学科 3 年次編入生

平成 17 年 10 月～11 月実施

| | 対象者 数(人) | 受検者 数(人) | 受検率 (%) | 結 果 (人) | | | | 再掲 (人) 発赤長径 40 mm ↑ |
|------|-------------|-------------|------------|---------|-----|------|-------|------------------------|
| | | | | (-) | (+) | (++) | (+++) | |
| 1 回目 | 10 | 10 | 100.0 | 2 | 3 | 5 | 0 | (3) |
| 2 回目 | 7 | 7 | 100.0 | 1 | 2 | 4 | 0 | (3) |

○第 1 回目の判定結果が、発赤長径 40 mm 以上または (+++) の強陽性 3 名については、
第 2 回目のツ反を実施せず胸部 X 線検査を実施した。結果は全員異常なし。

○陰性者 1 名に対して BCG 接種を勧奨し、1 名が接種を受けた。陰性者率 10.0%(1/10 名)

○平成 18 年度

医学科 4 年

※ 休学者 1 名は対象者から除く。

平成 19 年 1 月実施

| | 対象者数(人) | 受検者数(人) | 受検率(%) | 結 果 (人) | | | | 再掲 (人) 発赤長径 40 mm ↑ |
|------|---------|---------|--------|---------|-----|------|-------|------------------------|
| | | | | (-) | (+) | (++) | (+++) | |
| 1 回目 | 105 | 105 | 100.0 | 12 | 21 | 63 | 9 | (17) |
| 2 回目 | 88 | 88 | 100.0 | 5 | 16 | 67 | 0 | (30) |

○第 1 回目の判定結果が、発赤長径 40 mm 以上または (+++) の強陽性 17 名については、第 2 回目のツ反を実施せず胸部 X 線検査を実施した。

結果は、異常なし ……15 名

要経過観察…… 2 名 (陳旧性肺結核 1 名、多発肺嚢胞・右肺術後状態 1 名)

○2 段階法の結果、陰性者 5 名に対して BCG 接種を勧奨し、4 名が接種を受けた。

陰性者率 4.8% (5/105 名)

看護学科 2 年

平成 18 年 10 月～11 月実施

| | 対象者数(人) | 受検者数(人) | 受検率(%) | 結 果 (人) | | | | 再掲 (人) 発赤長径 40 mm ↑ |
|------|---------|---------|--------|---------|-----|------|-------|------------------------|
| | | | | (-) | (+) | (++) | (+++) | |
| 1 回目 | 58 | 58 | 100.0 | 5 | 31 | 17 | 5 | (9) |
| 2 回目 | 49 | 49 | 100.0 | 3 | 11 | 34 | 1 | (9) |

○第 1 回目の判定結果が、発赤長径 40 mm 以上または (+++) の強陽性 9 名については、第 2 回目のツ反を実施せず胸部 X 線検査を実施した。結果は全員異常なし。

○2 段階法の結果、陰性者 3 名に対して BCG 接種を勧奨し、3 名が接種を受けた。

陰性者率 5.2% (3/58 名)

看護学科 3 年次編入生

平成 18 年 10 月～11 月実施

| | 対象者数(人) | 受検者数(人) | 受検率(%) | 結 果 (人) | | | | 再掲 (人) 発赤長径 40 mm ↑ |
|------|---------|---------|--------|---------|-----|------|-------|------------------------|
| | | | | (-) | (+) | (++) | (+++) | |
| 1 回目 | 10 | 10 | 100.0 | 0 | 1 | 9 | 0 | (4) |
| 2 回目 | 5 | 5 | 100.0 | 0 | 1 | 4 | 0 | (1) |

○第 1 回目の判定結果が、発赤長径 40 mm 以上または (+++) の強陽性 4 名については、第 2 回目のツ反を実施せず胸部 X 線検査を実施した。結果は全員異常なし。

○2 段階法の結果、陰性者はなし。陰性者率 0% (0/10 名)

○平成 19 年度

医学科 4 年

※ 検査済み 1 名は対象者から除く。 平成 20 年 1 月～2 月実施

| | 対象者 数(人) | 受検者 数(人) | 受検率 (%) | 結 果 (人) | | | | 備 考 |
|------|-------------|-------------|------------|---------|-----|------|-------|-----|
| | | | | (-) | (+) | (++) | (+++) | |
| 1 回目 | 86 | 86 | 100.0 | 7 | 35 | 39 | 5 | |
| 2 回目 | 76 | 76 | 100.0 | 3 | 14 | 47 | 12 | |

○第 1 回目の判定結果が、発赤長径 40 mm 以上または (+++) の強陽性 10 名については、
第 2 回目のツ反を実施せず胸部 X 線検査を実施した。結果は全員異常なし

○2 段階法の結果、陰性者 3 名に対して BCG 接種を勧奨し、3 名が接種を受けた。

陰性者率 3.5% (3/86 名)

看護学科 2 年

平成 19 年 10 月～11 月実施

| | 対象者 数(人) | 受検者 数(人) | 受検率 (%) | 結 果 (人) | | | | 備 考 |
|------|-------------|-------------|------------|---------|-----|------|-------|-----|
| | | | | (-) | (+) | (++) | (+++) | |
| 1 回目 | 62 | 62 | 100.0 | 9 | 24 | 27 | 2 | |
| 2 回目 | 58 | 58 | 100.0 | 2 | 24 | 31 | 1 | |

○第 1 回目の判定結果が、発赤長径 40 mm 以上または (+++) の強陽性 4 名については、
第 2 回目のツ反を実施せず胸部 X 線検査を実施した。結果は全員異常なし。

○2 段階法の結果、陰性者 2 名に対して BCG 接種を勧奨し、2 名が接種を受けた。

陰性者率 3.2% (2/62 名)

看護学科 3 年次編入生

平成 19 年 10 月～11 月実施

| | 対象者 数(人) | 受検者 数(人) | 受検率 (%) | 結 果 (人) | | | | 備 考 |
|------|-------------|-------------|------------|---------|-----|------|-------|-----|
| | | | | (-) | (+) | (++) | (+++) | |
| 1 回目 | 10 | 10 | 100.0 | 2 | 3 | 5 | 0 | |
| 2 回目 | 9 | 9 | 100.0 | 1 | 2 | 6 | 0 | |

○第 1 回目の判定結果が、発赤長径 40 mm 以上または (+++) の強陽性 1 名については、
第 2 回目のツ反を実施せず定期健康診断の胸部 X 線検査を実施した。結果は異常なし

○2 段階法の結果、陰性者 1 名に対して BCG 接種を勧奨し、1 名が接種を受けた。

陰性者率 10.0% (1/10 名)

○平成 20 年度

医学科 4 年

平成 21 年 1 月～2 月実施

| | 対象者数(人) | 受検者数(人) | 受検率(%) | 結 果 (人) | | | | 備 考 |
|------|---------|---------|--------|---------|-----|------|-------|-----|
| | | | | (-) | (+) | (++) | (+++) | |
| 1 回目 | 99 | 99 | 100.0 | 12 | 50 | 29 | 8 | |
| 2 回目 | 86 | 86 | 100.0 | 3 | 29 | 48 | 6 | |

○第 1 回目の判定結果が、発赤長径 40 mm 以上または (+++) の強陽性 13 名については、
第 2 回目のツ反を実施せず胸部 X 線検査を実施した。結果は全員異常なし。

○陰性者率 3.0% (3/99 名)

看護学科 2 年

平成 20 年 12 月実施

| | 対象者数(人) | 受検者数(人) | 受検率(%) | 結 果 (人) | | | | 備 考 |
|------|---------|---------|--------|---------|-----|------|-------|-----|
| | | | | (-) | (+) | (++) | (+++) | |
| 1 回目 | 64 | 63 | 98.4 | 8 | 10 | 43 | 2 | |
| 2 回目 | 54 | 54 | 100.0 | 1 | 18 | 32 | 3 | |

○第 1 回目の判定結果が、発赤長径 40 mm 以上または (+++) の強陽性 9 名については、
第 2 回目のツ反を実施せず胸部 X 線検査を実施した。結果は全員異常なし。

○陰性者率 1.6% (1/63 名)

看護学科 3 年次編入生

平成 20 年 12 月実施

| | 対象者数(人) | 受検者数(人) | 受検率(%) | 結 果 (人) | | | | 備 考 |
|------|---------|---------|--------|---------|-----|------|-------|-----|
| | | | | (-) | (+) | (++) | (+++) | |
| 1 回目 | 10 | 10 | 100.0 | 1 | 2 | 6 | 1 | |
| 2 回目 | 5 | 5 | 100.0 | 0 | 3 | 2 | 0 | |

○第 1 回目の判定結果が、発赤長径 40 mm 以上または (+++) の強陽性 5 名については、
第 2 回目のツ反を実施せず胸部 X 線検査を実施した。結果は全員異常なし

○陰性者率 0%

② 感染症抗体検査

医学部学生の感染症予防対策について

本学における医学部の学生については、各種感染症に関してハイリスクグループとされている。病院内等で配慮すべき感染症であるインフルエンザ、麻疹、風疹、ムンプス、水痘、B型肝炎等については、ワクチン接種によって予防可能な感染症であるため、医療従事者をはじめ、実習生、研修生等はウイルス抗体価検査を行うとともに、率先してワクチン接種を実施することが推奨されている。

医学科の臨床実習および看護学科の臨地実習開始前に、小児感染症（麻疹、風疹、ムンプス、水痘・帯状ヘルペス）の抗体検査、B型・C型肝炎抗体検査等を行い、順次ワクチン接種を実施していた。ただし、小児感染症の抗体検査については、医学科と看護学科で実施方法が異なっていたため、平成19年度より実施方法や検査機関について統一を図った。学生委員会、医学科長、看護学科長、学務課との連携を基本に、保健管理センターが医学科および看護学科の両学科における抗体検査について、計画から結果返しまでのマネジメントを統一的に担う事となった。検査法は麻疹、ムンプス、水痘・帯状ヘルペスの各抗体価についてはIgG(EIA法)、風疹抗体についてはHI法で実施することとし、保健管理センターにおいて採血を行い、抗体価測定については(財)島根難病研究所に依頼した。

計画および実施の手順は、次のとおりである。

- ① 学生に対して、学年別に検査の意義と日程等の説明会を実施し、保健管理センターの医師が説明をおこなう。
- ② 学生は、学務課へ検査の申込み書（同意書として）提出および費用納入をおこなう。
- ③ 保健管理センターにおいて採血し、(財)島根難病研究所へ検体を送る。
- ④ 保健管理センターが抗体検査の結果通知を受け取り、学生に対して個別に窓口で、抗体検査結果の説明をおこなう。
- ⑤ 麻疹、風疹、ムンプス、水痘・帯状ヘルペスの抗体価陰性および弱陽性者に対して予防接種を推奨し、附属病院小児科へ紹介状を発行する。
- ⑥ B型肝炎ワクチン接種については、保健管理センターにおいて該当者一人に対して計3回接種をおこなう。

各学年においては、他にインフルエンザワクチン接種やツベルクリン反応検査を実施している。各種ワクチン接種の間隔について無用な混乱を避けるため、結果返しの際に学生全員にワクチン接種時期の予定表を作成し配布している。

小児感染症およびB型・C型肝炎の抗体等に関する検査

○平成 18 年度

対象者 医学科 3 年 計 86 名

検査日 平成 19 年 3 月 13 日(火)

| 項 目 | 受検者数 (人) | 陰性. 弱陽性者数(人) | 陰性. 弱陽性者率 (%) |
|------------------------|----------|--------------|---------------|
| ムンプスウイルス IgG(EIA) | 86 | 17 | 19.8 |
| 水痘・帯状ヘルペスウイルス IgG(EIA) | 86 | 3 | 3.5 |
| 麻疹ウイルス IgG(EIA) | 86 | 8 | 9.3 |
| 風疹ウイルス(HI) | 86 | 9 | 10.5 |

| 項 目 | 受検者数 (人) | 陽性者数(人) | 陽性者率 (%) |
|---------|----------|---------|----------|
| HB s 抗原 | 86 | 0 | 0 |
| HB s 抗体 | 86 | 1 | 1.2 |
| HCV 抗体 | 86 | 0 | 0 |

対象者 看護学科 2 年と 3 年次編入生 計 68 名

検査日 平成 18 年 5 月 11 日(木)

| 項 目 | 受検者数 (人) | 陰性. 弱陽性者数(人) | 陰性. 弱陽性者率 (%) |
|------------------------|----------|--------------|---------------|
| ムンプスウイルス IgG(EIA) | 68 | 15 | 22.1 |
| 水痘・帯状ヘルペスウイルス IgG(EIA) | 68 | 1 | 1.5 |
| 麻疹ウイルス IgG(EIA) | 68 | 5 | 7.4 |
| 風疹ウイルス(HI) | 68 | 3 | 4.4 |

| 項 目 | 受検者数 (人) | 陽性者数(人) | 陽性者率 (%) |
|---------|----------|---------|----------|
| HB s 抗原 | 68 | 0 | 0 |
| HB s 抗体 | 68 | 1 | 1.5 |
| HCV 抗体 | 68 | 2 | 2.9 |

※ ムンプス、水痘・帯状ヘルペス、麻疹、風疹の各抗体検査の結果、「陰性(-)」「弱陽性(±)」と判定された学生に、該当項目のワクチン接種を受けることを推奨する。

※ HB s 抗原(-)およびHB s 抗体(-)と判定された学生に、B型肝炎ワクチン接種(計3回)を受けることを推奨する。

○平成 19 年度

対象者 医学科 3 年 計 109 名 検査日 平成 19 年 9 月 7 日(金)

| 項 目 | 受検者数 (人) | 陰性. 弱陽性者数(人) | 陰性. 弱陽性者率 (%) |
|------------------------|----------|--------------|---------------|
| ムンプスウイルス IgG(EIA) | 109 | 30 | 27.5 |
| 水痘・帯状ヘルペスウイルス IgG(EIA) | 109 | 5 | 4.6 |
| 麻疹ウイルス IgG(EIA) | 109 | 7 | 6.4 |
| 風疹ウイルス(HI) | 109 | 12 | 11.0 |

| 項 目 | 受検者数 (人) | 陽性者数(人) | 陽性者率 (%) |
|---------|----------|---------|----------|
| HB s 抗原 | 109 | 0 | 0 |
| HB s 抗体 | 109 | 2 | 1.8 |
| HCV 抗体 | 109 | 0 | 0 |

対象者 医学科 5 年 105 名 検査日 平成 19 年 5 月 1 日(火)・2 日(水)・25 日(金)

| 項 目 | 受検者数 (人) | 陰性. 弱陽性者数(人) | 陰性. 弱陽性者率 (%) |
|------------------------|----------|--------------|---------------|
| ムンプスウイルス IgG(EIA) | 105 | 27 | 25.7 |
| 水痘・帯状ヘルペスウイルス IgG(EIA) | 105 | 6 | 5.7 |
| 麻疹ウイルス IgG(EIA) | 105 | 6 | 5.7 |
| 風疹ウイルス(HI) | 105 | 4 | 3.8 |

対象者 医学科 6 年希望者 43 名 検査日 平成 19 年 5 月 1 日(火)・2 日(水)・25 日(金)

| 項 目 | 受検者数 (人) | 陰性. 弱陽性者数(人) | 陰性. 弱陽性者率 (%) |
|------------------------|----------|--------------|---------------|
| ムンプスウイルス IgG(EIA) | 43 | 11 | 25.6 |
| 水痘・帯状ヘルペスウイルス IgG(EIA) | 43 | 0 | 0 |
| 麻疹ウイルス IgG(EIA) | 43 | 0 | 0 |
| 風疹ウイルス(HI) | 43 | 3 | 7.0 |

対象者 看護学科 1 年 63 名+1 名(2 年) 計 64 名 検査日 平成 19 年 10 月 1 日(月)

| 項 目 | 受検者数 (人) | 陰性. 弱陽性者数(人) | 陰性. 弱陽性者率 (%) |
|------------------------|----------|--------------|---------------|
| ムンプスウイルス IgG(EIA) | 64 | 7 | 10.9 |
| 水痘・帯状ヘルペスウイルス IgG(EIA) | 64 | 3 | 4.7 |
| 麻疹ウイルス IgG(EIA) | 64 | 4 | 6.3 |
| 風疹ウイルス(HI) | 64 | 6 | 9.4 |

| 項 目 | 受検者数 (人) | 陽性者数(人) | 陽性者率 (%) |
|---------|----------|---------|----------|
| HB s 抗原 | 64 | 0 | 0 |
| HB s 抗体 | 64 | 1 | 1.6 |
| HCV 抗体 | 64 | 0 | 0 |

対象者 看護学科 2 年 62 名、3 年次編入生 10 名 計 72 名 検査日 平成 19 年 5 月 14 日(月)

| 項 目 | 受検者数 (人) | 陰性. 弱陽性者数(人) | 陰性. 弱陽性者率 (%) |
|------------------------|----------|--------------|---------------|
| ムンプスウイルス IgG(EIA) | 72 | 12 | 16.7 |
| 水痘・帯状ヘルペスウイルス IgG(EIA) | 72 | 3 | 4.2 |
| 麻疹ウイルス IgG(EIA) | 72 | 4 | 5.6 |
| 風疹ウイルス(HI) | 72 | 5 | 6.9 |

| 項 目 | 受検者数 (人) | 陽性者数(人) | 陽性者率 (%) |
|---------|----------|---------|----------|
| HB s 抗原 | 72 | 0 | 0 |
| HB s 抗体 | 72 | 3 | 4.2 |
| HCV 抗体 | 72 | 1 | 1.4 |

○平成 20 年度

対象者 医学科 1 年 計 85 名

検査日 平成 20 年 11 月 17 日(月)

| 項 目 | 受検者数 (人) | 陰性.弱陽性者数(人) | 陰性.弱陽性者率 (%) |
|-------------------------|----------|-------------|--------------|
| 風疹ウイルス (HI) | 85 | 4 | 4.7 |
| 麻疹ウイルス IgG (EIA) | 85 | 4 | 4.7 |
| ムンプスウイルス IgG (EIA) | 85 | 15 | 17.6 |
| 水痘・帯状ヘルペスウイルス IgG (EIA) | 85 | 5 | 5.9 |

| 項 目 | 受検者数 (人) | 陽性者数(人) | 陽性者率 (%) |
|---------|----------|---------|----------|
| HB s 抗原 | 85 | 0 | 0 |
| HB s 抗体 | 85 | 1 | 1.2 |
| HCV 抗体 | 85 | 1 | 1.2 |

対象者 医学科 2 年 計 88 名

検査日 平成 20 年 9 月 24 日(水)

| 項 目 | 受検者数 (人) | 陰性.弱陽性者数(人) | 陰性.弱陽性者率 (%) |
|-------------------------|----------|-------------|--------------|
| 風疹ウイルス (HI) | 88 | 9 | 10.2 |
| 麻疹ウイルス IgG (EIA) | 88 | 5 | 5.7 |
| ムンプスウイルス IgG (EIA) | 88 | 17 | 19.3 |
| 水痘・帯状ヘルペスウイルス IgG (EIA) | 88 | 3 | 3.4 |

| 項 目 | 受検者数 (人) | 陽性者数(人) | 陽性者率 (%) |
|---------|----------|---------|----------|
| HB s 抗原 | 88 | 0 | 0 |
| HB s 抗体 | 88 | 1 | 1.1 |
| HCV 抗体 | 88 | 1 | 1.1 |

対象者 医学科 3 年 計 96 名

検査日 平成 20 年 10 月 2 日(木)

| 項 目 | 受検者数 (人) | 陰性.弱陽性者数(人) | 陰性.弱陽性者率 (%) |
|-------------------------|----------|-------------|--------------|
| 風疹ウイルス (HI) | 96 | 8 | 8.3 |
| 麻疹ウイルス IgG (EIA) | 96 | 4 | 4.2 |
| ムンプスウイルス IgG (EIA) | 96 | 28 | 29.2 |
| 水痘・帯状ヘルペスウイルス IgG (EIA) | 96 | 4 | 4.2 |

| 項 目 | 受検者数 (人) | 陽性者数(人) | 陽性者率 (%) |
|---------|----------|---------|----------|
| HB s 抗原 | 96 | 0 | 0 |
| HB s 抗体 | 96 | 3 | 3.1 |
| HCV 抗体 | 96 | 1 | 1.0 |

対象者 看護学科 1 年 計 61 名

検査日 平成 20 年 11 月 5 日(水)

| 項 目 | 受検者数 (人) | 陰性.弱陽性者数(人) | 陰性.弱陽性者率 (%) |
|-------------------------|----------|-------------|--------------|
| 風疹ウイルス (HI) | 61 | 7 | 11.5 |
| 麻疹ウイルス IgG (EIA) | 61 | 5 | 8.2 |
| ムンプスウイルス IgG (EIA) | 61 | 19 | 31.1 |
| 水痘・帯状ヘルペスウイルス IgG (EIA) | 61 | 2 | 3.3 |

| 項 目 | 受検者数 (人) | 陽性者数(人) | 陽性者率 (%) |
|---------|----------|---------|----------|
| HB s 抗原 | 61 | 0 | 0 |
| HB s 抗体 | 61 | 0 | 0 |
| HCV 抗体 | 61 | 0 | 0 |

対象者 看護学科 3 年次編入生 計 10 名 検査日 平成 20 年 4 月 30 日(水)

| 項 目 | 受検者数 (人) | 陰性.弱陽性者数(人) | 陰性.弱陽性者率 (%) |
|-------------------------|----------|-------------|--------------|
| ムンプスウイルス IgG (EIA) | 10 | 2 | 20.0 |
| 水痘・帯状ヘルペスウイルス IgG (EIA) | 10 | 0 | 0 |
| 麻疹ウイルス IgG (EIA) | 10 | 0 | 0 |
| 風疹ウイルス (HI) | 10 | 0 | 0 |

| 項 目 | 受検者数 (人) | 陽性者数(人) | 陽性者率 (%) |
|---------|----------|---------|----------|
| HB s 抗原 | 10 | 0 | 0 |
| HB s 抗体 | 10 | 3 | 30.0 |
| HCV 抗体 | 10 | 0 | 0 |

感染症予防について

医学部では、医学科の臨床実習および看護学科の臨地実習に入る前に小児感染症(麻疹、風疹、ムンプス、水痘・帯状ヘルペス)の抗体検査とB型・C型肝炎の抗体等に関する血液検査を行います。

その結果、抗体を保有していない場合は、実習が開始するまでに該当のワクチン接種を実施する必要があります。なお、C型肝炎の予防ワクチンはありません。

- 検査を受ける対象学年は・・・医学科1年、 医学科3年次編入生
看護学科1年、看護学科3年次編入生 の皆さんです。

☆ 小児感染症は・・・成人になってからかかると、重症化する場合があります。

麻疹 (はしか)

発熱、咳、くしゃみ、鼻水などの症状で始まり、3～4日後に発疹が出る。

風疹 (三日はしか)

熱が出て同時に発疹が出る。熱は軽く発疹も3～4日で消失する。

ムンプス (流行性耳下腺炎・・・おたふくかぜ)

熱が出て、しばらくして両側の耳の下が痛くなり腫れてくる。

水痘 (水ぼうそう)

熱が出て発疹が出る。間もなく水疱になり、さらに痂皮をつくって治る。

☆B型肝炎

B型肝炎ウイルスの感染によって起こる肝臓の病気です。

☆C型肝炎

C型肝炎ウイルスの感染によって起こる肝臓の病気です。

【 検査をすすめる理由 】

臨床実習および臨地実習では、様々な感染症の患者さんと直接あるいは間接的に接触する機会があります。自分自身の安全を守る (患者さんから感染しない) ことや他の患者さんの安全を守る (学生が感染源にならない) ために、検査および該当のワクチン接種を行います。

- 各種抗体検査および該当のワクチン接種を受けていないと、臨床実習および臨地実習、病院見学、就職用の健康診断書等の発行ができませんので注意してください。

- 「保健管理センターのしおり」より抜粋-

③ B型肝炎ワクチン接種

○医学科の臨床実習および看護学科の臨地実習が開始する前に、肝機能検査およびB型・C型肝炎の抗体検査を実施する。

○HBs抗原(-)およびHBs抗体(-)の場合は、B型肝炎ワクチン接種を行う。1名の学生に対して計3回ワクチンを接種する。

対象者数

(人)

| | 医学科 2年 | 医学科 3年 | 医学科 4年 | 看護学科 1年 | 看護学科 2年 | 看護学科 3年次編入生 | 計 |
|--------|-----------|-----------|-----------|------------|------------|----------------|-----|
| 平成16年度 | | | 93 | | 60 | 2 | 155 |
| 平成17年度 | | | 88 | | 58 | 9 | 155 |
| 平成18年度 | | | 101 | | 57 | 10 | 168 |
| 平成19年度 | | 104 | 85 | 63 | 60 | 9 | 321 |
| 平成20年度 | 86 | 94 | | 60 | | 7 | 247 |

④ 季節性インフルエンザワクチン接種

平成11年度より、国家試験受験対策として医学科6年の希望者を対象にワクチン接種を開始した。現在は、臨床実習および臨地実習の学年も対象としている。毎年11～12月にかけてワクチンを1回接種している。

○医学科6年および看護学科4年希望者・・・国家試験受験の感染症予防対策

○医学科5年および看護学科2年、3年希望者・・・臨床および臨地実習の感染症予防対策

接種者数

(人)

| | 医学科 5年 | 医学科 6年 | 看護学科 2年 | 看護学科 3年 | 看護学科 4年 | 計 |
|--------|-----------|-----------|------------|------------|------------|-----|
| 平成16年度 | 73 | 81 | - | 59 | 60 | 273 |
| 平成17年度 | 64 | 94 | 47 | 52 | 61 | 318 |
| 平成18年度 | 60 | 79 | 49 | 54 | 60 | 302 |
| 平成19年度 | 82 | 86 | 59 | 58 | 53 | 338 |
| 平成20年度 | 72 | 101 | 53 | 65 | 62 | 353 |

3. 外国人研究留学生・外国人研究者健康診断

(平成 18,19 年度は寧夏特別研究員健康診断を含む)

○平成 16 年度

実施年月日 平成 16 年 11 月 4 日 (木)・11 日 (木)・15 日 (月)

対象者数 4 名 (研究留学生 1 名・研究者 3 名)

受診者数 4 名 (男 2 名・女 2 名)

1. 検査項目別受診率

| | 内科診察 | 尿検査 | 胸部X線検査 | 血液検査 |
|----------|-------|-------|--------|-------|
| 対象者数 (人) | 4 | 4 | 4 | 4 |
| 受診者数 (人) | 4 | 4 | 4 | 4 |
| 受診率 (%) | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |

2. HBs・HCV 検査関係一覧

| | HBs 抗原 | HBs 抗体 | HCV 抗体 |
|----------|--------|--------|--------|
| 受検者数 (人) | 4 | 4 | 4 |
| 陽性者数 (人) | 0 | 3 | 0 |
| 陽性者率 (%) | 0 | 75.0 | 0 |

3. 総合判定

| | 異常なし | 要経過観察 | 要継続医療 | 要精密検査 | 要治療 | 計 |
|----|------|-------|-------|-------|-----|-------|
| 人数 | 3 | 1 | 0 | 0 | 0 | 4 |
| % | 75.0 | 25.0 | 0 | 0 | 0 | 100.0 |
| 内訳 | | 貧血 1 | | | | |

○平成 17 年度

実施年月日 平成 17 年 11 月 17 日 (木)・24 日 (木)・12 月 9 日 (金)

対象者数 8 名 (研究留学生 4 名・研究者 4 名)

受診者数 8 名 (男 4 名・女 4 名)

1. 検査項目別受診率

| | 内科診察 | 尿検査 | 胸部X線検査 | 血液検査 |
|----------|-------|-------|--------|-------|
| 対象者数 (人) | 8 | 8 | 8 | 8 |
| 受診者数 (人) | 8 | 8 | 8 | 8 |
| 受診率 (%) | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |

2. HBs・HCV 検査関係一覧

| | HBs 抗原 | HBs 抗体 | HCV 抗体 |
|----------|--------|--------|--------|
| 受検者数 (人) | 8 | 8 | 8 |
| 陽性者数 (人) | 0 | 6 | 0 |
| 陽性者率 (%) | 0 | 75.0 | 0 |

3. 総合判定

| | 異常なし | 要経過観察 | 要継続医療 | 要精密検査 | 要治療 | 計 |
|----|------|---|-------|-------|-----|-------|
| 人数 | 3 | 5 | 0 | 0 | 0 | 8 |
| % | 37.5 | 62.5 | 0 | 0 | 0 | 100.0 |
| 内訳 | | 高脂血症、尿糖(±) 1 GPT 高値 1 軽度心拡大 1 軽度甲状腺腫大 1 軽度両下腿浮腫 1 | | | | |

○平成 18 年度

実施年月日 平成 18 年 10 月 20 日(金)・24 日(火)・31 日(火)、11 月 27 日(月)・29 日(水)

対象者数 15 名 (留学生 4 名、研究者 5 名、寧夏特別研究員 6 名)

受診者数 14 名 (男 8 名・女 6 名)

1. 検査項目別受診率

| | 内科診察 | 尿検査 | 胸部X線検査 | 血液検査 |
|----------|------|------|--------|------|
| 対象者数 (人) | 15 | 15 | 15 | 15 |
| 受診者数 (人) | 14 | 13 | 14 | 14 |
| 受診率 (%) | 93.3 | 86.7 | 93.3 | 93.3 |

2. HBs・HCV 検査関係一覧

| | HBs 抗原 | HBs 抗体 | HCV 抗体 |
|----------|--------|--------|--------|
| 受検者数 (人) | 14 | 14 | 14 |
| 陽性者数 (人) | 1 | 12 | 0 |
| 陽性者率 (%) | 7.1 | 85.7 | 0 |

3. 総合判定

| | 異常なし | 要経過観察 | 要継続医療 | 要精密検査 | 要治療 | 計 |
|----|------|--|-------|----------------|-----|-------|
| 人数 | 7 | 6 | 0 | 1 | 0 | 14 |
| % | 50.0 | 42.9 | 0 | 7.1 | 0 | 100.0 |
| 内訳 | | グレド ¹ 1 高血圧、 高脂血症 1 軽度貧血、軽度心拡大 1 高脂血症 1 心陰影軽度拡大 1 軽度甲状腺腫大 1 上腹部・下腹部圧痛 1 | | HBs 抗原 陽性 1 | | |

○平成 19 年度

実施年月日 平成 19 年 10 月 26 日(金)・29 日(月)、11 月 6 日(火)

対象者数 12 名 (留学生 3 名、研究者 5 名、寧夏特別研究員 4 名)

受診者数 12 名 (男 6 名・女 6 名)

1. 検査項目別受診率

| | 内科診察 | 尿検査 | 胸部X線検査 | 血液検査 |
|----------|-------|-------|--------|-------|
| 対象者数 (人) | 12 | 12 | 12 | 12 |
| 受診者数 (人) | 12 | 12 | 12 | 12 |
| 受診率 (%) | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |

2. HBs・HCV 検査関係一覧

| | HBs 抗原 | HBs 抗体 | HCV 抗体 |
|----------|--------|--------|--------|
| 受検者数 (人) | 12 | 12 | 12 |
| 陽性者数 (人) | 0 | 10 | 0 |
| 陽性者率 (%) | 0 | 83.3 | 0 |

3. 総合判定

| | 異常なし | 要経過観察 | 要継続医療 | 要精密検査 | 要治療 | 計 |
|----|------|---|-------|-------|-----|-------|
| 人数 | 9 | 3 | | | | 12 |
| % | 75.0 | 25.0 | | | | 100.0 |
| 内訳 | | 高脂血症、扁桃肥大、 心窩部圧痛 1 脂肪肝(疑)、心窩部圧痛 1 脂肪肝(疑)、側弯症 1 | | | | |

○平成 20 年度

実施年月日 平成 20 年 10 月 24 日・28 日、11 月 4 日、12 月 9 日・15 日

対象者数 5 名（留学生 1 名、研究者 4 名）

受診者数 5 名（男 5 名）

1. 検査項目別受診率

| | 内科診察 | 尿検査 | 胸部X線検査 | 血液検査 |
|---------|-------|-------|--------|-------|
| 対象者数（人） | 5 | 5 | 5 | 5 |
| 受診者数（人） | 5 | 5 | 5 | 5 |
| 受診率（%） | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |

2. HBs・HCV 検査関係一覧

| | HBs 抗原 | HBs 抗体 | HCV 抗体 |
|---------|--------|--------|--------|
| 受検者数（人） | 5 | 5 | 5 |
| 陽性者数（人） | 0 | 2 | 0 |
| 陽性者率（%） | 0 | 40.0 | 0 |

3. 総合判定

| | 異常なし | 要経過観察 | 要継続医療 | 要精密検査 | 要治療 | 計 |
|----|------|--|-------|-------|-----|-------|
| 人数 | 1 | 4 | | | | 5 |
| % | 20.0 | 80.0 | | | | 100.0 |
| 内訳 | | 肥満 3 肝障害（疑） 3 脂質異常 1 胃炎（疑） 1 尿潜血 1 | | | | |

4. 保健管理センター利用状況（利用延件数）

① 年度別・区分別利用件数

○平成16年度

| 区 分 | | 学 生 | 外国人留学生 | 職 員 | 計 |
|--------------------|-------|-------|--------|-----|-------|
| 健 康 診 断 | | | 4 | | 4 |
| 健康診断事後措置（再検査） | | 207 | | | 207 |
| 検 査 等 | 身体測定 | 1,360 | 1 | 15 | 1,376 |
| | 視力測定 | 157 | 4 | 13 | 174 |
| | 聴力測定 | 109 | 1 | 7 | 117 |
| | 尿 検 査 | 43 | 3 | 9 | 55 |
| | 血圧測定 | 269 | 1 | 38 | 308 |
| | 心電図検査 | 90 | 1 | 6 | 97 |
| | 体力測定 | | | | 0 |
| | その他 | 120 | 2 | 4 | 126 |
| 身体面の健康相談（スポーツ相談含む） | | 365 | 5 | 18 | 388 |
| 健康診断書の発行 | | 652 | 4 | 15 | 671 |
| 精神面の健康相談およびカウンセリング | | 131 | | 38 | 169 |
| 休養室の利用 | | 19 | | 12 | 31 |
| 応 急 処 置 | | 1,069 | 6 | 112 | 1,187 |
| 専 門 医 紹 介 | | 102 | 4 | 2 | 108 |
| ツベルクリン反応検査 | | 304 | | | 304 |
| B C G接種 | | 9 | | | 9 |
| ツ反後胸部X線検査 | | 37 | | | 37 |
| 肝機能検査 | | 95 | | | 95 |
| B型肝炎ワクチン接種 | | 473 | | 9 | 482 |
| インフルエンザワクチン接種 | | 273 | | | 273 |
| 骨 密 度 測 定 | | | | | 0 |
| 救急カバン貸出し | | 31 | | 3 | 34 |
| 合 計 | | 5,915 | 36 | 301 | 6,252 |

○平成17年度

| 区 分 | | 学 生 | 外国人留学生 | 職 員 | 計 |
|--------------------|-------|-------|--------|-----|-------|
| 健 康 診 断 | | | 8 | | 8 |
| 健康診断事後措置（再検査） | | 149 | | | 149 |
| 検 査 等 | 身体測定 | 1,325 | | 9 | 1,334 |
| | 視力測定 | 150 | 1 | 5 | 156 |
| | 聴力測定 | 99 | | 5 | 104 |
| | 尿 検 査 | 37 | 1 | 7 | 45 |
| | 血圧測定 | 152 | 1 | 16 | 169 |
| | 心電図検査 | 94 | | 4 | 98 |
| | 体力測定 | | | | 0 |
| | その他 | 98 | | 2 | 100 |
| 身体面の健康相談（スポーツ相談含む） | | 297 | 5 | 16 | 318 |
| 健康診断書の発行 | | 506 | | 11 | 517 |
| 精神面の健康相談およびカウンセリング | | 136 | | 66 | 202 |
| 休養室の利用 | | 26 | | | 26 |
| 応 急 処 置 | | 1,216 | 9 | 111 | 1,336 |
| 専 門 医 紹 介 | | 148 | 2 | 1 | 151 |
| ツベルクリン反応検査 | | 462 | | | 462 |
| B C G接種 | | 12 | | | 12 |
| ツ反後胸部X線検査 | | 54 | | | 54 |
| 肝機能検査 | | 91 | | | 91 |
| B型肝炎ワクチン接種 | | 555 | | 8 | 563 |
| インフルエンザワクチン接種 | | 322 | | | 322 |
| 骨 密 度 測 定 | | 30 | | | 30 |
| 救急カバン貸出し | | 28 | | | 28 |
| 合 計 | | 5,987 | 27 | 261 | 6,275 |

○平成18年度

| 区 分 | | 学 生 | 外国人留学生 | 職 員 | 計 |
|--------------------|-------|-------|--------|-----|-------|
| 健 康 診 断 | | | 14 | | 14 |
| 健康診断事後措置（再検査） | | 163 | | | 163 |
| 検 査 等 | 身体測定 | 1,309 | | 6 | 1,315 |
| | 視力測定 | 135 | 1 | 11 | 147 |
| | 聴力測定 | 65 | | 7 | 72 |
| | 尿 検 査 | 35 | | 55 | 90 |
| | 血圧測定 | 116 | 1 | 31 | 148 |
| | 心電図検査 | 77 | | 8 | 85 |
| | 体力測定 | | | | 0 |
| | そ の 他 | 67 | 4 | 5 | 76 |
| 身体面の健康相談（スポーツ相談含む） | | 218 | 6 | 14 | 238 |
| 健康診断書の発行 | | 485 | 5 | 14 | 504 |
| 精神面の健康相談およびカウンセリング | | 77 | | 42 | 119 |
| 休養室の利用 | | 23 | | | 23 |
| 応 急 処 置 | | 916 | 15 | 120 | 1,051 |
| 専 門 医 紹 介 | | 105 | 5 | 2 | 112 |
| ツベルクリン反応検査 | | 352 | | 42 | 394 |
| B C G接種 | | 9 | | | 9 |
| ツ反後胸部X線検査 | | 33 | | | 33 |
| 肝機能検査 | | 190 | | | 190 |
| B型肝炎ワクチン接種 | | 503 | | 16 | 519 |
| インフルエンザワクチン接種 | | 303 | | 15 | 318 |
| 骨 密 度 測 定 | | 22 | | | 22 |
| 救急カバン貸出し | | 36 | | | 36 |
| 合 計 | | 5,239 | 51 | 388 | 5,678 |

○平成19年度

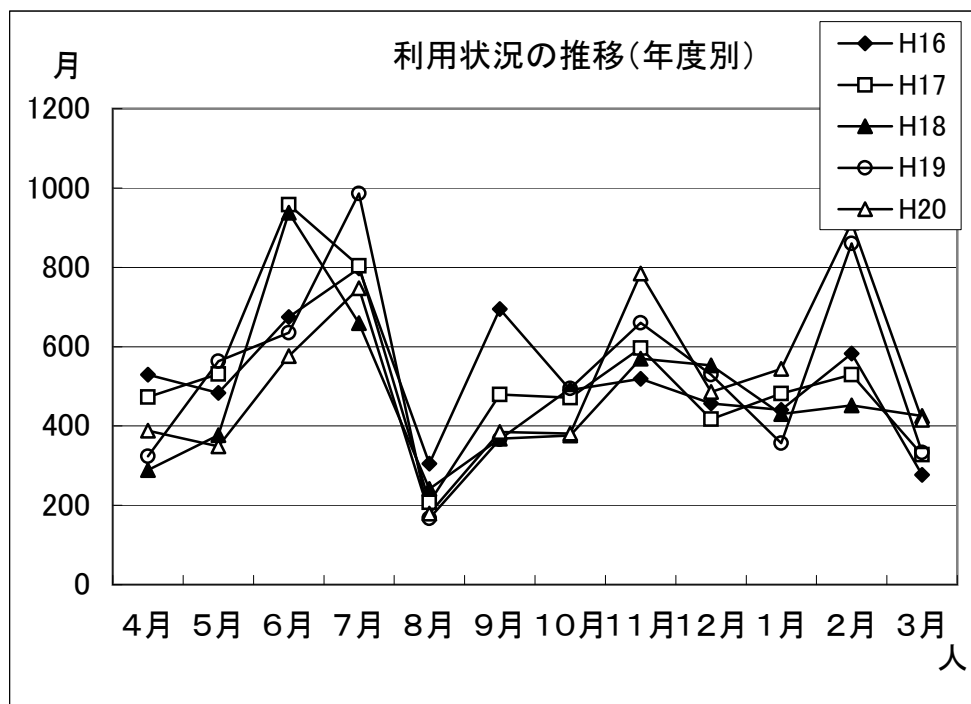
| 区 分 | | 学 生 | 外国人留学生 | 職 員 | 計 |
|--------------------|-------|-------|--------|-----|-------|
| 健 康 診 断 | | | 12 | | 12 |
| 健康診断事後措置（再検査） | | 203 | | 72 | 275 |
| 検 査 等 | 身体測定 | 1,273 | | 3 | 1,276 |
| | 視力測定 | 123 | 1 | 8 | 132 |
| | 聴力測定 | 73 | 2 | 9 | 84 |
| | 尿 検 査 | 53 | | 11 | 64 |
| | 血圧測定 | 144 | | 15 | 159 |
| | 心電図検査 | 64 | | 11 | 75 |
| | 体力測定 | | | | 0 |
| | そ の 他 | 64 | 2 | 10 | 76 |
| 身体面の健康相談（スポーツ相談含む） | | 255 | 6 | 13 | 274 |
| 健康診断書の発行 | | 499 | 1 | 27 | 527 |
| 精神面の健康相談およびカウンセリング | | 112 | | 51 | 163 |
| 休養室の利用 | | 21 | | | 21 |
| 応 急 処 置 | | 649 | 23 | 100 | 772 |
| 専 門 医 紹 介 | | 113 | 3 | 3 | 119 |
| ツベルクリン反応検査 | | 327 | | 75 | 402 |
| B C G接種 | | 6 | | | 6 |
| ツ反後胸部X線検査 | | 15 | | | 15 |
| 抗体検査 | | 372 | | | 372 |
| B型肝炎ワクチン接種 | | 795 | | 44 | 839 |
| インフルエンザワクチン接種 | | 342 | | 12 | 354 |
| 骨 密 度 測 定 | | 22 | | | 22 |
| 小児感染症ワクチン紹介状 | | 197 | | | 197 |
| 救急カバン貸出し | | 37 | | 2 | 39 |
| 合 計 | | 5,759 | 50 | 466 | 6,275 |

○平成20年度

| 区 分 | 学 生 | 外国人留学生 | 職 員 | 計 |
|--------------------|-------|--------|-----|-------|
| 健 康 診 断 | | 5 | | 5 |
| 健康診断事後措置（再検査） | 239 | | 54 | 293 |
| 検 査 等 | 身体測定 | 1,211 | 1 | 1,212 |
| | 視力測定 | 126 | 1 | 129 |
| | 聴力測定 | 58 | 1 | 59 |
| | 尿 検 査 | 29 | 3 | 34 |
| | 血圧測定 | 118 | 7 | 141 |
| | 心電図検査 | 63 | 1 | 66 |
| | 体力測定 | | | 0 |
| | そ の 他 | 80 | 4 | 3 |
| 身体面の健康相談（スポーツ相談含む） | 252 | 4 | 40 | 296 |
| 健康診断書の発行 | 435 | 1 | 11 | 447 |
| 精神面の健康相談およびカウンセリング | 166 | | 52 | 218 |
| 休養室の利用 | 25 | | 3 | 28 |
| 応 急 処 置 | 831 | 34 | 84 | 949 |
| 専 門 医 紹 介 | 113 | 2 | 4 | 119 |
| ツベルクリン反応検査 | 358 | | 86 | 444 |
| B C G接種 | | | | 0 |
| ツ反後胸部X線検査 | 31 | | | 31 |
| 抗体検査 | 340 | | | 340 |
| B型肝炎ワクチン接種 | 664 | | 49 | 713 |
| インフルエンザワクチン接種 | 353 | | 14 | 367 |
| 骨 密 度 測 定 | 8 | | | 8 |
| 小児感染症ワクチン紹介状 | 129 | | | 129 |
| 救急カバン貸出し | 31 | | 2 | 33 |
| 合 計 | 5,660 | 64 | 424 | 6,148 |

② 年度別・月別利用件数

| 月 | H16 | | | | H17 | | | | H18 | | | | H19 | | | | H20 | | | |
|----|-------|----|----|-----|-------|----|----|-----|-------|----|----|-----|-------|----|----|-----|-------|----|----|-----|
| | 学生 | 留学 | 職員 | 計 | 学生 | 留学 | 職員 | 計 | 学生 | 留学 | 職員 | 計 | 学生 | 留学 | 職員 | 計 | 学生 | 留学 | 職員 | 計 |
| 4 | 498 | 3 | 28 | 529 | 445 | 2 | 26 | 473 | 270 | 2 | 17 | 289 | 251 | 4 | 69 | 324 | 301 | 0 | 87 | 388 |
| 5 | 465 | 0 | 18 | 483 | 504 | 6 | 21 | 531 | 359 | 1 | 17 | 377 | 537 | 1 | 25 | 563 | 338 | 1 | 10 | 349 |
| 6 | 645 | 6 | 24 | 675 | 938 | 0 | 20 | 958 | 915 | 3 | 20 | 938 | 620 | 0 | 15 | 635 | 552 | 2 | 22 | 576 |
| 7 | 784 | 1 | 12 | 797 | 781 | 3 | 20 | 804 | 597 | 1 | 61 | 659 | 917 | 3 | 66 | 986 | 686 | 2 | 59 | 747 |
| 8 | 292 | 0 | 13 | 305 | 173 | 0 | 34 | 207 | 204 | 4 | 33 | 241 | 152 | 3 | 12 | 167 | 143 | 7 | 29 | 179 |
| 9 | 664 | 1 | 30 | 695 | 466 | 0 | 13 | 479 | 299 | 2 | 67 | 368 | 336 | 6 | 24 | 366 | 339 | 4 | 42 | 385 |
| 10 | 457 | 2 | 32 | 491 | 453 | 1 | 17 | 471 | 338 | 12 | 26 | 375 | 439 | 4 | 52 | 495 | 347 | 7 | 27 | 381 |
| 11 | 473 | 4 | 42 | 519 | 578 | 3 | 15 | 596 | 525 | 7 | 38 | 570 | 580 | 18 | 62 | 660 | 740 | 8 | 36 | 784 |
| 12 | 435 | 1 | 21 | 457 | 384 | 12 | 21 | 417 | 514 | 10 | 29 | 553 | 508 | 1 | 20 | 529 | 453 | 6 | 27 | 486 |
| 1 | 408 | 2 | 31 | 441 | 468 | 0 | 14 | 482 | 415 | 0 | 15 | 430 | 329 | 0 | 28 | 357 | 527 | 3 | 14 | 544 |
| 2 | 565 | 5 | 13 | 583 | 499 | 0 | 30 | 529 | 435 | 1 | 16 | 452 | 805 | 5 | 50 | 860 | 886 | 4 | 23 | 913 |
| 3 | 229 | 11 | 37 | 277 | 298 | 0 | 30 | 328 | 368 | 8 | 49 | 425 | 285 | 5 | 43 | 333 | 348 | 20 | 48 | 416 |
| | 6,252 | | | | 6,275 | | | | 5,678 | | | | 6,275 | | | | 6,148 | | | |



③ 健康診断書の発行件数

- 奨学金申請手続きのための健康診断書（医学科、看護学科、留学生）
- 病院見学のための健康診断書（医学科、看護学科）
- 保育所実習のための健康診断書（看護学科）
- 医科研修医・マッチングのための健康診断書（医学科）
- 看護師、保健師、養護教諭採用試験受験のための健康診断書（看護学科）
- 雇入時健康診断書（医学科、看護学科、職員）
- 就職活動のための健康診断書（大学院生・・・医科学修士）

発行延件数

| | 学生 | 外国人留学生 | 職員 | 計 |
|----------|-----|--------|----|-----|
| 平成 16 年度 | 652 | 4 | 15 | 671 |
| 平成 17 年度 | 506 | 0 | 11 | 517 |
| 平成 18 年度 | 485 | 5 | 14 | 504 |
| 平成 19 年度 | 499 | 1 | 27 | 527 |
| 平成 20 年度 | 435 | 1 | 11 | 447 |

※医師、看護師、保健師免許申請のための健康診断書（医学科、看護学科）は、別途に発行している。

④ 医療機関（専門医）紹介件数

紹介延件数

| | 学生 | 外国人留学生 | 職員 | 計 |
|----------|-----|--------|----|-----|
| 平成 16 年度 | 102 | 4 | 2 | 108 |
| 平成 17 年度 | 148 | 2 | 1 | 151 |
| 平成 18 年度 | 105 | 5 | 2 | 112 |
| 平成 19 年度 | 113 | 3 | 3 | 119 |
| 平成 20 年度 | 113 | 2 | 4 | 119 |

5. メンタルヘルス対策

① 新入生に対する心理テストの実施

和田 葉子

保健管理センター出雲では、平成 12 年度より、入学時に、新入生全員を対象とした心理検査を行い、学生のメンタルヘルスに貢献できるよう、その結果を個人にフィードバックして、自己理解の促進や自己管理の工夫に役立ててもらおうようにしています。大学時代は、これまでの生活環境や人間関係が大きく変化するときでもありますので、入学時に検査を行うことは、より効果的であると考えられ、メンタル面の課題の早期発見と予防にも繋がるものと思われまます。

当初は、心身両面のチェックが可能であるというメリットから、CMI 健康調査表 (Cornell Medical Index-Health Questionnaire) を実施していました。その実績を踏まえた上で、昨年度からは、学生さんの心の有り様に具体的に触れやすいという検査特徴から、ACS (Adolescence Crisis Scale/ 青年期の危機尺度) に変更して実施しています。

以下に、今回の年報に合わせ、平成 16 年度から 19 年度に実施した CMI の結果 (表 1) と平成 20 年度に実施した ACS の結果 (表 2) を示します。

表 1 CMI (H16 年度～H19 年度)

1. 医学科 () 内は実数

| | H16 | H17 | H18 | H19 |
|-----|------------|------------|------------|------------|
| I | 60.8% (31) | 50.0% (22) | 60.9% (39) | 53.4% (31) |
| II | 27.5% (14) | 36.4% (16) | 21.9% (14) | 32.8% (19) |
| III | 11.8% (6) | 11.4% (5) | 17.2% (11) | 8.6% (5) |
| IV | 0.0% (0) | 2.3% (1) | 0.0% (0) | 5.2% (3) |
| 計 | (51) | (44) | (64) | (58) |

2. 看護学科 () 内は実数

| | H16 | H17 | H18 | H19 |
|-----|------------|------------|------------|------------|
| I | 53.3% (24) | 63.6% (42) | 63.2% (24) | 57.9% (22) |
| II | 37.8% (17) | 30.3% (20) | 26.3% (10) | 34.2% (13) |
| III | 6.7% (3) | 4.5% (3) | 10.5% (4) | 7.9% (3) |
| IV | 2.2% (1) | 1.5% (1) | 0.0% (0) | 0.0% (0) |
| 計 | (45) | (66) | (38) | (38) |

表 2 ACS (H20 年度) () 内は実数

| | 医学科 | 看護学科 |
|------|-----------|-----------|
| 平均以上 | 32% (21) | 40% (17) |
| 平均以下 | 68% (45) | 60% (25) |
| 計 | 100% (66) | 100% (42) |

CMI で言うところのいわゆる健常群（領域Ⅰ・Ⅱ）は、80~90%台の割合を占めています。この結果によれば、大半の学生は、心身ともに健康な状態にあると考えられます。

一方、神経症（傾向）群（領域Ⅲ・Ⅳ）は、5~18%台の割合にあり、さらに、この検査に含まれる特定項目も考慮して「気になる学生」を選出し、呼び出しによる本人への結果報告をしています。合わせて、実施時に結果が知りたいと希望した「モチベーションの高い学生」についても、面談によるフィードバックを行っています。

また、ACS は、青年期の心の葛藤や揺れ、あるいは、実際の適応・不適応について、知ることができる検査です。ACS を実施した初年度（平成 20 年度）の結果によると、全体の 6~7 割が平均点以下になっており、一般の青年期群に比べ、葛藤や不適応が比較的少ない学生の方が多いことが分かります。しかし、CMI と同様、ACS についても、上位高得点群（「気になる学生」と結果が知りたい学生（「モチベーションの高い学生」）は、実際にセンターに来てもらい、一緒に結果を見て、当面している課題や葛藤について、話し合うようにしています。

CMI、ACS のいずれにせよ、このような個人的な直接のフィードバック法は、心理アセスメントやラポール作りにも大いに役立つので、時間は掛かりますが、良い方法だと実感しています。

さらに、こうした入学時の心理検査の実施と結果のフィードバック面接がきっかけとなって、学生達はその後の悩みや困り事について、保健管理センターを自発的に訪れるということも少なからずあります。

入学時のアセスメントの有効さをフルに活用するために、最も理想的なのは、全員へのフィードバックなのですが、出雲キャンパスは、医療系特有の授業の過密さのため、学生の時間に制約が非常に多いことや、フィードバックする側のスタッフのマンパワーの問題などもあって、現段階では、限られた学生さんへのより効率的なフィードバックとして実施する（スクリーニングして面談する）ことに、まず第一の目標を置いて行っています。

昨今は、キャンパスで見出しにくい心理面の問題も多くあり、そのような困難さを抱えた学生達の早期発見や支援活動は、今後ますます難しく、しかし、大変重要な課題になるものと思われまます。しかしながら、こうした課題への万能薬はありませんので、打てる手を打っていくということになるのですが、こうしたスクリーニングを毎年欠かさず実施していくことも、その一つの手立てになるものと考えています。

以上、平成 16 年度から平成 20 年度に行った新入生心理テストの結果に、若干の考察を加えて報告しました。

② 精神衛生相談・カウンセリング利用状況

| | 学生 | 外国人留学生 | 職員 | 計 |
|----------|-----|--------|----|-----|
| 平成 16 年度 | 131 | 0 | 38 | 169 |
| 平成 17 年度 | 136 | 0 | 66 | 202 |
| 平成 18 年度 | 77 | 0 | 42 | 119 |
| 平成 19 年度 | 112 | 0 | 51 | 163 |
| 平成 20 年度 | 166 | 0 | 52 | 218 |

Ⅲ：教職員の健康管理

1. 教職員のセンター利用件数

| | H. 16 年度 | H. 17 年度 | H. 18 年度 | H. 19 年度 | H. 20 年度 |
|------|----------|----------|----------|----------|----------|
| メンタル | 38 件 | 66 件 | 42 件 | 51 件 | 52 件 |
| 応急処置 | 112 件 | 111 件 | 120 件 | 100 件 | 84 件 |
| その他 | 151 件 | 84 件 | 226 件 | 315 件 | 288 件 |
| 計 | 301 件 | 261 件 | 388 件 | 466 件 | 424 件 |

2. 産業医としての業務

月 1 回の安全衛生委員会と職場巡視の他に、職員健康診断事後措置の業務を行った。

Ⅳ：広報・啓発活動

1. 保健管理センターのしおり発行

2. 島根大学保健管理センター出雲のホームページ

3. 健康教育：テーピング講習会

平成 4 年度より「スポーツと健康」と題して健康教室を開催、その後、平成 5 年度より毎年、夏休み直前に、西日本医学生体育大会の対策として「テーピング講習会」に名称を変更して教室を開催。

| | H. 16 年度 | H. 17 年度 | H. 18 年度 | H. 19 年度 | H. 20 年度 |
|------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 参加人数 | 36 名 | 61 名 | 28 名 | 36 名 | 34 名 |

4. 学生骨密度測定

毎年、学生健康診断の事後措置の一環として、摂食障害の発見と、食生活、運動習慣の指導を目的に、低体重者を対象に、島根難病研究所において、DXA、InBody、踵骨骨密度測定装置を用いて体脂肪率、骨密度を測定した。

| | H. 16 年度 | H. 17 年度 | H. 18 年度 | H. 19 年度 | H. 20 年度 |
|------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 測定人数 | 23 名 | 30 名 | 22 名 | 22 名 | 8 名 |

I : 学術研究活動

1. 研究会主催

○第35回中国・四国保健管理研究集会 平成17年8月24, 25, 26日(松江テルサ)

教育講演 本田雄一(島根大学学長) 「法人化後の大学運営」～島根大学の現状と将来展望～

堀口淳(島根大学医学部精神医学教授) 「睡眠について」

川内秀之(島根大学医学部耳鼻咽喉科学教授) 「アレルギー性鼻炎について—小児例を中心に—」

○島根学生相談研究会

平成16年度

第13回島根学生相談研究会 平成16年9月2日(松江キャンパス)

シンポジウム

第14回島根学生相談研究会 平成17年2月24日(出雲キャンパス)

講師 東京工業大学 斉藤憲司

平成17年度

第15回島根学生相談研究会 平成18年3月29日(松江キャンパス)

情報交換および事例検討

平成18年度

第16回島根学生相談研究会 平成19年3月2日(松江市)

中四国大学精神保健・学生相談研究会開催に併せて

平成19年度

第17回島根学生相談研究会 平成19年9月6日(出雲キャンパス)

講師 広島修道大学 大島啓利

第18回島根学生相談研究会 平成20年3月25日(出雲キャンパス)

講師 東京工業大学 影山任佐

平成20年度

第19回島根学生相談研究会 平成20年12月22日(出雲キャンパス)

講師 広島女学院大学 岩村 聡

2. 研究会参加

平成 16 年度

| | | | | | |
|-----|-------------------------|-------------|--------------|------|------|
| 8月 | 第34回中国・四国大学保健管理研究集会(香川) | 猪野郁子 柏紀子 | 荒川長巳 米原満子 | 野原隆彦 | 坪倉千歳 |
| 10月 | 第42回全国大学保健管理研究集会(大阪) | 猪野郁子 | 荒川長巳 | 野原隆彦 | |
| 11月 | 第6回日本骨粗鬆症学会(大宮) | 野原隆彦 | | | |

平成 17 年度

| | | | | | |
|-----|-----------------------|--------------------|--------------|--------------|--------------|
| 8月 | 第35回中国・四国保健管理研究集会(松江) | 蘆田耕一 山本大介 早瀬眞知子 | 杉本利嗣 坪倉千歳 | 荒川長巳 米原満子 | 野原隆彦 石倉陽子 |
| 10月 | 第43回全国大学保健管理研究集会(山形) | 蘆田耕一 | 荒川長巳 | 野原隆彦 | 柏紀子 |
| 11月 | 中国・四国メンタルヘルス研究協議会 | 山本大介 | | | |

平成 18 年度

| | | | | | |
|-----|-----------------------|------|------|------|-----|
| 8月 | 第36回中国・四国保健管理研究集会(徳島) | 蘆田耕一 | 荒川長巳 | 野原隆彦 | 柏紀子 |
| 10月 | 第44回全国大学保健管理研究集会(東京) | 蘆田耕一 | 荒川長巳 | 野原隆彦 | |

平成 19 年度

| | | | | | |
|-----|----------------------------|--------------|-------|------|-----|
| 8月 | 第37回中国・四国保健管理研究集会(広島) | 蘆田耕一 米原満子 | 野原隆彦 | 荒川長巳 | 柏紀子 |
| 10月 | 第45回全国大学保健管理研究集会(別府) | 荒川長巳 | 野原隆彦 | | |
| 11月 | 中国・四国メンタルヘルス研究協議会(松山) | 野原隆彦 | | | |
| 1月 | 第41回全国学生相談研究会議(東京) | 河野美江 | 早瀬眞知子 | | |
| 1月 | 第28回全国大学メンタルヘルス研究会(湘南) | 野原隆彦 | | | |
| 3月 | 第26回学生相談セミナー「自殺をめぐる問題」(東京) | 河野美江 | 早瀬眞知子 | | |
| 3月 | 第32回中四国大学精神保健・学生相談研究会(神戸) | 早瀬眞知子 | | | |

平成 20 年度

| | | | | | |
|-----|---------------------------|---------------|-------|------|------------------|
| 8月 | 第38回中国・四国保健管理研究集会(高知) | 蘆田耕一 早瀬眞知子 | 野原隆彦 | 荒川長巳 | 河野美江 坪倉千歳 柏紀子 |
| 9月 | 平成20年度メンタルヘルス研究協議会(東京) | 野原隆彦 | | | |
| 10月 | 第45回全国大学保健管理研究集会(京都) | 蘆田耕一 | 野原隆彦 | 荒川長巳 | |
| 10月 | 平成20年度発達障害のある学生支援研修会(広島) | 河野美江 | 早瀬眞知子 | | |
| 11月 | 平成20年度全国学生指導研修会(東京) | 蘆田耕一 | 荒川長巳 | | |
| 12月 | 第19回島根学生相談研究会 | 蘆田耕一 | 野原隆彦 | 河野美江 | 早瀬眞知子 柏紀子 |
| 1月 | 第42回全国学生相談研究会議(東京) | 河野美江 | | | |
| 3月 | 第33回中四国大学精神保健・学生相談研究会(広島) | 早瀬眞知子 | 河野美江 | | |

3. 学会・研究会発表

平成 16 年度

8 月 第 34 回中国・四国大学保健管理研究集会（香川）

- ・「職員への健康管理の取り組み―統合・独立行政法人化で生じた病休者続出への対応―」

○荒川長巳 柏紀子 坪倉千歳 山本大介 猪野郁子

10 月 第 42 回全国大学保健管理研究集会（大阪）

- ・「リハビリ出勤の試み―職場復帰プログラムの経験―」

○荒川長巳

- ・「胸部 X 線撮影時の被ばく線量-第 3 報-」

○野原隆彦 寺尾英夫 戸部和夫 長尾啓一 武蔵学

- ・「体力（歩速で見る脚力）と骨密度の関係」

○野原隆彦 米原満子 小林祥泰

11 月 第 6 回日本骨粗鬆症学会（大宮）

- ・「歩速で見る脚力と、腰椎 (DXA) ならびに踵骨 (QUS) 骨密度の関係」

○野原隆彦

平成 17 年度

8 月 第 35 回中国・四国大学保健管理研究集会（松江）

- ・「入学時健康調査票にみる最近の学生」

○荒川長巳 柏紀子 坪倉千歳

- ・「胸部縦隔腫瘍の 1 例」

○野原隆彦 米原満子 杉本利嗣

- ・「島根医科大学および島根大学医学部における学生骨密度検診 10 年の歩み」

○米原満子 野原隆彦 杉本利嗣

- ・シンポジウム「学生と職員を守る礎に―メンタルヘルスを中心に―」：「ほけかんのチカラ」

○山本大介 柏紀子 坪倉千歳 早瀬真知子 荒川長巳

- ・「大学生にもなって親なんて」なんて・・・

○山本大介 柏紀子 坪倉千歳 早瀬真知子 荒川長巳

- ・「食」を通じたコミュニケーション作りの試み

○石倉陽子 荒川長巳

10 月 第 43 回全国大学保健管理研究集会（山形）

- ・「胸部 X 線撮影時の被ばく線量 - 第 4 報 - 」

○野原隆彦 寺尾英夫 戸部和夫 長尾啓一 武蔵学

平成 18 年度

8 月 第 36 回中国・四国大学保健管理研究集会（徳島）

- ・「学生寮の伝統的行事による健康被害」

○荒川長巳 山本大介 坪倉千歳 柏紀子 蘆田耕一

10月 第44回全国大学保健管理研究集会（東京）

- ・「胸部X線撮影時の被ばく線量 - 第5報 -」
○野原隆彦 寺尾英夫 戸部和夫 長尾啓一 武蔵学

1月 第28回全国大学メンタルヘルス研究会（湘南）

- ・「ゲームにはまって引きこもり、退学を余儀なくされたA君」
○野原隆彦

平成19年度

8月 第37回中国・四国大学保健管理研究集会（広島）

- ・「K大学の「百日咳流行」への本学部の対応について」
○野原隆彦 米原満子 杉本利嗣
- ・「島根大学におけるカルト対策について」
○荒川長巳 寺脇令子 蘆田耕一
- ・「医学部学生の感染症対策について - 麻疹流行期の影響と対応 -」
○米原満子 野原隆彦 杉本利嗣

10月 第45回全国大学保健管理研究集会（大分）

- ・「胸部X線撮影時の被ばく線量-第6報-」
○野原隆彦 寺尾英夫 戸部和夫 長尾啓一 武蔵学

平成20年度

8月 第38回中国・四国大学保健管理研究集会（高知）

- ・「職員の健康管理ーメンタルヘルスを中心にー」
○野原隆彦 米原満子 杉本利嗣
- ・「島根大学におけるカルト対策について（第2報）」
○荒川長巳 柏紀子 早瀬眞知子 河野美江 坪倉千歳 蘆田耕一
- ・「気になる学生」調査報告 そのⅠ
○河野美江 寺脇玲子 早瀬眞知子 妹尾明子 深石優子 下平明美 柏紀子 坪倉千歳
荒川長巳 蘆田耕一
- ・「気になる学生」調査報告 そのⅡ
○早瀬眞知子 寺脇玲子 河野美江 妹尾明子 深石優子 下平明美 柏紀子 坪倉千歳
荒川長巳、蘆田耕一
- ・「“居場所”として機能する保健管理センター」
○柏紀子 早瀬眞知子 河野美江 坪倉千歳 荒川長巳 蘆田耕一

10月 第45回全国大学保健管理研究集会（京都）

- ・「学生健康診断における胸部X線撮影時の被ばく線量ー7年間の推移ー」
○野原隆彦 寺尾英夫 戸部和夫 長尾啓一 武蔵学

3月 第33回中四国大学精神保健・学生相談研究集会（広島）

- ・「場面緘目の女子学生とのかかわり」
○河野美江

4. 学術論文

1. 野原隆彦、加藤讓：青少年期における身体の発達と超音波踵骨骨量測定装置による踵骨骨密度との関係. *Osteoporosis Japan* 12, P299~P303, 2004
2. 山本大介：苦難を抱える学生への支援—キャンパスに共に在る者として—. *大学と学生* 8月号（通巻479号）. 独立行政法人日本学生支援機構, P15~P24, 2004
3. 野原隆彦、米原満子、小林祥泰：学生健康診断における胸部X線撮影時の被ばく線量. *CAMPAS HEALTH* 42(2), P81~P86, 2005
4. Nohara T., Kamei T. and Ohta A. : Accelerated Decrease in Bone Mineral Density in Women Aged 52-57 Years. *Tohoku J Exp Med* 210, P341~P347, 2006
5. Goto M., Kawamura T., Shimbo T., Takahashi O., Ando M., Miyaki K., Nohara T., Watanabe H., Suzuki I. : Influence of Loxoprofen Use on Recovery from Naturally Acquired Upper Respiratory Tract Infections. A Randomized Controlled Trial. Aono M and for the Great Cold. Investigators-II . *Intern Med* 46. P1179~P1186, 2007)
6. Nohara T., Asai M. and Tanaka S. : Exposure Dosage Should be 0.5 mSv or Less, in Yearly Chest Fluorography for Students. Considerations of Risks and Benefits in Chest X-ray Examination. *Shimane Med Sci* 24. P21~P27, 2007
7. 野原隆彦：骨密度測定の意義—体力ならびに身体の発達と骨密度の関係—. *島根医学* 28, P94~P99, 2008
8. Nohara T., Terao H., Tobe K., Musashi M. and Nagao K.: Risk of Chest X-ray Examination for Students. *Acta Med Okayama* 63, P 43~P47, 2009
9. Nohara T., Ueda M., Ohta A. and Sugimoto T.: Correlation of Body Growth and Bone Mineral Density Measured by Ultrasound Densitometry of the Calcaneus in Children and Adolescents. *Tohoku J Exp Med* 219 P63~P69, 2009

5. 報告書

1. 荒川長巳、柏紀子、坪倉千歳、山本大介、猪野郁子：職員への健康管理の取り組み—統合・独立行政法人化で生じた病休者続出への対応—. 第34回中国・四国大学保健管理研究集会報告書. P91~P95, 2004
2. 山本大介、柏紀子、坪倉千歳、早瀬真知子、荒川長巳：ほけかんのチカラ. 第35回中国・四国大学保健管理研究集会報告書. P26~P29, 2005
3. 米原満子、野原隆彦、杉本利嗣：島根医科大学および島根医科大学における学生骨密度検診10年の歩み. 第35回中国・四国大学保健管理研究集会報告書. P31~P34, 2005
4. 荒川長巳、柏紀子、坪倉千歳：入学時健康調査票にみる最近の学生. 第35回中国・四国大学保健管理研究集会報告書. P52~P56, 2005
5. 野原隆彦、米原満子、杉本利嗣：胸部縦隔腫瘍の1例. 第35回中国・四国大学保健管理研究集会報告書. P80~P81, 2005
6. 石倉陽子、荒川長巳：「食」を通じたコミュニケーション作りの試み. 第35回中国・四国大学保健管理研究集会報告書. P105~P108, 2005
7. 山本大介：「大学生にもなって親なんて」なんて・・・. 第35回中国・四国大学保健管理研究集会報告書. P109~P113, 2005
8. 荒川長巳、山本大介、坪倉千歳、柏紀子、蘆田耕一：学生寮の伝統的行事による健康被害. 第36回中国・四国大学保健管理研究集会報告書. P53~56, 2006
9. 野原隆彦、米原満子、杉本利嗣：K大学の「百日咳流行」への本学部の対応について. 第37回中国・四国大学保健管理研究集会報告書 P69~P71, 2007

10. 米原満子、野原隆彦、杉本利嗣：医学部学生の感染症対策について - 麻疹流行期の影響と対応 - .
第 37 回中国・四国大学保健管理研究集会報告書 P72~P75, 2007
11. 荒川長巳、寺脇令子、蘆田耕一：島根大学におけるカルト対策について. 第 37 回中国・四国大学保健管理研究集会報告書 P115~P119, 2007
12. 野原隆彦：ゲームにはまって引きこもり、退学を余儀なくされた A 君. 第 28 回全国大学メンタルヘルス研究会報告書 P82~P85,2007
13. 河野美江、寺脇玲子：「気になる学生」調査報告 その I. 第 38 回中国・四国大学保健管理研究集会報告書 P59~P62, 2008
14. 早瀬眞知子、寺脇令子：「気になる学生」調査報告 その II. 第 38 回中国・四国大学保健管理研究集会報告書 P53~P66, 2008
15. 柏紀子、坪倉千歳、荒川長巳、早瀬眞知子、河野美江、蘆田耕一：“居場所”として機能する保健管理センター～利用状況からみえるもの～. 第 38 回中国・四国大学保健管理研究集会報告書 P80~P84, 2008
16. 野原隆彦、米原満子、杉本利嗣：職員の健康管理ーメンタルヘルスを中心にー. 第 38 回中国・四国大学保健管理研究集会報告書 P85~P88, 2008
17. 荒川長巳、寺脇玲子、早瀬眞知子、柏紀子、坪倉千歳、河野美江、蘆田耕一：島根大学におけるカルト対策について（第 2 報）. 第 38 回中国・四国大学保健管理研究集会報告書 P98~P101, 2008
18. 野原隆彦、寺尾英夫、戸部和夫、長尾啓一、武蔵学：胸部 X 線撮影時の被ばく線量-第 6 報- . CAMPUS HEALTH 45(1),P 233~P235, 2008
19. 米原満子、野原隆彦：大学における安全衛生管理と産業看護の現状ー看護職等の職務調査結果からー. 第 39 回中国・四国大学保健管理研究集会報告書 P97~P100,2009
20. 野原隆彦、寺尾英夫、戸部和夫、長尾啓一、武蔵学：学生健康診断における胸部 X 線撮影時の被ばく線量. CAMPUS HEALTH 46(1)・P221~P223,2009
21. 河野美江、寺脇玲子：「学生のメンタルヘルス」のアンケート調査報告. 学生の自主的活動の評価と教育効果の向上・2007-2008 年度中間報告書 P31~P37, 2009

Ⅱ：教育活動

野原隆彦

健康・スポーツ科学概論（医学部医学科）
チュートリアル（医学部医学科）
医学概論（医学部医学科・看護学科）
スポーツ医学（教育学部）
生活と健康（共通教養）

荒川長巳

健康・スポーツ科学概論Ⅰ（教育学部・生物資源科学部・総合理工学部・法文学部）
健康・スポーツ科学概論Ⅱ（共通教養）
社会と大学Ⅰ（共通教養）
酒一1杯の酒から学問を覗く（共通教養）
人と職業（共通教養）

河野美江

健康・スポーツ科学概論Ⅰ（教育学部・生物資源科学部・総合理工学部・法文学部）
健康・スポーツ科学概論Ⅱ（教養教育）
臨床心理（看護学科）
ジェンダー（共通教養）

早瀬眞知子

健康・スポーツ科学概論Ⅱ（共通教養）

（以上、学内に限る）

Ⅲ：社会貢献・講演

野原隆彦

県医師会・スポーツ医部会役員

出雲市スポーツ振興審議会・委員

出雲市スポーツアカデミー・運営委員

出雲市スポーツアカデミー・幼少年期スポーツ専門部会・部会員

フラッグフットボールの講習会を3回（計6時間）

今市小学校のクラブ活動の指導（10回、10時間）

加茂町(2,005年度から雲南市)の転倒予防教室での体力測定と指導

○講演

平成17年度 島根教育公務員弘済会出雲支部講演「健康で長生きしてみませんか」

NPO 法人出雲スポーツ振興 21 講演「第2回スポーツ健康セミナー」

平成18年度 出雲市湖陵支所市民福祉課講演「介護予防講演会」

平成19年度 運輸労連島根県連合会講演「腰痛予防について」

松江工業高等専門学校講演「思春期の若者の心理」

平成20年度 出雲市スポーツアカデミー講演「テーピング講習会」

荒川長巳

島根県たばこ対策委員

○講演

平成19年度 島根県立短期大学出雲キャンパスカルト啓発講演「学生生活の危険」

島根県栄養士会講演 「効果のある保健指導のアプローチ」

「行動変容に関する理論、保健指導の実際」

島根県警県民相談課電話相談員講演 「カルトと大学生」

平成20年度 島根県立短期大学出雲キャンパスカルト啓発講演 「学生生活の危険」

河野美江

島根県学校・地域保健連携推進連絡協議会委員

島根県健康相談アドバイザー

松江市医師会学校保健部委員

松江市男女共同参画委員（平成20年）

○講演

平成19年度 松江市性教育部会講演会 「子どもたちの心とからだの声を聴こう」

性教育講演会 中学校 3校、高校 1校、児童養護施設 1回

PTA 2回

平成20年度 松江市民健康講座 「女性の健康を守る～骨粗鬆症はいつから考える？～」

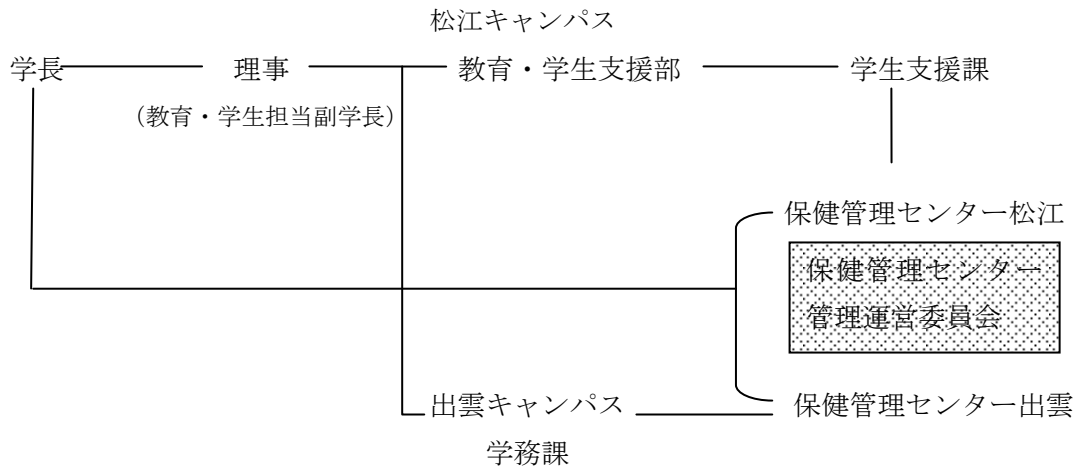
大田圏域思春期保健連絡会「思春期のころ～生徒の問題行動にどう対応するか～」

性教育講演会 中学校 14校、高校 9校、児童養護施設 2回

PTA 5回、 教員 1回

IV. 保健管理センター体制

1. 組織 平成 16 年～



2. 構成 平成 16 年度

| | | |
|---------|--------|-----------------------|
| 所 長 | 猪野 郁子 | (兼任 教育学部教授) |
| 副所長 | 小林 祥泰 | (兼任 医学部教授) |
| | (松江) | |
| 教 授 | 荒川 長巳 | (産業医・精神科医師) |
| 助教授 | 山本 大介 | (精神科医師) |
| 看護師・助産師 | 坪倉 千歳 | |
| 臨床検査技師 | 柏 紀子 | |
| 学校医 | 池田 博 | (内科医師) |
| 管理栄養士 | 石倉 陽子 | (学生支援課) |
| 嘱託講師 | 大西 俊江 | (臨床心理士) |
| 嘱託講師 | 足立 富美子 | (臨床心理士) |
| 嘱託講師 | 早瀬 眞知子 | (臨床心理士) |
| 事務担当 | 舟木 護 | (学生支援課長) |
| | 山田 智志 | (学生支援課専門職員 福利厚生・保健担当) |
| | (出雲) | |
| 講師 | 野原 隆彦 | (産業医・外科医師・大学カウンセラー) |
| 保健師 | 米原 満子 | |
| 学校医 | 安田 英彰 | (精神科神経科医師) |
| 嘱託講師 | 和田 葉子 | (臨床心理士) |
| 事務担当 | 葛原 和美 | (学務課専門職員 課外教育・厚生担当) |

平成 17 年度

| | | |
|---------|--------|-----------------------|
| 所 長 | 蘆田 耕一 | (兼任 法文学部教授) |
| 副所長 | 杉本 利嗣 | (兼任 医学部教授) |
| | (松江) | |
| 教 授 | 荒川 長巳 | (産業医・精神科医師) |
| 助教授 | 山本 大介 | (精神科医師) |
| 特任講師 | 早瀬 眞知子 | (臨床心理士) |
| 看護師・助産師 | 坪倉 千歳 | |
| 臨床検査技師 | 柏 紀子 | |
| 学校医 | 坂之上 一史 | (内科医師) |
| 管理栄養士 | 石倉 陽子 | (学生支援課) |
| 事務担当 | 若槻 宏二 | (学生支援課長) |
| | 山田 智志 | (学生支援課専門職員 福利厚生・保健担当) |
| | (出雲) | |
| 助教授 | 野原 隆彦 | (産業医・外科医師・大学カウンセラー) |
| 保健師 | 米原 満子 | |
| 嘱託講師 | 和田 葉子 | (臨床心理士) |
| 事務担当 | 葛原 和美 | (学務課学生支援室 専門職員) |

平成 18 年度

| | | |
|---------|--------|-----------------------|
| 所 長 | 蘆田 耕一 | (兼任 法文学部教授) |
| 副所長 | 杉本 利嗣 | (兼任 医学部教授) |
| | (松江) | |
| 教 授 | 荒川 長巳 | (産業医・精神科医師) |
| 准教授 | 山本 大介 | (精神科医師) |
| 特任講師 | 早瀬 眞知子 | (臨床心理士) |
| 看護師・助産師 | 坪倉 千歳 | (看護師・助産師) |
| 臨床検査技師 | 柏 紀子 | |
| 学校医 | 坂之上 一史 | (内科医師) |
| 管理栄養士 | 石倉 陽子 | (学生支援課) |
| 事務担当 | 二瀬 勝康 | (学生支援課長) |
| | 山田 智志 | (学生支援課専門職員 福利厚生・保健担当) |
| | (出雲) | |
| 助教授 | 野原 隆彦 | (産業医・外科医師・大学カウンセラー) |
| 保健師 | 米原 満子 | |
| 嘱託講師 | 和田 葉子 | (臨床心理士) |
| 事務担当 | 長妻 久美子 | (学務課学生支援室 専門職員) |

平成 19 年度

| | | |
|---------|--------|-----------------------------------|
| 所 長 | 蘆田 耕一 | (兼任 法文学部教授) |
| 副所長 | 杉本 利嗣 | (兼任 医学部教授) |
| | (松江) | |
| 教 授 | 荒川 長巳 | (産業医・精神科医師) |
| 准教授 | 山本 大介 | (精神科医師) ~平成 19 年 4 月 |
| 講 師 | 河野 美江 | (産婦人科医師・臨床心理士) 平成 20 年 1 月～ |
| 特任講師 | 早瀬 真知子 | (臨床心理士) |
| 看護師・助産師 | 坪倉 千歳 | |
| 臨床検査技師 | 柏 紀子 | |
| 学校医 | 坂之上 一史 | (内科医師) |
| 管理栄養士 | 石倉 陽子 | (学生課支援課) |
| 事務担当 | 杠 孝之 | (学生支援課長) 平成 19 年 4 月 1 日～7 月 31 日 |
| | 加藤 文夫 | (学生支援課長) 平成 19 年 8 月 1 日～ |
| | 森山 弘 | (学生支援課) |
| | (出雲) | |
| 教 授 | 野原 隆彦 | (産業医・外科医師・大学カウンセラー) |
| 保健師 | 米原 満子 | |
| 嘱託講師 | 和田 葉子 | (臨床心理士) |
| 事務担当 | 長妻 久美子 | (学務課学生支援室 専門職員) |

平成 20 年度

| | | |
|---------|--------|---------------------|
| 所 長 | 蘆田 耕一 | (兼任 法文学部教授) |
| 副所長 | 杉本 利嗣 | (兼任 医学部教授) |
| | (松江) | |
| 教 授 | 荒川 長巳 | (産業医・精神科医師) |
| 講 師 | 河野 美江 | (産婦人科医師・臨床心理士) |
| 特任講師 | 早瀬 真知子 | (臨床心理士) |
| 看護師・助産師 | 坪倉 千歳 | |
| 臨床検査技師 | 柏 紀子 | |
| 学校医 | 坂之上 一史 | (内科医師) |
| 管理栄養士 | 石倉 陽子 | (学生課支援課) |
| 事務担当 | 加藤 文夫 | (学生支援課長) |
| | 日野 勲 | (学生支援課) |
| | (出雲) | |
| 教 授 | 野原 隆彦 | (産業医・外科医師・大学カウンセラー) |
| 保健師 | 米原 満子 | |
| 嘱託講師 | 和田 葉子 | (臨床心理士) |
| 事務担当 | 長妻 久美子 | (学務課学生支援室 専門職員) |

3. 保健管理センター管理運営委員会

平成16年度

| | | | | | |
|-----|---------------|----|----|----|----------|
| 委員長 | 保健管理センター所長 | 猪野 | 郁子 | | |
| 委員 | 副学長 | 山本 | 廣基 | | |
| | 医学部附属病院長 | 加藤 | 讓 | | |
| | 法文学部（評議員） | 竹永 | 三男 | | |
| | 教育学部（評議員） | 伊藤 | 豊彦 | | |
| | 総合理工学部（評議員） | 今岡 | 輝男 | | |
| | 生物資源科学部（評議員） | 谷口 | 憲治 | | |
| | 医学部医学科内科学教授 | 高畠 | 利一 | | |
| | 医学部医学科精神神経科教授 | 堀口 | 淳 | | |
| | 医学部医学科眼科学教授 | 大平 | 明弘 | | |
| | 医学部医学科耳鼻咽喉科教授 | 川内 | 秀之 | | |
| | 保健管理センター副所長 | 小林 | 祥泰 | | |
| | 保健管理センター | 荒川 | 長巳 | 野原 | 隆彦 山本 大介 |

平成17年度

| | | | | | |
|-----|---------------|----|----|----|----------|
| 委員長 | 保健管理センター所長 | 蘆田 | 耕一 | | |
| 委員 | 副学長 | 山本 | 廣基 | | |
| | 医学部附属病院長 | 小林 | 祥泰 | | |
| | 法文学部（評議員） | 竹永 | 三男 | | |
| | 教育学部（評議員） | 伊藤 | 豊彦 | | |
| | 総合理工学部（評議員） | 今岡 | 輝男 | | |
| | 生物資源科学部（評議員） | 谷口 | 憲治 | | |
| | 医学部医学科内科学教授 | 高畠 | 利一 | | |
| | 医学部医学科精神神経科教授 | 堀口 | 淳 | | |
| | 医学部医学科眼科学教授 | 大平 | 明弘 | | |
| | 医学部医学科耳鼻咽喉科教授 | 川内 | 秀之 | | |
| | 保健管理センター副所長 | 杉本 | 利嗣 | | |
| | 保健管理センター | 荒川 | 長巳 | 野原 | 隆彦 山本 大介 |

平成18年度

| | | | |
|-----|-------------|----|----|
| 委員長 | 保健管理センター所長 | 蘆田 | 耕一 |
| 委員 | 副学長 | 坂本 | 一光 |
| | 医学部附属病院長 | 小林 | 祥泰 |
| | 法文学部（評議員） | 加藤 | 克夫 |
| | 教育学部（評議員） | 肥後 | 功一 |
| | 総合理工学部（評議員） | 泉 | 照之 |

| | | | |
|---------------|-------|-------|-------|
| 生物資源科学部（評議員） | 谷口 憲治 | | |
| 医学部医学科内科学教授 | 山口 修平 | | |
| 医学部医学科精神神経科教授 | 堀口 淳 | | |
| 医学部医学科眼科学教授 | 大平 明弘 | | |
| 医学部医学科耳鼻咽喉科教授 | 川内 秀之 | | |
| 保健管理センター副所長 | 杉本 利嗣 | | |
| 保健管理センター | 荒川 長巳 | 野原 隆彦 | 山本 大介 |

平成 19 年度

| | | | |
|----------------|-------|-------|-------|
| 委員長 保健管理センター所長 | 蘆田 耕一 | | |
| 委員 副学長 | 坂本 一光 | | |
| 医学部付属病院長 | 小林 祥泰 | | |
| 法文学部（評議員） | 加藤 克夫 | | |
| 教育学部（評議員） | 肥後 功一 | | |
| 総合理工学部（評議員） | 泉 照之 | | |
| 生物資源科学部（評議員） | 谷口 憲治 | | |
| 医学部医学科内科学教授 | 山口 修平 | | |
| 医学部医学科精神神経科教授 | 堀口 淳 | | |
| 医学部医学科眼科学教授 | 大平 明弘 | | |
| 医学部医学科耳鼻咽喉科教授 | 川内 秀之 | | |
| 保健管理センター副所長 | 杉本 利嗣 | | |
| 保健管理センター | 野原 隆彦 | 荒川 長巳 | 山本 大介 |

平成 20 年度

| | | | |
|----------------|-------|-------|-------|
| 委員長 保健管理センター所長 | 蘆田 耕一 | | |
| 委員 副学長 | 坂本 一光 | | |
| 医学部付属病院長 | 小林 祥泰 | | |
| 法文学部（評議員） | 加藤 克夫 | | |
| 教育学部（評議員） | 肥後 功一 | | |
| 総合理工学部（評議員） | 土屋 敏章 | | |
| 生物資源科学部（評議員） | 荒瀬 榮 | | |
| 医学部医学科内科学教授 | 山口 修平 | | |
| 医学部医学科精神神経科教授 | 堀口 淳 | | |
| 医学部医学科眼科学教授 | 大平 明弘 | | |
| 医学部医学科耳鼻咽喉科教授 | 川内 秀之 | | |
| 保健管理センター副所長 | 杉本 利嗣 | | |
| 保健管理センター | 野原 隆彦 | 荒川 長巳 | 河野 美江 |

4. 保健管理センター規則

(平成16年島大規則第163号)

(平成16年4月1日制定)

[平成17年2月2日一部改正]

[平成18年3月22日一部改正]

[平成18年12月19日一部改正]

(趣旨)

第1条 この規則は、島根大学保健管理センター（以下「保健管理センター」という。）の組織及び運営等に関し、必要な事項を定める。

(設置)

第2条 島根大学（以下「本学」という。）に、保健管理センターを置く。

(目的)

第3条 保健管理センターは、本学における保健管理に関する専門的業務を一体的に行い、学生及び職員の健康の保持増進を図ることを目的とする。

(業務)

第4条 保健管理センターは、次の各号に掲げる業務を行う。

- 一 保健管理計画の企画及び立案
- 二 定期及び臨時の健康診断
- 三 健康診断の事後措置等健康の保持増進について必要な指導
- 四 健康相談及び精神保健に関する指導・助言
- 五 環境衛生及び感染症の予防に関する指導・助言
- 六 保健管理に関する調査研究
- 七 その他保健管理について必要な専門的業務

(施設の名称及び位置)

第5条 保健管理センターに、次の各号に掲げる施設を置き、それぞれ当該地区の保健管理に関し、前条に定める業務を分掌する。

- 一 島根大学保健管理センター松江 松江市西川津町1060
- 二 島根大学保健管理センター出雲 出雲市塩冶町89の1

(職員)

第6条 保健管理センターに、次の各号に掲げる職員を置く。

- 一 所長
- 二 副所長
- 三 教授、准教授、講師、助教又は助手
- 四 技術職員

2 前項各号に掲げる者のほか、保健管理に関する専門的業務を担当する者を置くことができる。

(所長)

第7条 所長の選考は、本学の専任の教授のうちから、第10条に規定する島根大学保健管理センター管理運営委員会の発議に基づき、教育研究評議会の議を経て、学長が行う。

2 所長の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

3 所長は、保健管理センターの業務を掌理する。

(副所長)

第8条 副所長の選考は、本学の専任の教授のうちから、第10条に規定する島根大学保健管理センター管理運営委員会の推薦に基づき、学長が行う。

2 副所長の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

3 副所長は、所長を補佐し、保健管理センターの業務を整理する。

(所長、副所長及び教員の選考)

第9条 教員の選考は、次条に規定する島根大学保健管理センター管理運営委員会の発議に基づき、教育研究評議会の議を経て、学長が行う。

(管理運営委員会)

第10条 保健管理センターに、島根大学保健管理センター管理運営委員会（以下「管理運営委員会」という。）を置く。

2 管理運営委員会は、次の各号に掲げる事項を審議する。

一 保健管理の基本方針

二 組織運営に関する基本方針

三 所長、副所長及び教員の人事に関する事項

四 予算及び概算に関する事項

五 事業計画の策定及び実施

六 その他保健管理センターの管理運営に関する必要な事項

(管理運営委員会の組織)

第11条 管理運営委員会は、次の各号に掲げる委員で組織する。

一 学長が指名する副学長

二 医学部附属病院長

三 医学部以外の各学部から選出された評議員 各1名

四 医学部医学科内科学教授 1名

五 医学部医学科精神医学教授 1名

六 医学部医学科眼科学教授 1名

七 医学部医学科耳鼻咽喉科学教授 1名

八 所長

九 副所長

十 保健管理センター専任の教員

2 前項第3号から第7号までの委員は、学部長の申出に基づき学長が任命する。

3 第1項第3号から第7号までの委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

4 管理運営委員会に委員長を置き、委員長は、所長をもって充てる。

(管理運営委員会の会議)

第12条 管理運営委員会は、委員長が招集し、議長は、委員長をもって充てる。

2 委員長に事故があるときは、委員長の指名する委員がその職務を代理する。

3 管理運営委員会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

4 管理運営委員会は、出席委員の過半数をもって議決し、可否同数のときは、議長の決

するところによる。

- 5 管理運営委員会が必要と認めたときは、委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

(専門委員会等)

第13条 専門の事項を検討するため必要があるときは、管理運営委員会に、専門委員会等を置くことができる。

- 2 専門委員会等に関し必要な事項は、管理運営委員会において定める。

(事務)

第14条 保健管理センター松江及び管理運営委員会の事務は、教育・学生支援部学生支援課において処理する。

- 2 保健管理センター出雲の事務は、医学部学務課において処理する。

附 則

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成17年2月2日から施行する。

附 則

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

V. 沿革

1. 旧島根大学保健管理センター

| | | | |
|----------|---|----|-----------|
| 昭和41年 | 開学以来設置されていた学生健康相談所に代わり、昭和41年6月国立学校設置法施行規則第29条の2の規定に基づき学生の健康管理に関する専門的業務を行う厚生施設として、全国で4大学（東大、京大、長崎大、島根大）に設置された。 | | |
| | 初代所長（併） 福井一明助教授（教育学部） | 就任 | |
| | 井上照雄助教授（精神科） | 着任 | |
| | 看護師 徳永末子 | 着任 | ～昭和53年3月 |
| | 非常勤講師 村江通之（衛生学） | | |
| | 非常勤医師 石倉幌（内科） | | ～昭和60年3月 |
| | 高橋富士郎（内科） | | |
| | 青戸陽一（歯科） | | ～昭和55年3月 |
| | 茂木五郎（耳鼻科） | | |
| 昭和42年4月 | 所長 井上照雄助教授 | 就任 | |
| | 非常勤医師 西村充（耳鼻科） | | ～昭和55年3月 |
| 昭和47年12月 | 本部管理棟へ移転 | | |
| 昭和51年4月 | 所長（併）小滝信夫教授（教育学部） | 就任 | ～昭和52年3月 |
| | 助教授 井上照雄 教授に昇任 | | |
| | 非常勤医師 中島隆司（整形外科） | | |
| 昭和52年4月 | 所長（併）稲波正充教授（教育学部） | 就任 | ～昭和57年3月 |
| 昭和53年4月 | 看護師 三崎キクノ | 着任 | ～昭和58年3月 |
| | 臨床検査技師 柏（永海）紀子 | 着任 | |
| 昭和55年 | 非常勤医師 青戸泰吉（歯科） | | ～平成12年3月 |
| | 永松 力（内科） | | |
| 昭和56年 | 非常勤カウンセラー 落合 潮 | 着任 | ～平成5年3月 |
| | 非常勤カウンセラー 大西俊江講師（教育学部） | 着任 | |
| 昭和58年4月 | 所長 井上照雄教授（精神科） | 就任 | ～平成5年3月 |
| | 講師 藤永佳代子（小児科） | 着任 | ～昭和60年12月 |
| | 看護師 坪倉（清水）千歳 | 着任 | |
| 昭和60年4月 | 非常勤医師 池田 博（内科） | | |
| 昭和61年1月 | 講師 谷本浩一（消化器内科） | 着任 | ～昭和61年12月 |
| 昭和61年4月 | 講師 船井哲夫（精神科） | 着任 | |
| 昭和61年2月 | 保健管理センター現在地に移転 | | |

| | | | |
|---------|----------------------|----|----------|
| 平成4年4月 | 所 長 喜多村 望教授（教育学部） | 就任 | ～平成7年3月 |
| | 講 師 船井哲夫 助教授に昇任 | | ～平成6年3月 |
| 平成5年4月 | 助教授 荒川長巳（精神科） | 着任 | |
| | 非常勤カウンセラー 斉藤 渉 | 着任 | ～平成6年3月 |
| 平成6年4月 | 助 手 山本大介（精神科） | 着任 | |
| | 非常勤カウンセラー 津森葉子 | 着任 | ～平成9年3月 |
| 平成8年4月 | 所 長（併） 猪野郁子教授（教育学部） | 就任 | |
| 平成9年4月 | 非常勤カウンセラー 足立富美子 | 着任 | ～平成17年3月 |
| 平成14年4月 | 非常勤カウンセラー 早瀬真知子 | 着任 | |
| 平成15年4月 | 助教授 荒川長巳（精神科） 教授に昇任 | | |
| 平成15年9月 | 講 師 山本大介（精神科） 助教授に昇任 | | ～平成19年4月 |

2. 旧島根医科大学保健管理センター

| | |
|-------------|---|
| 昭和50年10月1日 | 島根医科大学開学 |
| 昭和51年4月8日 | 医学部第一回入学式举行 |
| 昭和52年4月1日 | 保健管理室業務開始 |
| 昭和54年10月15日 | 医学部附属病院開院 |
| 平成3年4月12日 | 保健管理センター開設（保健管理室を廃止） |
| 〃 | 初代保健管理センター所長に 恒松徳五郎 教授 （内科学講座第三教授）就任（併任） |
| 平成3年7月1日 | 保健管理センター専任技官（米原満子 保健婦）発令 |
| 平成4年3月16日 | 保健管理センター専任教官に 野原隆彦 講師 （本学第一外科より）着任 |
| 平成4年4月1日 | 保健管理センター開所 |
| 平成5年4月1日 | 2代保健管理センター所長に 加藤 讓 教授 （内科学講座第一教授）就任（併任） |
| 平成7年4月1日 | 3代保健管理センター所長に 福本四郎 教授 （内科学講座第二教授）就任（併任） |
| 平成8年8月4日 | 保健管理センター所長 福本四郎 教授逝去 |
| 平成8年9月16日 | 4代保健管理センター所長に 小林祥泰 教授 （内科学講座第三教授）就任（併任） |
| 平成10年9月16日 | 5代保健管理センター所長に 高島利一 教授 （内科学講座第四教授）就任（併任） |
| 平成11年4月1日 | 医学部看護学科設置 |

平成11年4月27日 医学部看護学科第一回入学式挙行
 平成12年9月16日 6代保健管理センター所長に 木下芳一 教授
 (内科学講座第二教授) 就任 (併任)
 平成14年9月16日 7代保健管理センター所長に 加藤 讓 教授
 (内科学講座第一教授) 就任 (併任)

3. 島根大学保健管理センター

平成15年10月 島根大学・島根医科大学 統合
 所 長 (併) 猪野郁子教授 (教育学部) 就任 ~平成17年3月
 副所長 (併) 小林祥泰教授 (医学部) 就任 ~平成16年3月
 教授 荒川長巳 (精神科)
 助教授 山本大介 (精神科)
 講師 野原隆彦 (外科)
 看護師 坪倉千歳 ~平成21年3月
 保健師 米原満子
 臨床検査技師 柏 紀子
 非常勤医師 池田 博 (内科) ~平成17年3月
 非常勤カウンセラー 大西俊江名誉教授 ~平成17年3月
 非常勤カウンセラー 足立富美子 ~平成17年3月
 非常勤カウンセラー 和田葉子
 平成16年4月 国立大学法人 島根大学となる
 平成17年4月 所 長 (併) 蘆田耕一教授 (法文学部) 就任
 副所長 (併) 杉本 利嗣教授 (医学部) 就任 ~平成21年3月
 特任講師 早瀬眞知子 着任
 非常勤医師 坂之上 一史 (内科医師)
 講師 野原隆彦 (外科) 助教授に昇任
 平成19年4月 助教授 野原隆彦 (外科) 教授に昇任
 平成20年1月 講 師 河野美江 (産婦人科) 着任

編集後記

「憧れの編集長」を仰せつかり喜んで引き受けたのですが、医学部と統合後の 5 年間でまとめることは、かなり難題でした。野原先生の御退職に合わせて発行することが出来、安堵しています。先生、長い間本当にお疲れさまでした。

一番楽しかったのは沿革をまとめることでした。今まで簡単な沿革はあったのですが、関連した先生方の名前が揃ったものはなく、古い保健管理センター便りや名簿を繰って調べました。坪倉さんや柏さんに尋ねると、「それはね・・・」という裏話が始まり、聞き惚れたことも一度や二度ではありませんでした。今まで、多くの先生・職員の方々が作り上げて来られた歴史を思うと、胸がいっぱいになります。その流れの中に、今の保健管理センターがあるということを忘れずにたいです。そして「いい仕事をして来られましたね。」と言ってもらえるような・・・温かいセンターにしていきたいものです。

新米編集長でお見苦しい箇所があると思いますが、どうかお見逃し下さい。

今後とも、保健管理センターへのご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

保健管理センター松江 河野 美江

島根大学保健管理センター年報
〔平成16年度～20年度〕

平成21年12月発行

島根大学保健管理センター
〒690-8504 島根県松江市西川津町1060
TEL 0852-32-6568
